

神南中学校区学校地域協議会  
協議結果報告書

令和7年5月

神南中学校区学校地域協議会

## 目次

1	趣旨	1
2	神南中学校区の児童生徒数の推移	1
3	検討した取組方策	2
(1)	神南中学校は統合しない(現状維持)	2
(2)	神南中学校と隣接中学校との統合	3
(3)	義務教育学校の設置	4
4	保護者、地域住民への説明会及びアンケートの実施状況	5
(1)	説明会(令和6年7月実施)及び全世帯アンケート調査	5
(2)	保護者説明会(令和7年2月実施)及び保護者アンケート調査	5
5	協議会としての考え方	6

## 参考資料

資料1	神南中学校区学校地域協議会委員名簿	8
資料2	神南中学校区学校地域協議会の開催状況	9
資料3	神南中学校の今後についての全世帯アンケート調査結果	11
資料4	神南中学校区保護者説明会アンケート調査結果	43

# 1 趣旨

近年の少子化に伴い、姫路市全体において児童生徒数の減少傾向が続いている。神南中学校区においても児童生徒数は減少してきており、今後も減少傾向は続くものと見込まれる。

そのような中、姫路市立小中学校適正規模・適正配置基本方針（令和2年2月策定）に基づき、令和5年6月に、保護者や地域住民、学校等で組織する神南中学校区学校地域協議会（以下「協議会」という。）を設置した。協議会では、学校の規模により生じる可能性がある教育上の課題を共有しながら、子どもたちの教育環境にとって、どうすることが望ましいのかについて検討してきた。

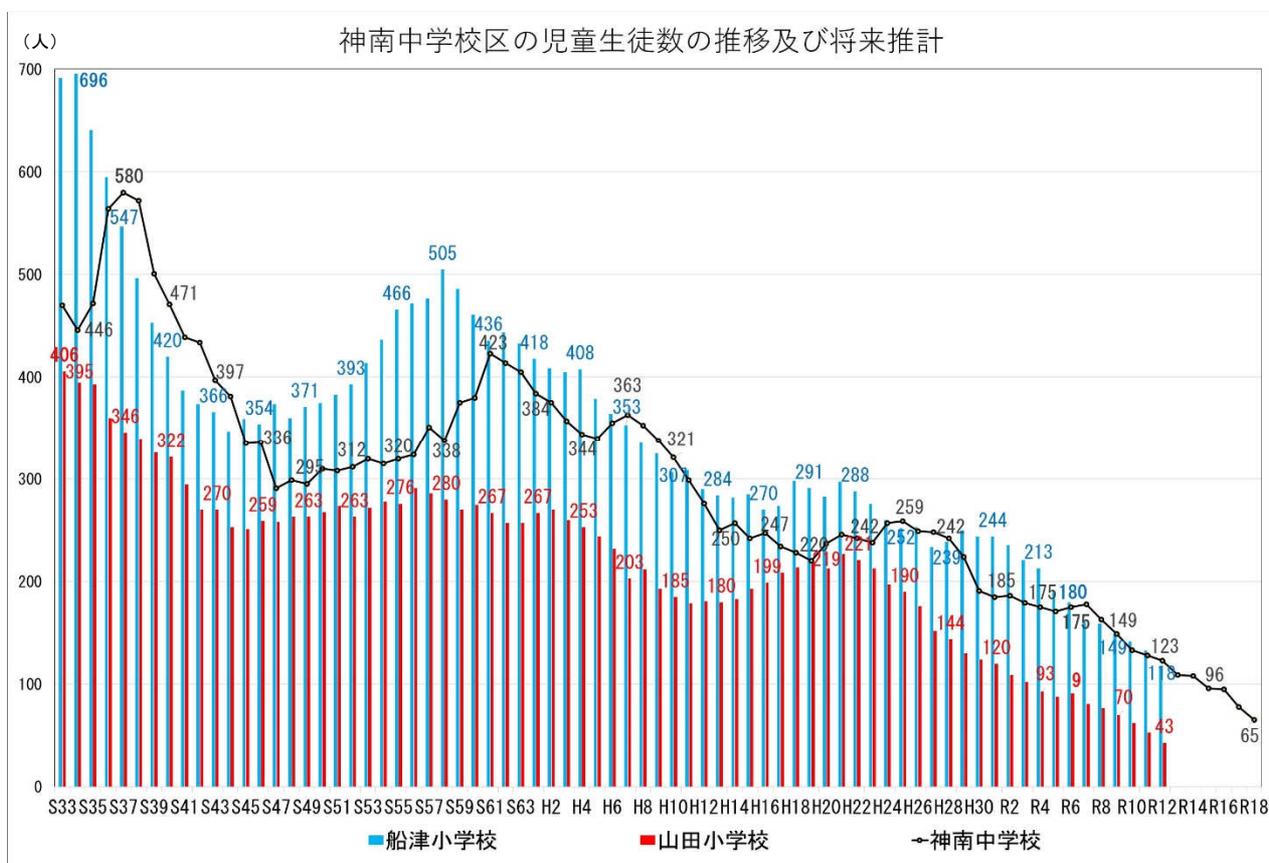
本報告書は、協議会での協議結果を取りまとめ、姫路市教育委員会に報告するものである。

## 2 神南中学校区の児童生徒数の推移

神南中学校の生徒数は、昭和37年度の580人が最も多く、令和6年度は175人となっている。今後も減少傾向は続くものと見込まれ、令和18年度には65人となる見込みである。

また、船津小学校及び山田小学校の児童数も年々減少傾向にあり、船津小学校では、昭和34年度の696人が最も多く、令和6年度には約4分の1の180人、山田小学校では、昭和33年度の406人が最も多く、令和6年度には約4分の1の91人となっている。

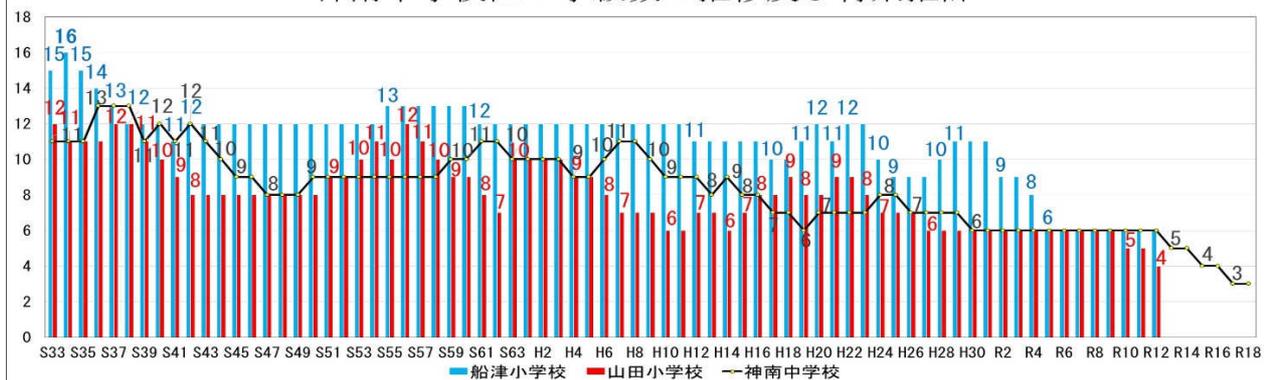
学級数については、神南中学校では平成30年度以降6学級となっており、船津小学校では令和5年度より全学年が単学級となっている。山田小学校では平成27年度から全学年が単学級となっており、令和10年度には学級編制基準上複式学級を有することとなる児童数になる見込みである。



※ 各年5月1日現在の児童生徒数。R7年以降は住民基本台帳登載人口に基づく。

※ 昭和33年の姫路市と神南町の統合により姫路市立となった。

神南中学校区の学級数の推移及び将来推計



※ 各年5月1日現在の学級数。R7年以降は住民基本台帳登録人口に基づく児童生徒数から推測。  
 ※ 令和8年度の中学1年生より順次35人学級となることを想定。

表1 神南中学校区の年齢別人口 (単位：人)

	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
船津小校区	39	45	36	38	34	30	29	28	22	18	32	20	22	19	7
山田小校区	24	17	20	22	13	12	15	14	15	12	9	5	7	5	5

※ 令和6年4月1日時点の住民基本台帳上の人数

### 3 検討した取組方策

小規模な学校においては、学習面で丁寧な指導ができることや、運動会や発表会などで出番が多く活躍できるなどの良いところもあるが、対人関係が少なく多様な考えや価値観に触れる機会が少ないことや、体育の団体競技や音楽の合唱・合奏などの集団学習において人数的な制約により活動内容が限られるなどの課題も生じることとなる。

そこで、児童生徒にとってより良い教育環境にしていくための取組方策として、「神南中学校は統合しない」、「隣接中学校との統合」または「義務教育学校の設置」という3つの選択肢について検討した。

#### (1) 神南中学校は統合しない（現状維持）

##### ア 概要

現状どおりとし、中学校は統合せずに神南中学校に通い続ける。

##### イ 学校規模

表2 神南中学校の全校生徒数の見込み (単位：人)

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
神南中	175	178	163	149	133	128	123	109	108	96	95	78	65

※ R6は、令和6年5月1日時点の児童生徒数の合計、R7以降は、令和6年4月1日時点の住民基本台帳上の人数を足したもので、実際の児童生徒数とは合致しない。

##### ウ 協議会での意見

【メリット】	【デメリット】
<ul style="list-style-type: none"> <li>通学に影響がない</li> <li>環境が変わらないため不安感がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9教科の教員確保が困難になる</li> <li>部活動顧問や教科担任の複数配置が困難に</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動場や体育館、特別教室など余裕をもって使える</li> <li>・空き教室を不登校の生徒の登校場所などに活用できる</li> <li>・一人一人が活躍できる場がある</li> <li>・生徒同士の間関係が深まる</li> <li>・生徒が教員に相談しやすい</li> <li>・生徒一人一人に目が行き届く</li> <li>・異年齢の学習活動を組みやすい</li> <li>・体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる</li> </ul>	<p>なる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の選択肢が少なくなっていく可能性が高い</li> <li>・将来的に1学年1学級となり、クラス替えができなくなる</li> <li>・体育大会等でクラス対抗戦ができなくなる</li> <li>・体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる</li> <li>・多様な友達と触れ合う機会が少ない</li> </ul>
--	--

## (2) 神南中学校と隣接中学校との統合

### ア 概要

神南中学校を隣接中学校（香寺中学校、豊富小中学校）のいずれかと統合し、学校規模を拡大する。

### イ 学校規模

表3 神南中学校及び隣接中学校の生徒数及び学級数（令和6年5月1日時点）

中学校名	区分	通常学級				特別支援学級	合計
		1年	2年	3年	計		
神南中	生徒数	53	58	58	169	6	175
	学級数	2	2	2	6	1	7
香寺中	生徒数	150	148	158	456	11	467
	学級数	4	4	4	12	2	14
豊富小中 (後期課程)	生徒数	81	72	95	248	7	255
	学級数	3	2	3	8	2	10

### ウ 通学手段

遠距離になる生徒は、自転車による通学を想定。

### エ 協議会での意見

【メリット】	【デメリット】
＜香寺、豊富 共通＞	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・切磋琢磨する環境ができる</li> <li>・活気が出る</li> <li>・多様な考え方や価値観に触れることができる</li> <li>・学級数が増える</li> <li>・学級数が増えることにより配属される教員数が増え、教員1人あたりの負担が減る</li> <li>・部活動の種類が増える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学距離が長くなる</li> <li>・学校名がなくなる</li> <li>・学校行事等で活躍する機会が少なくなる場合がある</li> <li>・生徒間の人間関係が希薄になる場合がある</li> </ul>
＜香寺中学校と統合する場合＞	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・船津からであれば、豊富に比べて距離が近く道も広いため通学しやすい</li> <li>・香寺は通勤や買い物、病院などの生活圏であり、なじみやすい</li> <li>・豊富後期との統合に比べ、長い期間学級規模を維持できる（R18 豊富後期5学級、香寺中10学級）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の安全性 例) 国道を越える際に車に注意が必要 宮脇から溝口へ行く橋に歩道はあるが欄干が低い 歩道などの整備が必要な場所もある</li> <li>・校舎が老朽化している</li> <li>・香寺は少子化による生徒数減少に対する意</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富（後期）との統合では、豊富（前期）の児童は学校に対する慣れや、顔なじみの先輩がいるなど、入学時に差があるのに対し、香寺中学校であれば他の小学生と同じ条件になる</li> </ul>	<p>識が薄いと思われ、地域としての統合時の考え方や体制を共有できるか不安である</p>
<p>&lt;豊富小中学校（後期課程）と統合する場合&gt;</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・山田からであれば、香寺に比べて距離が近く通学しやすい</li> <li>・香寺と比べると地域的なつながりが深い</li> <li>・ICTが日常的に授業の中で使われている</li> <li>・1年生から9年生までいるため幅広い異学年交流ができる</li> <li>・香寺と比べると少子化に対する危機感を共有できると思われる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の安全性 例) 街灯が少なく暗い</li> <li>・部活動が地域に移行されると、遠くなることで部活動に入らない生徒が増える</li> <li>・義務教育学校なので7年生から入ることになり、教育課程的になじみにくい</li> <li>・令和18年度頃からクラス替えができなくなる</li> <li>・将来的に神南中と豊富後期の生徒数が逆転する見込み</li> </ul>

### (3) 義務教育学校の設置

#### ア 概要

神南中学校、船津小学校及び山田小学校の3校を統合し、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う義務教育学校を設置する。義務教育学校とは、1人の校長の下で1つの教職員組織が置かれ、9年制の一貫した教育課程を編成・実施する学校であり、本市では、豊富小中学校（施設一体型）、白鷺小中学校（施設隣接型）、四郷学院（施設分離型）がある。

#### イ 学校規模

表4 船津小学校、山田小学校及び神南中学校の全校児童生徒数の見込み（単位：人）

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
船津小	180	161	159	149	142	133	118						
山田小	91	81	77	70	62	53	43						
神南中	175	178	163	149	133	128	123	109	108	96	95	78	65
合計	446	420	399	368	337	314	284						

表5 義務教育学校とした場合の児童生徒数・学級数の見込み

	R6		R7		R8		R9		R10		R11		R12	
	児童生徒	学級												
1年	37	1	30	1	41	2	25	1	29	1	24	1	12	1
2年	41	2	37	2	30	1	41	2	25	1	29	1	24	1
3年	44	2	42	2	37	2	30	1	41	2	25	1	29	1
4年	41	2	44	2	42	2	37	2	30	1	41	2	25	1
5年	47	2	42	2	44	2	42	2	37	2	30	1	41	2
6年	61	2	47	2	42	2	44	2	42	2	37	2	30	1
7年	56	2	60	2	47	2	42	2	44	2	42	2	37	2
8年	60	2	56	2	60	2	47	2	42	2	44	2	42	2
9年	59	2	62	2	56	2	60	2	47	2	42	2	44	2
合計	446	17	420	17	399	17	368	16	337	15	314	14	284	13

※ 表4及び表5のR6は、令和6年5月1日時点の児童生徒数の合計、R7以降は、令和6年4月1日時点の住民基本台帳上の人数を足したもので、実際の児童生徒数とは合致しない。

※ 令和8年度の新7年生より順次35人学級となることを想定。

ウ 通学手段

小学生は基本的には徒歩通学とするが、遠距離の地域はスクールバスを導入予定。  
中学生は現在のルールにより徒歩又は自転車で通学。

エ 協議会での意見

【メリット】	【デメリット】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の通学には影響がない</li> <li>・中1ギャップを緩和・解消する効果が期待できる</li> <li>・教員間で児童生徒についてのきめ細かな情報共有ができ、授業や生活指導に生かせる</li> <li>・9年間を見通した教育課程や柔軟な指導体制のもと学習に取り組むことができる</li> <li>・同じ学校にいるため、中学生は下級生のお手本となり、小学生は上級生を見習おうとする</li> <li>・小学校高学年の児童は部活動に参加できる可能性もある</li> <li>・義務教育学校の設置に際し協議する学校運営協議会に保護者や地域住民の代表が参加できる</li> <li>・地域に中学校が存続する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生は通学距離が長くなる場合がある</li> <li>・中学生は増えない（神南中存続と同じ）</li> <li>・部活動の種類は増えない</li> <li>・中学校で9教科の教員確保が困難になる</li> <li>・同級生が9年間同じメンバーのため人間関係が固定化しやすい</li> <li>・小学校高学年のリーダーシップや自主性を養う機会が減る</li> <li>・小学校卒業の達成感がない</li> <li>・中学校の新鮮さがない</li> <li>・高校進学時等、大きな集団への適応に不安がある</li> <li>・地域から小学校がなくなる</li> </ul>

4 保護者、地域住民への説明会及びアンケートの実施状況

(1) 説明会（令和6年7月実施）及び全世帯アンケート調査

学校地域協議会では、協議を行うとともに、検討状況を周知し、より多くの方から意見を聞くため、地域住民への説明会及び全世帯アンケートを実施した。

ア 地域住民への説明会

開催日時：令和6年7月27日（土）19時～ 参加者約60名  
開催場所：山田小学校体育館  
開催日時：令和6年7月28日（日）19時～ 参加者約85名  
開催場所：船津公園ふれあいの館体育館

イ 全世帯アンケート調査

対象：神南中学校区の全世帯

回答者数：772名

「統合しない」	の回答が 186 件	全体の 24.1%
「隣接中学校と統合」	の回答が 96 件	全体の 12.4%
「義務教育学校」	の回答が 238 件	全体の 30.8%
「協議会に委ねる」	の回答が 211 件	全体の 27.3%
「無記入」	の回答が 41 件	全体の 5.3%

（アンケート結果の詳細はP11～P42に記載。）

(2) 保護者説明会（令和7年2月実施）及び保護者アンケート調査

全世帯を対象に実施したアンケート調査の自由記述では、保護者の考えが大切であるという意見が多かったことから、改めて神南中学校区の小学校及びこども園に子どもが通っている保護者を対象に説明会及びアンケートを実施した。

## ア 保護者説明会

開催日時：令和7年2月5日（水）及び8日（土）19時～ 参加者 計9名

開催場所：山田小学校ランチルーム、船津公園ふれあいの館会議室

※ 説明会の開催に際し、資料を事前に学校園から対象となる保護者に配付したうえで、疑問や質問をメール等で受け付け、回答は保護者連絡アプリで保護者に配信した。そのうえで追加質問がある方や、直接資料の説明を必要とされる方を対象に説明会を開催した。

## イ 保護者アンケート調査

対象：神南中学校区の小学校及びこども園に子どもが通う保護者

回答者数：225名

「神南中学校は統合しない」 の回答が 74件 全体の32.9%

「神南中、船津小、山田小を統合して義務教育学校にする（中学校の校地を使用）」

の回答が 123件 全体の54.7%

「その他」 の回答が 27件 全体の12.0%

「無記入」 の回答が 1件 全体の0.4%

（アンケート結果の詳細はP43～P59に記載。）

## 5 協議会としての考え方

### 【経緯】

協議会では、神南中学校の生徒数が減少する中、当初は「隣接する中学校（香寺中学校または豊富小中学校）との統合」か「統合しない」という2つの選択肢で学校の在り方について様々な議論を重ねていた。

協議を進める中、委員から小学校と中学校を統合し、9年制の一貫した教育課程を編成・実施する義務教育学校も検討してはどうかとの提案があり、取組方策の選択肢に「義務教育学校」を追加することとなった。

取組方策の検討に際して、地域住民の意見を参考にするため、令和6年7月に地域住民への説明会を開催するとともに、神南中学校区の全世帯を対象としたアンケート調査を実施した。アンケートは「統合しない」、「隣接中学校と統合」、「義務教育学校」の3つの取組方策及び「協議会に委ねる」を選択肢として実施した。その結果、取組方策では、「義務教育学校」（30.8%）が最も多く、次いで「統合しない」（24.1%）が多かった。

しかしながら、協議会としての取組方策を決定するには至らず、アンケートの自由記述において、保護者の考えが大切であるという意見が多かったことから、改めて神南中学校区の小学校及びこども園に子どもが通っている保護者を対象としたアンケート調査を実施することとした。

保護者アンケートでは、7月に実施した全世帯アンケートにおいて回答が多かった「義務教育学校」、「中学校は統合しない」及び「その他」の3つの選択肢で実施したところ、「義務教育学校」（54.7%）が最も多い結果となった。

### 【総括】

協議会における各取組方策についての検討の結果、全世帯を対象としたアンケート調査及び保護者アンケート調査の結果を踏まえ、本協議会としては、船津小学校、山田小学校及び神南中学校を統合して義務教育学校を設置することを希望する。

義務教育学校とすることで、小学校と中学校の垣根がなくなり、中学校（後期課程）進学時のギャップや学習内容の不安が軽減されることが期待される。

また、中学校（後期課程）の生徒数は増えないが、前期課程の1年生から後期課程の9年生までの児童生徒が1つの集団となり、9年間の学校生活を共にすることで、学校に活気が出るとともに、子どもたちにとっても異なる学年の子どもたちと交流する機会が増え、より多様な考え方や価値観に触れられることとなるほか、縦のつながりにより、団結力を強め、仲間意識を大事にする子どもに成長することが期待できる。

神南校区に学校を残すことで、地域の特性を生かし、神南ならではの義務教育学校を構築していきたい。

なお、統合に際しては、通学の安全性を確保するとともに、遠距離となる児童への対応として、スクールバスを導入するなど、保護者の不安とする部分を解消すること、児童生徒が安心して学習できるよう、教育環境を整えるために必要な施設改修をすることを希望する。

また、統合により廃校となる学校の跡地については、適切な管理を行うとともに、地域の声を聞きながら、地域の活性化に資するような有効活用に努められたい。

資料1 神南中学校区学校地域協議会委員名簿

(敬称略)

所 属 ・ 職 名	名 前
山田地区連合自治会	○ 上田 倫範
	藤田 政輔
船津地区連合自治会	◎ 白井 勝進
	平石 満
	吉田 幸男
神南中学校 P T A	穴田 晃 (R5) 花畑 績 (R6～)
	坂井 佳奈 (R5) 白井 梨沙 (R6～)
山田小学校 P T A	坪田 由治
	佐藤 公彦
船津小学校 P T A	福永 純
	福永 雅文 (R5) 福永 勇氣 (R6～)
山田こども園	小川 展正
船津こども園	鯉田 恵理子 (R5) 畑中 浩佑 (R6～)
山田公民館 館長	照本 忠光
神南中学校 校長	中西 義男 (R5) 尾野 亮右 (R6～)
山田小学校 校長	神戸 智子 (R5・6) 万永 達也 (R7～)
船津小学校 校長	中安 圭三 (R5) 船戸 幸光 (R6～)

◎ : 会長 ○ : 副会長

資料2 神南中学校区学校地域協議会の開催状況

回	開催日	内 容
1	R5. 6. 19 (月)	<p>〈神南中学校区の現状と見通しについて〉</p> <p>➤ 学校地域協議会の概要、神南中学校区の児童生徒数及び学級数の現状と見通しについて確認した。</p>
2	R5. 7. 19 (水)	<p>〈豊富小中学校の概要及び統合する場合のメリット・デメリットについて〉</p> <p>➤ 豊富小中学校（後期課程）と統合する場合に考えられるメリット・デメリットについて意見を出し合った。</p>
3	R5. 8. 23 (水)	<p>〈香寺中学校の概要及び統合する場合のメリット・デメリットについて〉</p> <p>➤ 香寺中学校と統合する場合に考えられるメリット・デメリットについて意見を出し合った。</p>
見学	R5. 9. 13 (水)	<p>➤ 豊富小中学校のオープンスクールに参加した。協議会委員から4名参加。</p>
4	R5. 9. 25 (月)	<p>〈豊富小中学校及び香寺中学校の概要について〉</p> <p>➤ 豊富小中学校と香寺中学校の校長先生を招いて、それぞれの学校について紹介していただいた。 豊富小中学校のオープンスクールに参加した委員から感想を伺った。</p>
見学	R5. 11. 1(水) R5. 11. 2(木)	<p>➤ 香寺中学校のオープンスクールに参加した。協議会委員から7名参加。</p>
5	R5. 11. 6 (月)	<p>〈神南中学校の概要について〉</p> <p>➤ 神南中学校の校長先生に学校の紹介をしていただいた。 香寺中学校のオープンスクールに参加した委員から感想を伺った。</p>
6	R5. 12. 18 (月)	<p>〈神南中学校に通い続ける場合のメリット・デメリットについて〉</p> <p>➤ 2つのグループに分かれて、神南中学校に通い続ける場合、豊富小中学校（後期課程）と統合する場合、香寺中学校と統合する場合のメリット・デメリットについて話し合い、その後、各グループの意見を共有した。</p>
7	R6. 1. 22 (月)	<p>〈今後の方針について〉</p> <p>➤ これまでの協議を踏まえ、協議会委員それぞれよいと思う取組方策について意見を出し合った。 今後の進め方について意見を聞くため、説明会及びアンケート調査を実施することとした。</p>
8	R6. 3. 4 (月)	<p>〈説明会資料の確認及びアンケートの実施方法について〉</p> <p>➤ 保護者や地域住民を対象に開催予定の説明会資料について協議した。 説明会の資料について協議する中で、選択肢に義務教育学校を追加してはどうかとの意見があり、義務教育学校にかかる資料について、スクールバスの検討も含め追加で作成することとした。</p>
9	R6. 5. 27 (月)	<p>〈説明会資料の確認及びアンケートの実施方法について〉</p> <p>➤ 保護者や地域住民を対象に開催予定の説明会資料について確認し、意見を出し合った。</p>

10	R6. 6. 26 (水)	<p>〈説明会資料の確認及びアンケートの実施方法について〉</p> <p>➤ 前回の協議会での意見を踏まえて修正した説明会資料について確認し、対象者、開催日時、場所のほか、案内方法などについて協議した。</p>
説明会	R6. 7. 27 (土) R6. 7. 28 (日)	<p>➤ 「神南中学校の今後について」と題して、山田小学校及び船津公園ふれあいの館において説明会を開催した。説明会では事務局から神南中学校の現状と見通しについて、取組方策やメリット・デメリットについて説明があった。アンケート調査は、7月から8月にかけて神南中学校区の全世帯を対象に実施した。</p>
11	R6. 9. 30 (月)	<p>〈アンケート調査結果、周知方法及び今後の進め方について〉</p> <p>➤ 神南中学校区の全世帯アンケートについて調査結果を共有し、保護者や地域住民への周知方法について協議した。また、アンケート調査結果を受けて今後どのように協議を進めていくかについて意見を出し合った。</p>
12	R6. 10. 30 (水)	<p>〈今後の協議会の進め方について〉</p> <p>➤ 取組方策の決定に向け、今後の協議会をどのように進めていくか協議した結果、実施した全世帯アンケート調査において、保護者の考えが大事であるという意見が多かったことから、改めて、神南中学校区の小学校及びこども園に通う子どもがいる保護者を対象にアンケート調査を実施することとした。</p>
13	R6. 12. 9 (月)	<p>〈神南中学校区保護者アンケート調査について〉</p> <p>➤ 保護者アンケート調査の実施に向け、説明会の開催日時や場所について協議し、決定。説明資料及びアンケート回答用紙について内容を確認した。</p>
保護者説明会	R7. 2. 5 (水) R7. 2. 8 (土)	<p>➤ 保護者を対象としたアンケート調査の実施に際して、希望者に対して山田小学校ランチルーム及び船津公園ふれあいの館会議室において説明会を開催した。説明会では事務局から神南中学校の現状と見通し、取組方策やメリット・デメリット、義務教育学校について説明があった。アンケート調査は、1月から2月にかけて神南中学校区の小学校及びこども園に通う子どもがいる保護者を対象に実施した。</p>
14	R7. 3. 26 (水)	<p>〈保護者アンケート調査結果、周知方法及び今後の方向性について〉</p> <p>➤ 神南中学校区の小学校及びこども園に通う子どもがいる保護者を対象としたアンケートの調査結果を共有するとともに、保護者や地域住民への周知方法について協議した。また、アンケート調査結果を踏まえて今後の方向性について意見を出し合い、協議会では、取組方策として義務教育学校の設置を望む報告書を作成することとした。</p>
15	R7. 4. 23 (水)	<p>〈神南中学校区学校地域協議会協議結果報告書（案）について〉</p> <p>➤ 報告書案について協議し、報告書を決定した。</p> <p>➤ 住民等への周知方法について協議した。</p>

## 神南中学校の今後についての全世帯アンケート調査結果について(回覧用)

以下により実施したアンケート調査の結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。  
アンケートにご回答いただきました皆様につきましてはご協力ありがとうございました。

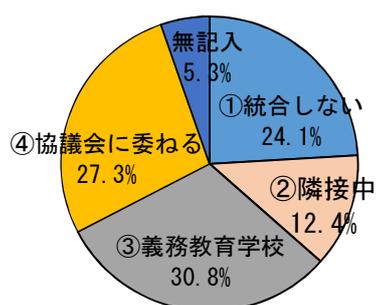
### 【アンケート調査の概要】

- (期間) 説明会案内 から 令和6年8月9日(金)  
(対象) 神南中学校区の全世帯 ※回答は各世帯1枚として依頼

### 【アンケート調査の結果】

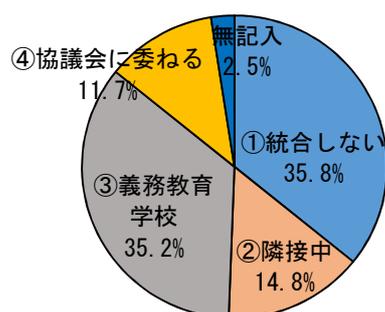
- ・調査対象と回答数 対象 2000世帯(船津地区 1212世帯、山田地区 788世帯)  
回答 772世帯(船津地区 445世帯、山田地区 309世帯、無記入 18世帯)  
回答率 38.6% ※対象世帯数は令和6年度自治会名簿より

問 神南校区の生徒数が減少してきていることを踏まえ、児童生徒にとってより望ましい教育環境にしていくための取組方策について検討しています。どの取組方策が最も良いと考えますか。



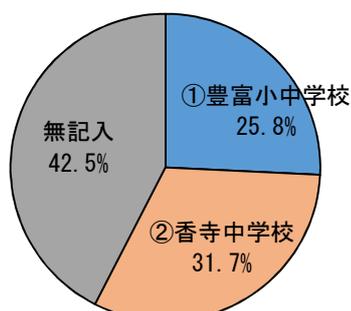
① 統合しない	186 件 (24.1%)
② 隣接中学校と統合	96 件 (12.4%)
③ 義務教育学校	238 件 (30.8%)
④ 協議会に委ねる	211 件 (27.3%)
無記入	41 件 (5.3%)

※ 上記のうち、学校園に通う子どもがおられる方の回答



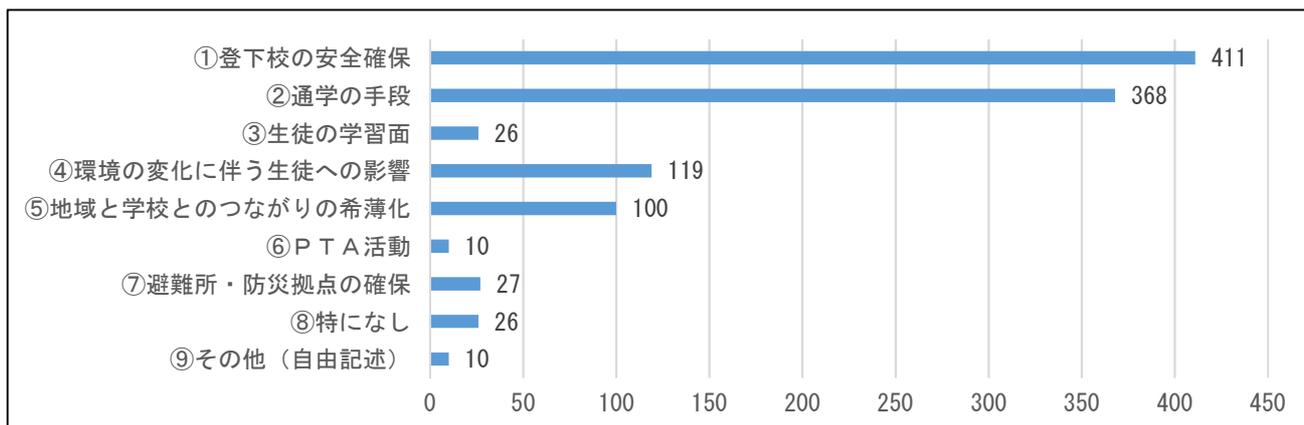
① 統合しない	58 件 (35.8%)
② 隣接中学校と統合	24 件 (14.8%)
③ 義務教育学校	57 件 (35.2%)
④ 協議会に委ねる	19 件 (11.7%)
無記入	4 件 (2.5%)

問 仮に隣接中学校と統合するとしたら、どの学校が良いと思いますか。



① 豊富小中学校(後期課程)	199 件 (25.8%)
② 香寺中学校	245 件 (31.7%)
無記入	328 件 (42.5%)

問 仮に統合や義務教育学校とする場合、心配に思うことや不安に思うことは何ですか。(2つまで選択可能)



○その他ご意見等(自由記述)

統合や義務教育学校に肯定的な意見

- ・義務教育学校となり、中学生が小学生の面倒をみるなど人間関係を学ぶことが大切。
- ・今のまま1クラスになったときには教員の確保が出来なくなる恐れがある。
- ・義務教育学校は地域一体で安心感がある。
- ・小規模の学校は学習面では有利だが、対人面で不安がある。
- ・人口減少は避けられず、選択と集約が必要。早期に取り組みを開始すべきである。
- ・これからの子供たちに何が1番いいかを考えるべき。

統合や義務教育学校に否定的な意見

- ・まずは地域の人口を増やすための政策を検討してもらいたい。
- ・学校が無くなると地域からの人口流出が加速し過疎化が進む。
- ・豊富が神南へ来る統合も検討するべきではないか。
- ・統合や義務教育学校となった場合、通学距離が長くなる。
- ・統合する場合、その時の中学3年生の受験への影響が心配。
- ・小規模校で児童生徒が少ないことはデメリットばかりではない。

その他意見

- ・保育園や小学校に子供を通わせている保護者の意見を重視してもらいたい。
- ・市街化調整区域の見直しなど、都市計画も合わせて検討が必要ではないか。
- ・隣接中との統合を検討する場合、スクールバスの検討が必要ではないか。
- ・アンケート結果は公表してほしい。
- ・近隣で統合した先進事例について話を聞きたい。

※ アンケートでご記入いただいた自由記述等の詳細をご覧になりたい方は、神南中学校のホームページ並びに、船津公民館、山田公民館及び船山出張所にてご覧いただけます。

神南中学校 : <https://www.city.himeji.lg.jp/school/0000022862.html>



○神南中学校区学校地域協議会事務局  
 (姫路市教育委員会事務局教育企画室)  
 姫路市安田四丁目1番地  
 TEL 079-221-1557 FAX 079-221-2749

## 神南中学校の今後についての全世帯アンケート調査結果（閲覧用）

### 1 アンケート調査の概要

神南中学校区では、令和5年6月に神南中学校区学校地域協議会（以下、「協議会」という。）を設置し、校区の児童生徒にとってより良い教育環境にしていくための取組方策について、話し合いを進めており、校区の児童生徒数が減少する中、これまで通り神南中学校に通い続ける方がいいのか、隣接する中学校（豊富、香寺）のいずれかと統合する方がいいのか、あるいは神南中学校、船津小学校、山田小学校を統合して義務教育学校とする方がいいのかを比較して、どうすることが望ましいかについて検討している。

協議会として、今後の方向性を決定していくに当たり、地域住民の皆様のご意見を伺うため、説明会を開催し、併せてアンケートを実施した。

### 2 説明会

開催日時・場所

令和6年7月27日（土） 山田小学校体育館（参加者：約60名）

〃 7月28日（日） 船津公園ふれあいの館体育館（参加者：約85名）

### 3 調査期間

アンケート用紙配布日から令和6年8月9日（金）まで

※ 7月2日に自治会あて、説明会の案内文と併せて各戸配布を依頼

### 4 調査対象

神南中学校区の全世帯

※ 回答は各世帯1枚として依頼

### 5 調査方法

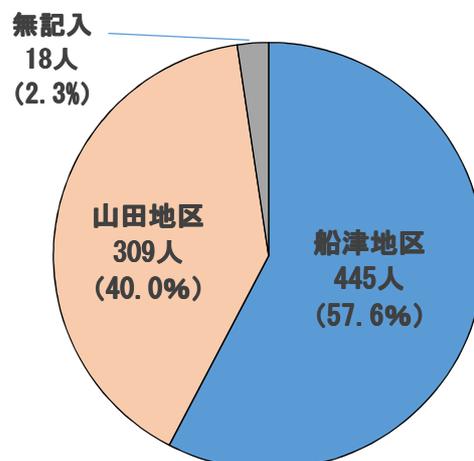
全世帯を対象に、自治会を通して説明会案内とともにアンケート用紙を配付。

アンケートの回答は説明会会場にて、または自治会を通して回収。

### 6 回答数

回答者のお住まい	回答数	対象世帯※	回答率
船津地区	445	1,212	36.7%
山田地区	309	788	39.2%
無記入	18	—	—
神南校区合計	772	2,000	38.6%

※ 令和6年度自治会名簿より



<注意>

各回答項目の割合（%）は、端数処理の関係上、合計が100%にならない場合がある。

◆質問

問1 協議会では、神南校区の生徒数が減少してきていることを踏まえ、児童生徒にとってより望ましい教育環境にしていくための取組方策について検討しています。あなたは、どの取組方策が最も良いと考えますか。(〇は1つ)

項目	船津地区	山田地区	無記入	全体 (%)
① 統合しない	111	74	1	186 (24.1%)
② 隣接中学校と統合	62	34	0	96 (12.4%)
③ 義務教育学校	147	90	1	238 (30.8%)
④ 協議会に委ねる	110	100	1	211 (27.3%)
無記入	15	11	15	41 (5.3%)
合計	445	309	18	772

問2 問1の回答を選んだ理由をご記入ください(自由記述)

① 統合しないを選択した方の理由

統合ありきでなく現状の環境下(人数、自然環境も含め)で良いのでは、どうしてもとなれば義務教育学校。神南中学校が母校なのでその中学校がなくなるのは悲しいですし嫌です。
子どもたちは地域の宝だと思うから。
統合しても通学路の面が心配です。
小中学校は地域の中心であり子どもだけのものではないから。避難所、その他の機能も重要である、近くにないと地域の人が行けないし地域のつながりがなくなる。
登下校の安全確保。
距離が長くなる。
統合されると災害時の避難所が遠くなる。低学年の児童が交通量の多い所を歩いていかなければならなくなり、通学距離が長くなり現在の暑さなどに耐えられない。
通学的手段に不安がある。(登下校の安全確保)
統合になると通学が困難になる。
神南中学校を残してほしいです。
幼い子どもが遠い道りを歩くのは、夏・冬問わずあまりにも負荷がかかりすぎると考える。治安もかなり変わってくると心配・不安でしかない。
教育環境で考えれば、少数学級の方が先生の目が届きやすく、学習面で有利だと思う。又、通学路の不安(通学距離、手段含め)が大きい。他の選択肢は、保護者として選べない。生徒間での通学格差が広がり、良い影響が出るとは思えない。
統合したとしても通学手段や道の整備がされない状況で統合のメリットをあまり感じなかった。すでに山田小学校は1クラスでクラス替えはないがうまくやっている。クラブ活動も外部に移行する流れがあり、部活でもメリットを感じない。学習活動が問題ないならよいのでは。
通学手段、どこに行くのか、来るのか、具体的な方向性によっても異なる。
学校の統合を考える前に過疎対策とか、人口増加対応を考えるのが先、船津、山田を過疎にするな！！
どちらも遠く、通学時に子どもの安全を確保できない。
将来の統合は必要だと思うが、資料を見る限りこの5年ぐらいいは大丈夫だと思う。それ以降での統合は協議会と話し合いで決めたい。
年齢別人口を見ると1歳まで20人以上おり、1学級を編成できる。まだ10数年は神南中学校を維持できる。統合は時期尚早。
地域を残したいから。
公平ではなく吸収されるだけなので。
教員数減が問題。

子どもが6人いて、現状がすごくベストなので。
子どもが神南中学校に通いたいと現在は言っているから。
用途地域など他からの人口流入を見据えた施策に着手しなければ、将来的に人口の減少に歯止めをすることはできないし、船津の町を維持するためには学校統合は直接的な解決にはならないと考える。地元住民としては船津の地名がなくなることの無いよう、自治体に働きかける必要を感じる。
将来の人口減少対策を第一に考え、現在の校区を維持できればと考えます。隣接中学校との統合はますます人口減少が進む原因になるのでは？
自分の通った学校がなくなるのが嫌です。
統合することでのメリットは人数確保のみとしか感じられない。
統合して今まで以上の距離を子どもたちが通学するのが心配。小学校や中学校がなくなると地域から若者がいなくなり町が消滅してしまう。
第一に、生徒や保護者の負担を考えると、通学距離の近い神南中学校を存続させるべきである。これは、義務教育を実施する姫路市の義務である。第二に、近隣中学校と統合するメリットが具体的に見えてこない。生徒一人一人の見守りや生徒の主体性を育むという観点では少人数教育がすぐれている。多数教育にもメリットはあるが、それは高等学校での教育で足りる。第三に、児童数減少に悩む他の市町村では、既存の小中学校を存続させようとする様々な取り組みも実施されているが、姫路市は統合の話が先走り、そのような他の市町村の取り組みを一切勉強していない。まずは、他の市町村における様々な取り組みを勉強し、それを船津山田校区に導入できないか検討してみるべきである。それをせずに統合の話をするのは、姫路市教育委員会だけでなく、神南中学校学校地域協議会の責任は重大である。第四に、姫路市内では船津山田校区よりも生徒数が減少してきている校区がある。その校区よりも先に、なぜ船津山田校区が統合の検討対象になっているのか理解できない。第五に、神南中学校の校舎は近隣中学校に比較して新しく環境が良い。現在の校舎のハード面、今後の建て替えの費用の面からも、近隣中学校よりも神南中学校を存続させた方が姫路市の財政的に負担が少ないはずである。第六に、文部科学省はICTを活用した指導方法を推進しており、今後、ICTにより時間的・空間的な制約を超えてより効率的な学習方法が進むと考えられる。また、教室の教壇に教科の先生が立たなくても授業が実施できるはずであり、教員不足による統合は理由にならない。第七に、教育委員会の既存の枠組み(教員数、児童数、クラス数など)を一切変えずに維持することを前提にして、地域の校舎をなくす方向で話がすすんでいるが、逆に、地域の校舎を維持することを前提に、教育委員会の既存の枠組みを柔軟に変更すべきである。第八に、10年後には豊富校区と神南校区の児童数が逆転する予想が出ている中、現時点で豊富校区に神南校区が移行するという話を見据えていない議論である。第九に、災害で市川が氾濫して橋が倒壊した場合、香寺中学校と統合していた場合には避難場所としての香寺中学校を利用できない可能性がある。第十に、神南中学校の統合の話よりも、まずは船津小学校と山田小学校の統合の話をすべきではないか。第十一に、神南中学校を義務教育学校とした場合、当然のように神南中学校の敷地を利用することになっているが、まずは四郷学院のように校舎は別にして、1~6年生は船津小学校か山田小学校を利用すれば良いのではないか。第十二に、地域の小学校をなくすということが、地域にとってどれほどのマイナスになるかを改めて認識すべきである。第十三に、多人数教育と少人数教育の抽象的なメリット・デメリットの議論は、その検証が実際にできない以上、無意味である。第十四に、今後、政府による異次元の少子化対策やICT教育環境の激変が予想される現段階では、将来を見越しての統合の判断は極めて困難である。現段階では、判断を保留にして、今後10年かけて地域全体で勉強し、検討していくべき課題であると考えます。
少ない方が良い。クラブ活動だけ合同でしたり、地域で協力すればいい。
吸収される、理由が明確でない。20年後30年後はどうなる、再度どこかと吸収されるのか。
学生及び家族に負担を強いることになる。神南中学校がなくなることとなる。
1. 統合それぞれの教育面でのメリットデメリットを例や数値で示してほしい(松下村塾の人々が明治・日本をささえた) 2. 経費が必要なら無駄使いをやめて欲しい。まずアクリエ、中央市場の利用状況と建設費と維持管理費を公表して欲しい。市立3校を中央市場跡と設置する経費等も公表すべし 3. 姫路の将来像を示してほしい。人口が2050年に43万人に減少。子ども。それと育てる若人が大切でしょ。
統合する必要性を感じていない。子どもの人数が減少していることは認めているが少人数でも良い教育環境は実現できるのではないかと。このことを実現するために努力していきたい。もし統合するとしてはもっと先の話であると思っている。
学校までの距離が遠くなるため、交通事故のリスクが高まる。
高校へ行けば多くの生徒とのかかわりが持てる為、中学生の間は登下校の安全性を考えて今まで通りがいいのかなど。
統合を前提とした協議なく、どうすれば人口減をくい止められるかを市当局に示してもらいたい。
通学路が難しい。
統合へのメリットを感じない！
通学等を考慮すると安心安全面でベターであります。小学低学年が通学するにはこの方法しか考えられない。統合はメリットも考えられるがデメリットが多い。山田が一番と思っていたので次の世代も含めて地元山田の進展を希望しています。
統合を前提として話が進んでいることに疑問を感じている。児童生徒数の減少を逆手にとって特色ある「児童生徒にとってより望ましい教育環境」とは何かの議論が伝わってこないのが当面は現状維持を希望する。(今回のアンケート結果を前面に出してのぐり押しはダメ)

地域に学校が無くなることは人口減に拍車をかけることになる。
子どもにとって母校が無くなるのはさみしい。
早々に統合の結論を焦らずに、本当に子どもたちのこと、校区のことを思い数年はかけて議論を深め人々に浸透させていってから決めるしかないと考える。
現状維持でもやっていけるのではと考えるから。
数年は皆で協議し深めていく必要がある。
説明会での回答を聞いて問1, 2, 3, 4は無いと思うから。
将来的には統合もあると思うが今すぐ結論を出す必要はないと思う。統合先の1つに豊富小中学校があるがこの学校として今後の検討が必要になってくると思うので一緒に考えていってはどうか。また今後の在り方についてもう少しその方策も含めて検討してはどうか。
少人数だからこそいいこともある。高校になればどうせ大人数になるのだから、あえて今統合しなくても。ただ設備のこととかを考えれば仕方ないことだとも思う。
遠い、危ない。
通学路の交通量が多いのと通学路の整備がされていない。
すごく遠くなる。私の実家の方も統合したが、バスで通えるようになっているが、ここではそのようにできないから。
山田小学校独自の歴史を大事にしたい。小規模ながらいい教育も期待できる。
少人数制での教育を行っていく方が学力向上あるいは低下を防ぐことができる。統合すると1クラス当たりの生徒数が増え、学校教員も生徒の隅々まで目を配れない先生もいると思うので1)を選びました。
先生の目が届きいじめも少ないと思うし、のびのびと中学生活を送れると思う。
一番市内で取り扱いされていない地区の学校をターゲットにするのは教育を受ける権利が侵害されるため。
説明会を聞いて実際は統合ではなく吸収合併であり神南中学の名前も校歌等すべてなくなるため。又、合併先には来たければご自由に！！というスタイルも良く思えませんでした。そもそも神南地区発進の合併ではなく教育委員会発進というのもどうかと思います。
少ない人数だからこそみんなと仲良くしている（親も子どもも）。トラブルもない。遠いのでバスに乗ったりと不安もある。
神南中校区内でも住民に広く広報ができていなくて知らない人が多い。生徒数もまだ少なくといえないので時期が早いと思うので5年後か10年後に再び協議会を開催して欲しい。
人数の適正（効率化）はあり得ないし教科の先生の人数の確保がむずかしいとの説明等がなされたように思いますが教育、人を育てるに効率とか費用効果コストを考えるなどとんでもない。
今まで通ってきた小中学校が無くなってしまふのは寂しいです。それより子育て世帯が増え生徒数が増えるようにまた子どもが住みやすい町になる様に働きかける方が良いと思います。
通学路の安全面が懸念される。神南中に通うよりさらに遠くなり帰宅時間の遅れ、安全面のリスクが高くなる。少人数でも教育は可能だと思うので神南中学校での学校生活を続けられるようにしてほしい。
神南の名前をなくしたくない。
安全に登下校させたい。
遠くなると送迎が大変。
市や教育する側の理屈ではなく学ぶ側の生徒の負担を考えてもらいたい。
なぜ教育委員会の都合、予算で進めるのか？絶対に統合しない。学校が無くなると、経済地盤が低下して人口減が進む。
現在のままで、まだ中学校として教育面等でも成立している。
学校への距離がかなり遠くなり、自転車通学したとしても安全性が低い。温暖化もあり、真夏など熱中症の心配もある。
児童生徒が1人になるまで現状で良いのではと思う。（義務教育だから）
人数が少なくても、学校運営が可能（教師の負担はあるが、外部に委ねられる部活指導、ボランティアの参加方向でやれば良いのでは。）少ない人数で、生徒間のコミュニケーション力、協調性が養われるのでは？
歴史ある学校をなるべく最後まで残しておきたい。学校がなくなると地域が今以上に寂れていくことを憂います。
船津の子どもが遠い慣れない学校に行くのは無理！！自転車で行くのもあぶない。事故にあえば誰が責任を取るのか！！
統合先の学校への通学手段が自転車通学と記載がありましたが、重たい鞆を背負って、毎日往復1時間かけて通うのは現実的ではないと思います。統合となった時点で全学年が統合先の学校に移るというのも、中学3年生の受験に影響が出ると思うので、そちらもやめてもらいたいです。
今すぐに目先のことや市の方針で進めず、長期的にみてベストの方向を考えて進めるべきだと思うから。
少人数だろうが、少クラスであろうが、素晴らしい取組や教育環境も維持できている学校があるのを実際に見ている。姫路市の都合で環境云々を言っているだけにしか聞こえない。
通学距離、通学時間が多くなる。
遠くなると登下校の安全面において心配になるので。

子どもの通学時間、距離の問題、校区の範囲が広すぎる。
登下校の安全確保しやすさ、地域と学校のつながり、避難所防災拠点の確保等を考えた時、今のところ最小の人数になっていないので現状で良い。事前に神南中学校の今後について考えて置くことも大切であると思う。(人数の減少)
通学時間が長くなる。災害があった時分散している方がリスクが小さくなる。
少人数で充実した勉強環境だと思うから。
船津小学校が好き、神南中学校が好き。
校区内に小学校や中学校がなくなると、教育環境が悪くなり、若い人達が住まない町になり、過疎化が進んでしまう。高齢者が増えて、活気がなくなる。
船山地区の伝統を守るためにも、市一律の基準で統合を進めることに反対であるため。
子どもの通学のこともあるでしょうし、先生方のお仕事がなくなるかもしれないので、このオンラインが盛んな時に学校へ行くことの本当の意味をわかってこんなことを提案しておられるのですか？
学校の統合について、未だ緊急性があるとの認識はなく、数年後に再度検討すればいいと考える。
地区の魅力がなくなるから。(例えば、子育て中の若い親たちにとっては)
生徒数減少だけの理由で統合する必要があるのでしょうか。
長い歴史ある船津・山田・神南が無くなるのは惜しい。このままずっと続けて欲しい。
子どもの数だけで再編するというのは、大人の勝手だと思う。少なくとも1～6年生全部の人数はある程度あると思うので、勉強も遊びも仲間意識も今のままの方が良いと思う。
1が難しいのであれば3の義務教育学校、地域に密着した環境で、のびのび育ててきたので、子どもたちにも心の豊かさを、子や孫、ひ孫たち後世へ継承していきたい。
学校を統合するのではなく、先生が各学校を行き来すれば良い。ただし、教育管理者の校長、教頭は1人ずつ。統合すれば生徒の通学、地域活動など影響がでる。先生の人数は変わらないが、給与は一般公務員より2割程度高い先生が行き来するのは問題なしと考える。
生徒の減少が進んでいるが、子どもの通学と通学路を考えると心配が大きい。
人数が減っていくことによる問題は確かにあるのだけれど、可能な限りは慣れ親しんだ環境下の通学を希望するため。人数が少ないが故、部活や行事ごとではデメリットもあるが、一人一人に目が届きやすく学力や生徒指導の面では期待できることもあるのではないかな。
たとえば、小さな島にある学校で、児童(生徒)数が全校で数人のところがある。何も慌てる必要はないと思う。
神南校区として残したい。
現在の通学環境では統合に反対です。道路整備が全くされてなくて、自転車が通行できる歩道がいずれの統合先にも整備されていません。せめて、スクールバス等の運行がなければ安全の面で非常に不安です。
生徒にとって望ましい教育環境は、現神南中学校が一番でしょう。住民はずっと地域に住んでいます。教育委員会は職場が変わればそれで終わりでしょう。
小規模校にはそれなりの良さがあり、一定規模にないとダメだと言うのは、行政の都合である。小中一貫校が良いというのは、小学部と中学部のコミュニケーションが取りやすいことぐらいである。教育の質はいかに質の高い教員を確保、育成するにかかっている。
統合する必要はない。1学級でも学校運営は行政が取り組むべきである。教員獲得も優先すべきである。
小学校が吸収される選択肢しかない為、残していく方法を考えるべき。市街化調整区域の解除など、人を増やす取り組みを行うべき。
調整区域を外し、住宅を建てられるように。人口が増えない限り統合しても一緒。
従来通り、船津・山田地区にての地域優先に考えてほしいし、神南中学校を残してほしい。他隣接中統合となると、通学との安全面的にも不安がある。
①小規模であることを強みにした教育が出来るのでは。②保護者、送迎を要とした場合に厳しい。③低学年小学生の登校が厳しい。
神南中学校としてありつづけてほしい。
慣れた環境が一番望ましい。少人数で集中力が高まる。
豊富小中学校になった場合、通学路がすごく不安です。自転車で通学したとしても遠いです。その内、豊富の生徒数が神南と逆転するのも統合する意味が無いです。香寺中は校舎が古いと聞きました。神南中の方がキレイだと思います。
統合しても、他の校区もいずれ人数が減るので。
デメリットが大きすぎる。急激に統合をおしすすめた神河町の例を見ても、地域コミュニティの核・中心が失われ、かつより一層の過疎化に拍車がかかることになる。
生徒数の減少を理由に統合案を持ち出して、統合させたいのは市側の思惑であり、児童生徒自身も、地域住民ともに何らその様なことを望むことは一切ない。それぞれの地域の中で、現在のびのびとした環境、教育施設、よい教育環境で子どもたちは生まれ育っている。この様な環境で子育てが出来るのでこの地域に住んでいるのである。児童生徒から、また地域から素晴らしい教育環境である校舎をうばいとらうとして、通学距離を増し、交通事故のリスクを増やし、通学時間の負担を背負わず、悪でしかない統合はどこにも生徒の環境を良くする要素はない。断固反対であり、これまで通り統合しない今の教育環境が最良である。

神南中の名前を残してほしい。
来年度、中学校に入学予定の子どもがおり在学中に統合等で環境が変わることは子どもにとっても大変なことだから。
少数でも良いので神南中学校を残してほしい。
地域での交流や、登下校時を考えるため。
実際に子ども達が学校に通うとき、遠くなり危険をとまなう。学校がなくなることで、移住者やUターンの数が減り村が成り立たなくなる。

## ② 隣接中学校との統合を選択した方の理由

少子化が進み、子どもの人数が少なくなっていく中で経験や体験が減っていく。人間関係色々あるけれど、強くたくましく、色々な人に出会って学んでほしい。
子どもの人数減少傾向のため。
あくまでも現時点での意見になります。出来るのであれば生徒数の減少を抑え統廃合せずにすむ方策を望みます。
今後の児童・生徒数減少を考えると神南中学校だけで存続するのは難しいと思います。子どもたちの学習面や先生方の負担なども考えると統合した方が良いと思う。
部活をはじめ選択肢が増える。仮に辛いことがあった場合少しでも状況を変えることが出来るかも。
少人数で学ぶより大勢の中で学んだ方が多様な人間関係が築け、生徒にとって得るものが多い。不登校生徒にも環境が変わり良い。(閉鎖的な人間関係から脱することも可能)・教師の人件費や負担(小規模による)も軽減でき市の財政にも良いと考える。
学校に活気もなく子どもたちの競争心もなくなってくるのではと思いました。
小学校が現状で残り避難所として活用できる。同様の教育環境の小学校同士が集まり子どもにとってなじみやすい。
旧神南町での統合がまだまだと考えています。
地元で生まれた人間が外の地域へ流出し、今後地元の人口が減少していく見込みである現状を踏まえ、子どもの教育水準及び部活動など団体での交流機会の確保の観点から必ずこの近年の学校統合の流出に乗っ取り統合すべき。
統合しないが一番いいが、最近の生徒数を考えると隣接中学校が良いのではと思う。通学面で一番いいと思うので。
生徒数が多ければ、部活動の数も多くできるのではないか。
先生も少なくなっている、経費(運営)の軽減化、人口も生徒も少なくなっている。
教育環境上やむを得ない。
子どもは色々な考え方、能力など多様な人間関係で育った方が伸びると思う。少人数のいい所もあるが全体としてマイナス面も多いと思う。
人数がある程度ある方が部活動等で活動しやすい。高校大学への進学の際のギャップが少ない。
少人数の生徒数では競争心が欠如。将来的に中国人、韓国人その他国々と競争しなければならぬ上で、現在のゆとり教育では日本は経済的に敗北すると思う。より力強い若者を育てるのが最善。私も私事で計5年間海外生活をしましたが中国人 e t c は半端ないです。
集団生活は必要だと思う。多くの子どもたちの中で学んでいくのが良いと思う。
適質な競争とスポーツ環境を考えて。
神南中は、今後生徒数は減少する一方。
人数が多いほうが、お友達つくる(気のあう友人)機会が増える。(多様な考えや協力し合い、切磋琢磨することで能力を伸ばす)社会性やコミュニケーション能力が高まる。多くの教師に教えてもらえる。部活の種類も増える。
多くの生徒の中で人間関係を築いてほしい!
ますます少子化は進むと思うので。
ほんとうのところは1) 統合しないですが、現実的には2) の中学校統合は受け入れざるを得ないと考えます。小学児童の通学の便、又地域のよりどころとしての学校存続を考えれば、小学校は残したい。
クラス数はある程度ある方が学校運営も学校生活もしやすいと思う。住民数(人口)を増やすより、統合するのが早いと思う。
人数が減ることで部活動などの様々な活動の減少が懸念される為。
心情的には神南中学校を残して欲しいですが、近い将来のことを考えますと中学教育はある程度の規模の中での教育が、今後の社会生活には必要と思います。
統合化による教育の充実。
人口減少のためしかたない。
できれば母校として残してほしいです。
生徒数が減少しているので、神南校区で義務教育学校になってもいずれまたすぐに、生徒数増加は無いと思うのでその後どうするか?と再検討しなければならないと思う。少人数で学ぶものも育つものもあると思う

が、いろいろな人達と関わり成長していく経験は人生の中で必要と思う。集団として学べる環境確保のために統合を選んだ。
統合に関しては致し方ないと思う。しかし、通学には危険が伴う。スクールバス等の配車等は出来ないものか、実栗市では取り組んでいる、事故等が発生すると、「言わんこっちゃ無い」と発言する方が少なからず出てくると思われる。
1、3に関しては、これから人数が減っていくことがわかっているので、又その時期に考え直すようになるのでは・・・。今の状態では減っていくのが分かっているので統合を選びました。
ただし、生徒数を増やす施策を尽くしてから。今、対象となる子どもを持つ親として、9年間（義務教育）を1クラスで過ごすことが、人間関係形成にプラスに働くとは思えません。また、全国的に子どもの数の減少が進んでいる以上、姫路市という行政単位での統廃合はやむを得ないと考えます。ただし、局地的に神南中をなくせば良いという短絡的な考えにならないよう、施策を行ってから考えるべきだと思います。
子どもの成長には、子ども同士で学ぶこと、競争することもすることも大切、その為にはある程度の人数が必要と思われる。
クラス数、先生の数など、一定の規模になることで教育環境が整うと思われる。
部活の種類の選択肢を増やして欲しい。人数が多いほうが経験の幅が広がりそう。
現状として統合しないと成り立たない。
通学に近い。
少人数だと行事が出来ない（限られる）運動会、体育祭の種目など。
一定の規模は必要。
3）が現状では考えられるが、今後も生徒数減少が予想されるので、将来のことを考えると香寺との統合がよいのでは。
神南小中学校（義務教育学校）にしても今後減少傾向にあるため、その後も考え始めから統合しておいた方がよい。
香寺中、将来、豊富の子どもが少なくなると、他校に統合されるから、香寺の方が子どもが少なくなることがない。
設備等がそのまま使用可能。
近隣中学校と統合することで多くの生徒と交流することができると思う。部活動でも少数だと選択肢が少ないが、多くいると選べる部活も増えていいと思う。
日常生活圏と一致している区域の方が望ましいのでは・・・（統合が止むをえないのであれば・・・）
クラスの人数が少なすぎる（学年も）、早く統合して欲しい。
きそい合い成長していくと思うので、人数が必要。
統合により生徒の確保ができるため、部活動が可能になる。統合により先生の人数の削減ができる。（校長、教頭も含む）
やはりこのままでは先生の人数も減らされ、中学校のように各教科担任が必要な場合に、その人数が確保できるのかという心配がある。部活動においても、連合チームばかりになってくると練習も一緒にできなくて困る。
近い所の中学校に統合できたら通いやすいと思う。
少人数では生徒の学習効果が不十分と考える。ある程度の規模は絶対が必要。
子どもは競争相手が居ないと成長しない。
今後、豊富地区の生徒数も減少と伺い、お互いに統合して活発化してもらいたい。
同学年の子どもが多数いて、多様性を学んだり切磋琢磨できたりする方が望ましいと感じるから。教科や部活動の指導もまとまった人数がいる学校の方がやりやすいのではないのでしょうか。専門外の教科を担当すると先生も生徒も気の毒だし、部活動も人数の少ない学校では種類が少なくならざるを得ません。
いじめ問題があるのでクラス替えがしやすい。
少しでも近い所の学校が毎日行きやすいから自分で行かなければならないから。
学力、向上のため。（キチンとした教科ごとの先生に担当して学んで欲しい）

### ③ 義務教育学校を選択した方の理由

香寺、豊富遠すぎる。
山田校区単独での小学校維持運営が難しい。神南中学校校地までなら交通問題も対応可能かも！
地元意識が希薄になることを避ける方が良いかと思う。
隣接中学校との統合は通学の距離や安全性での児童への負担が多い。豊富との統合は将来的に、またどこかと統合が必要になるのではないかと、その時の児童はとても遠くへ通学しなければいけないのではないかと不安。今、他校との統合を急ぐのではなくとりあえず今の校区内でできることをしながら、将来的なことなので時間をかけて協議するべき。
周りの自治体も小中一貫校になってきているから。
現在こども園に通っている子の人口が10人未満なので小学生の時から船津地区の子どもたちと一緒に学校生活を過ごすことが出来るといいなと思ったからです。どのように通学するかが難しいと思いました。
できるだけ地区の学校は残しておきたい。

子どもの通学（登下校）の安全面を第一に考えました。
地区に学校は残してほしい。もともと過疎が進んでいるのに、学校が無いような所に若い世代が残ってくれたり、新たに住もうとは思わないと思う。
現在も船津小学校と山田小学校は、神南中学校で合流しており、今後小学校も合同しても大きな混乱は無いと思われま。校舎も現状で対応できそうですし、通学の問題も比較的小さいと思うのですが。
仮に隣接する中学校（豊富、香寺）に統合となると通学に遠方で自転車が認められたとしても交通量が多い道を利用しなければいけないとなると心配。
神南中学校の校風を大切にしたいから。礼儀正しさを失ってほしくないから。
小中校を統一してハイスペックな教育を整え、モデル校となり特別に市外からの生徒を受け入れても良いと思う。空き家が増え、市等が補助するなら家族で神南地区へ引っ越してきてもらい両親は加古川、明石方面で働かれても良いと思う。
船津・山田校区からどれか1つでも良いので学校は残してほしい。学校が地域からなくなるということは今後の過疎化を進め何十年もしくはもっと早くこの地域での生活が出来なくなることにつながると思います。
香寺や豊富と統合してほしくないから。
香寺、豊富いずれも通学は遠いし交通事情も悪い。
子どもを育てる立場として住んでいる地域で学校に通わせてやりたいというのは当然である。そのため統合というのはいない。一方で現実的な所で何かアクションを起こす必要があるというのであれば必然的に義務教育学校という選択肢になる。将来どうなるのか子どもは不安に思っている。市教委には子どものことを考えて常識ある判断してほしい。
通学路線、安全確保。
隣接中学校と統合する場合、通学路とか通学時間の問題あり。
近い将来のことを考えた場合、①香寺・神南・豊富を合わせた義務教育学校（あくまで対等合併が望ましい）②小学生～中学生、子どもは連続している。教師の視野こそ広がってほしい。
地域の特性がいかにするため、他地域との合併には抵抗がある。
地域のつながりがとても良い。
小学校の統合も同時に出来る。
他の校区は検討しているのか、なぜ船津、山田なのか？（神南小中学が良好）
小学校から中学校へ進学し「中1の壁」にぶつかり不登校の子が増える傾向が全国的にあるのであれば、一貫校にし、子どもたちの環境の負担を軽減できるのではないかと。
船津、山田地区の義務教育を必要とする生徒たちを、全員1つの学校に通えるような体制が良いと思います。義務教育を受ける生徒たちは少しでも近い立地に学校があることで送迎等発生した際も保護者の方々も助かると思うからです。
通う距離など、あまり遠くない方が良いと思いました。
①子どもたちの通学面を考慮して欲しい②神南地区の郷土や文化を継承して行ってほしい、そういった環境をつくってほしい。
いきなり他中学校と一緒にするのは距離が遠すぎるように思う。
他の中学校との統合ではなく、まずは現状の中学校区を維持する取組を検討していただきたい。
自分たちの生まれ育った環境を大切にして義務教育を受けてもらいたいと思うから。
限られた人数で伸び伸びと育つのもいいかもしれませんが多くの人数の中で色々な人と交流しながら、より多くの経験を積んで欲しい。
豊富、香寺と統合するより、地域性が確保されると考える。
隣接中まで通わなくて良いため。
山田小と船津小のどちらの良い所も生かしながら、今ある神南中の伝統的な流れに入り込むことができる為、地域性も守れると思います。
神南校区として残って欲しいと思う。
通学距離が近いから。
生徒数の減少が近い将来三町統合となるだろうが生徒が遠方通学、危険性の回避、安全確保を望むため。
通学が近いから。
通学距離を考慮。
通学距離が長くなればリスクが増える。
地域の慣れたところで学校に通う方が子どもにとって良いのではと思った。あまり離れた学校では通学するのが大変になると思う。
校区が今までと変わらない為なじみやすい。
神南校区以外の中学校と統合すると通学が大変になる。
山田と船津小学校は中学で一緒になるので9年制になったらよい。
私は現在の神南中学校において船津、山田小学校は合併し神南小・中学校（1年～9年生）とし、教育の充実こそが望ましい。小学校低学年は慣れるまである程度の時間は要しますが…。小学校において合併（船津・山田）→神南小学校その先神南小中学校
香寺や豊富と統合することに抵抗がある。急に多人数になるということ、通学の問題、環境の変化について

いけるのか不安がある。
環境的に大きな変化がない方が子どもたちにとって良いのではと考える為。
神南校区を残す必要がある。将来子どもが増えた場合、廃校を復活させることはできなくなる。
国及び国民が人口減少を止められず日本の人口減少は必至と考える。日本の人口が減少することでインフラを含む住民サービスを人口減少が顕著な地域は享受できなくなることは近い将来到来するはず。(享受を希望する住民は国が指定する地域への移住を条件に住民サービスを実施するような時代が来るのではないか)隣接中学と統合してもすぐにその次の統合の話をする事となると想像する。いずれ大きな統合になり隣接中学との統合期間は短いと考えるので、山田神南の地域性を出来るだけ存続させたい。
統合すると隣接の中学校への通学が遠い。
通学にも安全であるし今までどおり神南中学校が残ることを希望します。
隣接中学校と統合すると、通学が遠くなると思うので。
小・中学校の家庭を神南中学校で習得できたら、山田、船津校区の子どもさんや親御さんにとっては馴染みのある学校なのでそうなればいいかなあと単純に思いました。
山田小学校の全学年が10人切ると予想される、R12ごろに、神南中の場所で義務教育学校とし、神南中と豊富中の人数が逆転すると予想される R16年ごろに2つの義務教育学校を神南中の場所で統合するといいたいと考える為。
子どもの通学時の安全を考慮し、近場の神南中学校で義務教育学校が一番ふさわしいと思うため。
学校は地域の文化、交流の中心であり、経済的な理由で安易に他の学校と統合することは長い目で見て大きな損失となる。
神南中学校区としての一体感があるため。
神南中の伝統を守り、地域と密接な教育とする為。
統合して学校が船津校区になくなると、ますますこの地域へ住もうと思う若い世帯はなくなると思う。
通学が遠くなるから。
校区が変わらずに通える為。
登校する時間が現状と変わらないから。
校区内で通学することの安全面や災害時の子どもの安全確保の為、少しでも校区内に近い方が良い。
①に関しては、生徒数減少問題の今後についての解決にならない。②に関しては、通学時間増や親の負担増につながる。④に関しては、住民の意見が反映されるかが心配。
子ども達の通学の負担を増やさない為には、まだ良いのではないかと思います。しかし各小学校から神南中学校まではかなり遠い地区もあるのでスクールバスは必要と思います。
少数で密な教育現場も魅力的だが、子どもの将来を永い目で考えた場合、ある程度の集団の中での多様なふれあいや、大変さを経験する必要の方がより大事なことであると考えます。正し、他地域との統合まで考えるのは時期尚早である。
通学距離の関係から最適と思われる。
豊富小中や香寺中までの登校が大変。
1)は問題解決になっていない。先を見て検討すべき。2)は大きな変更なので、いろんな所で負担が大きい。3)は一時しのぎかもしれないが、2)よりは負担が小さいと思う。段階的に2)も検討していく。
校区の変わることを望まない。
通学距離が問題。
今の生活を大きく変えずにすむ。9年間通しての教育計画を立てられるメリットがある。
人口減少とともに運営がきびしくなることも分かるが、やはり、地元での学校生活を送ってほしい。通学等も自転車やバスの活用等もう少し具体的な案が出ていれば統合も選択肢に入るかもしれない。
住んでいる校区内で登校できるのがベストだと思うから。
少年期の多感な年齢なので、慣れた生徒達で学校生活を送った方が良いと思います。
通学しやすい。
通学距離が長くないから。
住んでいる校区に子どもたちが通う学校があるべきだと思う。校舎もあるのにわざわざ隣の校区に通う必要がないと思う。豊富のように小中一貫という選択肢があるので、船津と山田もそれを取り入れてほしい。
豊富や香寺中学校と統合することで、通学の問題、神南中学校区からの生徒ということでの差別意識、環境変化等デメリットの方が多いと思われる。かといって現状のままだと生徒数が減少していく一方で義務教育学校が妥当と思われる。
通学に近い。
登下校、距離による送迎問題。
生徒の数だけの議論はナンセンスである。学校は生徒数だけでなく、集落全てをまとめる形で議論されるべきである。
中学1年からの環境の変化で生徒への影響。
神南中学校区の児童生徒数の見通しのグラフからも何らかの検討をしないといけないことは明らか。その中で、校区が違うところとの統合にはかなり違和感がある。また、校区を広げすぎると通学の問題が出てくるため。

小中学校にすることで、教員数を確保し、児童たちの通学もそこまで遠方にならず、通学時の安全も確保できるから。
隣接する中学校と統合すると通学も大変になる。今までの環境（人数なども含む）が変わり過ぎてしまうので心配や子どもたちの負担が大きい。
遠距離通学となる低学年の通学方法が心配になる。
義務教育学校とした場合「旧船津小」「旧山田小」は母校としてなくなってしまうが、神南中はいつまでも学び舎として残っていく。母校は両校区にとっては神南中が継承するのが良いと思う。
通学に遠くなる子どももあるが、登下校の安全確保にも良い面がある。
中学校で一緒になるなら、小学校（後半）から一緒でも良いと思う。
他地域への通学が困難であること。また、子どもの性質も地域性があるため、同じ地区の子どもで船津地区の穏やかな？良い？性質のまま成長してほしい。
登下校の安全確保や通学の手段などを考える必要がある。地域と学校のつながりが残せるため。
他校区へ通学することが一番心配で不安。地元の学校で義務教育学校になる方が通学面で少し不安は軽減されるが、小学低学年が神南までの距離を歩くのは無理なので通学手段を考える必要はある。
通学の安全確保がしやすい。
神南中をなくすという考え方が第一にあるのはおかしい。豊富小中学校もいずれ同じ道を歩むはず（子どもの減少）船津小、山田小を統合し、神南小中学校を作るべき。
神南中の今は、船津・山田小がひとつになって中学校を持っている。したがって神南中を活用した義務教育学校の設立を希望する。
同じ校区で学ぶのがやっぱり良いと考えます。
小中一貫が望ましい。
香寺も豊富も遠い。
香寺中学校校舎が年数古いため、将来を見すえ、神南、豊富、香寺の3校対応の学校を1つ設立と考えます。
地域を維持するために、小中を統合し、全世代で守っていく。
隣接中学校と統合してもデメリットがあり、校区も変わらないため。
これまでと大きな変わりがない（中学3年間は変わらない）小学校（6年間）が異なるだけ。
これまで通り統合しないのが本来の希望であるが、教員の手当が難しくなることが予想される。中学校教員も専門のみを教えるのではなく、幅広く（他教科も）教え、小学校も担当できるようにすればいいか。
通学の問題。
統合せずに済む方法では3がよいと思ったから。
小・中の児童生徒と一緒に登校しやすい。
神南校区に学校が無くなるのは過疎化の原因になる。将来的に誰も学校のない地域に子どもたちが帰って来なくなるのではないかな？
船津での小中一貫、山田での小中一貫が望ましいと思う。通学路も近い方が良い。
豊富中も香寺中も通学時間帯は大変交通量が多く、又、歩道もない所もあり危険な為。
登下校時のリスクが少ない。
船津、山田両小学校を統合し、神南中学校と併設されてできる小中一貫校にし名称も変える。（時代に合ったものを）
1. 現状の船津、山田校区の方が会話が上手くいくと考えるから。又、通学もやりやすいと考える。
豊富小中学校や香寺中学校までの通学手段が心配。神南中学校の校地であれば、安心して子どもを通わせることができる。スクールバスなどを用意しなくても、自転車通学くらいで何とかかなと思うから。
通学距離が短い方が良いと思うため。
豊富、香寺中学へ通うより、現状が難しいなら山田、船津、神南を1つにして先生を確保した方が地域のつながりなど今まで通りな気がするから。
統合するとどうしても通学に色々問題が出てくると思いますし特に安全面で。
児童生徒数が減少しているので、小中一貫校にするのが望ましいと考えます。
今までどおり船山地区で通学できるから。他校と統合した場合通学に困ります。安全面でも不安です。
神南、豊富、香寺の各校区のカラーを考えると、交わらない方がトータルで考えると無難と思います。
船津、山田での義務教育学校の方が良い。豊富又は香寺では通学が非常に困難、車が多いため危険。学校は新しく新設（場所はライスセンター付近が真ん中で良いと思う）。
通学の時間が長くなるので、できるだけ今の所から近い所で。神南は神南の子同士で育ててほしい。
船津校区から学校がなくなることはさびしい。
他中学との統合だと、通学時間がかかるため、自転車通学者が増え、安全面で心配。
他の学校の統合だと通学の時間がかかる。親が通学の送り迎えをしなくてはならない。その他もろもろ。
通学距離により無理がないようにと願う。
小中一貫教育で9年間をみこした教育課程が柔軟に組めるので。
山田船津は中学校で統合しており、小学校から統合するには問題はない。統合は避けることのできない問題なので、義務教育学校が一番よいと考えます。
隣接中学校と統合するよりも神南校区として今まで通りであると考えたため。

#### ④ 協議会に委ねるを選択した方の理由

1回の説明会では状況がよくわからない。
多くの意見や見識が集まると思われるから。
子どもがいない家庭なので考えが及ばないことが多いと思うので。
住民から一番多く出た意見を反映してほしいから。
通学等難しい問題がありそうなので協議会にお任せします。
今すぐ統合が必要とは思わないが、近い将来統合は避けられない状況になると思うので、協議会の判断に委ねます。
協議会の議論が優先されるべき。
国の方針にしたがいます。
細かいことがわからない為。
生徒数が減少しているのは仕方ないので。
子どももおらず、他市からこちらに移ってきたため様子がわからず適切な意見を言うことが出来ない。
未就学児～中学生の子どもを持っている保護者の意見を細かい部分まで聞いて協議して欲しい。
どの案も検討事項があり多くの見識で意見交換をして結果を出してほしいと思ひ協議会に委ねることになります。
関わりのある方たちが協議された方が一番良い結果を出してくださると思うから。
協議会の構成委員の方々にお任せします。
現在子どもが通っていない為考えられない。
通学する子どもがいない為。
統合に関してどちらが良いか決められない。
地区においても子どもの減少は解りますが就学生のいない我が家では現在就学生とその父兄が望まれる結果が一番だと思います。子どもも巣立った親としては子どもたち、親たちの意見が大事だと思っています。
学生の子どものがいませのでわかりません。
色々な情報を知っていて、理解されていると思うのでお願いしたいと考えました。
各階層の協議会ですので妥当答があることを信じている。
話し合いをもっとつくすべき。
現状、特に困ったこと等ない為、統合等は時期尚早と考えられる。協議会で決定しなかったことをアンケートで求めるのはおかしいと思う。
どの取り組み方策が一番児童生徒にとって良いのか決めかねますが、現場の声、児童生徒の声もよく聞いていただいて教育環境を整えていただくことを望みます。
説明会では神南中を残してほしいという年配の方の声が多かったが、一番優先すべきは今年影響を受ける子どもたちとその保護者の声だと思う。近くて安全に通える地域の学校があるのが良いのはもちろんであるが、統合しない道を選ぶと神南には質の悪い先生ばかり送られてくる可能性がある。神南中学校が残るのは嬉しいがその道を選んでも、子どもや保護者の未来は明るくないと思う。よって選べない。
隣接中学校と統合とは具体的にどの中学校と統合になりますか？わからないので協議会に委ねると回答しました。通学にはどのような方法をとるのかも分からないのに答えられない。
これと言って意見はなく、協議会に委ねることとします。
昨年に転居してきたので事情がよくわからない。
一方を選ぶと小学生の徒歩通学が困難になると思うし、もう一方を選ぶと中学生の通学が自転車かその他のいい方法があるのか分からないから。
協議会で検討してもらうのが一番良い結果が得られるのではないかと思います。
何が一番良いのか分からないので。
学校へ通う子どもがいないので、現在の教育現場がわからないので。
子どもがいないので。
学校に通っている子どもがいないのでわからない。
世帯に15歳以下の子どもがいないため。
どちらの中学校に統合しても通学時間がかかるため。
子どもがいる家庭の意見を重視して欲しいと思います。
色々選択肢があり、何が良いか分からない。
問題が難しく、どの取り組みがいいのかわからないので協議会に委ねることとしました。
協議会の意見を尊重する。
協議会が色々と調査し、一番良い道を選んで下さると信じているので。
協議して決めて頂きたい。
どれにも短所と長所があり、良い方に行けば良いし、悪い方に行けば悪いのでどれでも同じ。
どうすれば良いか分からないから。現時点と2～3年後では変わっていると思われる。
②-ア豊富小中学校と統合すると、③神南中学校で義務教育学校にすると迷いました。小学校時代は別々で中学校で一緒になるより、小学校の頃から一緒に学び遊び過ごした方が子ども達には望ましいのではと思

いました。
現在のお子様の様子は分かりません。
判断しかねる。
学校園に通っている子どもがいないので、現在の学校園の状況が分からないので協議会に委ねます。
統合する場合としない場合のメリット、デメリットがわからない為判断できない。
統合もしくは、義務教育学校でどちらでも良いと思うので、より良い方で進めてもらいたいから。

#### 無記入の方の理由

自宅から神南中学校が一番近い。登下校の交通事故の安心、安全の確保という点で豊富中や香寺中に登校するよりも安心、安全の確率が高いと判断したため。登下校は毎日のことです。子どもの交通事故も毎日のように起きています。安心、安全が最優先です。
豊富小中学校、香呂小、中寺小、香呂南小、山田小、船津小、香寺中、神南中をすべて統合し新しい義務教育学校とする。最初は多すぎると思うかもしれないが、近い将来どこの学校も生徒数が減少するため。
先で豊富中の人数が減少（神南）するのがわかっているのに統合の必要はないのではないか。行うのなら3が良いと思う。
高齢の為。

#### 問3 仮に隣接中学校と統合するとしたら、どの学校が良いと思いますか。(〇は1つ)

項目	船津地区	山田地区	無記入	全体 (%)
① 豊富小中学校(後期課程)	89	110	0	199 (25.8%)
② 香寺中学校	174	70	1	245 (31.7%)
無記入	182	129	17	328 (42.5%)
合計	445	309	18	772

#### 問4 問3の回答を選んだ理由をご記入ください(自由記述)

##### ① 豊富小中学校(後期課程)を選択した方の理由

豊富、香寺しかなかったら豊富?
旧神南町構成地域であり多少なじみが有る。香寺は姫路市で有るが統合のイメージがしにくい!
統合するなら近いので、香寺中学校は信号や橋を渡るので交通の安全面で親の心配が増えます(冬の部活で日が暮れるのが早いので危ないです。)
バスの路線にあるから。
今のところ路線バスがあるので。
香寺中学校は遠方過ぎると思うから。
地理的に近いと思われる。
近いため。
2校を比較した時に通学距離が少しでも短くてすむ。在校生の人数から考えて少しでも手厚い教育が受けられる。
登校距離や交通量を考慮すれば豊富小中学校の方が良いと思うから。
バスで通えるので。
山田地区からは近いため。
豊富小中学校の方が通学距離が短いため。
近い地区の方が良いと思う。
まだ近いため。
私は義務教育学校を希望しています。神南校区で希望します。
小中学校なので。
登下校の距離(安全確保)が少しでも有利だと考える為。
地続きの方が安全と思う。2の場合は交通量も多いし危険度も高いため。
仮に隣接中学校と統合するなら新しい校舎を建てることを望む。香寺中学校区は、歴史的に行政上・事実上、神南校区とは区別されてきたため、なじみが薄い。また、通学や交流の際に使用する道路は、市川で分断されているため2本の橋のみである。災害で橋に異常が生じた場合、通学・交流する手段がなくなる。通

学の際にも危険な場所が多い。豊富地区は、歴史的に神南校区とつながりがある。大きな川で分断されていないので災害の時にも通学・交流する手段がある。ただ、10年後に児童数が逆転する以上、現時点で神南中学校が豊富に統合する判断は時期尚早である。
近い。
山田としてはアクセスが良い、船津も自転車でも可能。豊富の生徒も1小1中より人間関係を広げるのに良い。部活動の種類が増やせ、選択肢が多くなると思われる。
通学に公共交通が利用できるため。
まだ近い。
いずれ統合しないといけないし市川が大きなネックになりやはり①です。
どちらかという豊富程度。
通学路の安全が確保でき易いと思う。
山田から香寺は遠すぎるし、交通機関の整備もされていない。仮ではあるが統合を前提とした質問は公平性がない。
豊富も神南校区と同じく生徒数が減少していく為。
香寺中より少し近いように思える。
市川をわたるのでない方が良い。
少しでも近い方がいい。
どちらも距離が離れており、スクールバスでの通学が必至であるが、豊富であれば交通量からして混み合うことがない。夜間が暗く、自転車通学は非常に危険。
前提として「仮に」ということなので歴史的に文化圏(旧神南町)であり今は北部地域という行政ブロック内の1)を選択した。(今回のアンケート結果を前面に出してのぐり押しはダメ)
距離が短いと思ったため。
通う距離や女の子の帰り(夜道の不安)なるべく近い方が良くと思っています。
通学の面だと、豊富。後期課程の入学で連携に心配はあるが。
山田校区からだ香寺中まで自転車通学でも遠すぎる。車の多い道を通ることが多く安全面が心配。
距離が近い。
香寺へ行くのは不便。豊富も不便だが選ぶとしたら①です。
交通のことを考えれば。
近いから。
豊富もこれから子どもが減っていくと考えられるため。
香寺よりマシだから。ただ、このような設問は誘導的なので答えたくなかった、3)必要なしだと思います。神南中統合より先にやるなら神南小中学校では？
香寺は交通量が多く事故につながりやすい、まだ近いから
バス通学が出来るから。
もともと東部ブロックとして同じブロック内の為。
やや近いため。
物理的に近い、生活環境が似ている。
神南中も義務教育学校にしてから統合について考える。
旧市域であり、結びつきが強い。
通学に路線バスが使えるから。
通学距離が近いから。
通学に便利。(バス通学も可能)
通学しやすい。
豊富の中学校部分と統合し神南中学にしたらいいと思う。昔の神南町は山田、船津、豊富であった。豊富も先には子ども数が減少するのでは。
香寺中学校より豊富小中学校の方が自宅より近いため。
通学方法が公共バスとする場合それが利用できる。
香寺は遠い、通学が大変。
昔からなじみが有る。
少しでも近い方がいいので。
距離が近いから。
そこまで多くの生徒数にならないと思うので、生徒に目がいきやすいと思われるので。
地理的、気持的ななじみの面(旧神南町)から。香寺は地理的に抵抗あり？
地域環境面でつながりがある。
バス通学が出来るから。
周辺の環境が山田に似ているので通学面では少し安心。
問2に近い考えで豊富の方が近いと考えるから。
地続き。(川を渡らなくてよい)
登下校の安全。

<p>登下校の(通学時)際、豊富小中学校だとバス通りでバスでも通学という選択肢が出来るかと思ったから。また山田・船津小学校が将来的に閉鎖となってしまった場合、豊富小中への就学(通学)がスムーズと思ったから。</p>
<p>すぐに神南・豊富を統合する訳ではなく、問2で答えたようにR12ごろに、神南に義務教育学校をスタートさせ、同時に豊富との統合を検討しR16年ごろに神南中の場所で統合するのが、この先まで考えた時に良いと考える。</p>
<p>地域的にも文化的にも親しいイメージがある。登校経路が安全。</p>
<p>距離だけで選びましたがそれでも遠い不是吗？</p>
<p>旧姫路市で地域としての一体感があるため。</p>
<p>市川の東と西でわかれているから。</p>
<p>一番近くにある地域なのでなじみやすいから。交通の便も良いかなと思う。</p>
<p>統合後の規模が適当だと思う。香寺は大きくなりすぎる気がする。</p>
<p>中学生の距離が遠い。自転車通学になれば、交通事故が心配です。312号線は車が多いので。</p>
<p>交通量。</p>
<p>元から姫路市なのでスムーズにことが進む可能性が高い。</p>
<p>登下校の安全の問題。</p>
<p>山田校区の生徒が通学に近い。</p>
<p>生徒数減少の危機感を持ち、共に子ども達の育つ環境のことを考えていけるのは豊富のように思う。香寺はまだ「生徒数減少」「統廃合」についての危機感はないように思うので、学校や地域の方の受ける側の気持ちが整っていないのでは。</p>
<p>通学に市川を越えるよりは豊富方面への通学方法を幅広く考えてはどうか。</p>
<p>通学に安全。</p>
<p>現在、人口への不安を持っている地区との統合が良い。</p>
<p>少しでも通学のルートもリスクが少なく安全だと思う。</p>
<p>香寺は交通量が多いから。</p>
<p>通学距離が近い方。</p>
<p>船津・豊富は神南南、神南北中と呼んでいた時が過去にあった。</p>
<p>豊富の方が近いから。</p>
<p>豊富町の方がなじみがある。</p>
<p>通学路の安全。</p>
<p>香寺と船津・山田は政治・文化が大きく異なるので、一緒にすべきではない。(選挙時の立候補者も異なっている。)国道312号をまたぐ通学も良くない。</p>
<p>登校する際、市川を渡らずに済む。山田地区と船津地区がほぼ平等かと思う。</p>
<p>行動範囲が広がる。(電車、バスが近くなる)</p>
<p>まず統合先の学校までの距離が豊富の方がまだ短い。(特に山田地区)</p>
<p>義務教育学校が良いと思ったから。</p>
<p>通学の安全性と距離を優先。</p>
<p>船津にしても、山田にしても、近いのでは。交通の便も車が少ないのでは。</p>
<p>小中一貫校であるため。</p>
<p>自分の子ども(現在20歳前半)が小学校の頃や就学前から豊富の児童館を利用させて頂いて、場所的になじみがあるので。今の子ども達も就学前から利用してなじみやすい環境にする時間を早い時期から持つのはいいことではないでしょうか。</p>
<p>通学に橋(川)を渡るので、災害の時不安。安全に通学できる方向で決めてほしい。</p>
<p>通学の安全性。</p>
<p>香寺の方面は交通量が多く、通学路に限られる。</p>
<p>橋があり危ない。行きかえりで体力が消耗する、特に低学年。</p>
<p>香寺中では遠すぎる。</p>
<p>仁色村は豊富の秋祭りに参加しており、多少なりとも交流があったから。</p>
<p>香寺中学校へ行く方が交通量の多い道路を通ることになると思うので豊富の方が安全に通えそう。</p>
<p>山田校区から近いから。</p>
<p>船津校区から考えると豊富となるかなということです。</p>
<p>川を渡るより良い。</p>
<p>香寺中学に比べるとまだ通学に便利だし、地域の把握もできている。</p>
<p>これまでのつながりや祭り等。</p>
<p>香寺中で統合すると子どもの人数が多すぎるため、質のよい教育が受けづらい。</p>
<p>大きな道路を横ぎらなくて良い方法。通学に不安が大きいから。</p>
<p>家から近い学校がいいと思ったから。</p>
<p>秋祭りで同じ氏子になるので馴染みがあるので、山田町だとバス通学が出来ることです。</p>
<p>登下校の安全面を考えたとき、香寺中学校であれば交通量の多い国道を横断するのは危険であると思う。</p>

実際に子ども達が学校に通うとき、遠くなり危険をとまなう。学校がなくなることで、移住者やUターンの数が減り村が成り立たなくなる。

## ② 香寺中学校を選択した方の理由

方針決定までに数年かかるので、決定後すぐにまた統合になっても困る。香寺プールなど、色々な体験が継続して出来る。人間関係を学べる。
豊富小中学校も今後少数となりいずれ統合を考えなければならないと思う。交通の便やスクールバスの導入もあれば香寺中学校の方が、メリットとしてはある。
豊富では遠距離であるため。
環境変化に対応するのであれば既存のコミュニティに入るよりも新設の方が対応し易い！
まず、豊富との統合にメリットを感じない。香寺への通学は、高校への通学時、香寺方面へ行く（駅へ）児童が多いので、少し早くなったと思えば不安はそこまでない。土地柄的にも安心。生徒数もしばらくは大丈夫そうで、部活の選択肢も増える。メリットはある。
豊富の方がいずれ生徒数が減るので。
中学校同士の統合が良いと思う。
豊富小中学校は小学校から中学校へ行っても人数が増えないが香寺中学校は3つの小学校から1つの中学校へ行く為神南中学校が香寺中へ行ってもなじみやすい？豊富小中学校も子どもの人数が減少していると聞いた。
近いし人数も多いので。
近い。
後期課程から編入することに不安がある。将来的に生徒数が減少する豊富と統合するメリットがない。
イメージがわからない為。
通学が近い方。
人数が多い。
宮脇、八幡、大沢地区から豊富は遠すぎる。
歴史的に考えると神東郡にあたる豊富との統合であるが、通学の距離を考えると香寺中学校との統合がベストと思われる。
メリット・デメリット整理表を読んで、一番デメリットが少ない方法だと思った。
通学距離の問題はありますが、以前からスポーツ、部活動で交流あるので生徒間の抵抗も大きくないと思います。
生徒さんの質は不明だが先で播但線通学する生徒がほとんどであるから駅方面の事情に慣れておく方が良いと思われる。
いずれは豊富小中学校も生徒数が減少し、その際にまた統合をしないといけなくなるのであれば、その心配がない香寺中学校との統合の方が良いと思います。
統合はしてほしくないがどちらかを選ぶなら。まだ距離が近いから。
高校、大学と進む中で多くの子供が JR を使うケースが想定される。どうせ統合なのであれば香寺方面に通学する方が今後にメリットが考えられる。生徒数減（豊富中の）を考えると豊富と一緒にするという考えになることは理解が出来ない。
香寺中学校の方が近いし学校自体が長く続きそう。
近いので。
豊富小中学校の人数も減少しておりやがて神南中学校よりも少人数になると言われており、また統合の話が出てくるのではないかと心配している。
香寺中の方が生徒数確保が出来そう。豊富と統合していつまで持つのか心配。
豊富小中へ自転車で通学する場合、県道等は車道を走ることになり危険である。
通学時に安全な道を通れる道がある。住民の環境が香寺中学校の方が神南に近い。
豊富小中学校は人数が減るみこみだから。
するとなれば香寺が良いのでは！統合には反対します！
豊富は小中学校なので中学校だけの香寺中学校との統合が良いのではと思う。
香寺の方が JR 香呂等に通学勤者が多く、将来のバス路線を期待して。距離的には変わらないと思うが将来バスが少なくなると不安！豊富も公共施設なし。山田から香呂方面はなじみが有り、プラスしてバスなどの便を設置並びに公共施設も存在しているのでこの方面の充実を図る。
豊富は小学1年生からずっと小中学校なので中学から入学すると気まずい？という感情が出そうなので。香寺だと皆小学校が違うので中1からみんな同じ状態。
香寺中の学校内は分かりませんがやはり通学するうえで近くがいいのではないかと思います。ただ、山田校区からでは遠いのでバス通学か、始業時間を遅くしてもらえると助かります。
通学の手段としても一番近いから。
香寺の方が生徒数も多いと思うので。
校区が遠すぎる。通学手段が不明である。

姫路市の北東部の2校がくっつくことでおさまりが良いと思う。
子どもにとってはスイミングスクールなどで香寺地域に行く機会が多い。大人にとっても買い物などで香寺地域に行く機会が多い。これらのことから、豊富地域ではなく香寺地域の方が良いと感じている。
通学路の心配。(山が2か所あり)
豊富校区は電車はなくバスしかない。山田校区と似ている。香寺に統合したら電車の利用も増すと思うし、行動範囲も広がるように思う。
1) の場合小中一貫校に途中から在学することになり、既在学生との関係がうまくいかない。
現在小6の娘に聞いた所上記2) を選んだ。
将来的に子どもの減少率が少ないような気がしましたので選びました。
どちらともいえないが通学と環境等による。
香寺中学校の方が多くの生徒の中で学べると思ったからです。
香寺の方が他の行事などで交流があるから。
環境が似ているため。
豊富小中学校の方がよりデメリットが大きい。
豊富小中学校の場合豊富は小中、神南は中学生のみとなりアンバランスになるため。
豊富までの通学路に心配がある。
少し近いから。
①にするのならば義務教育学校にする方がよい。
豊富が小中一貫なので後期からだ不安。
治安が良い。
通学道路が危ない。(太尾から豊富中学までの間の山の迫った狭い所)
近い。
船津校区から香寺町への自転車通学の方が便利が良い。部活終わりの帰宅時間、冬の登下校を考えると、香寺の方が安全性が高いように思う。
香寺の方が豊富より通学しやすい立地だから。
数年後に豊富の子どもの数が減少することが分かっている、再び統合の話になることは避けたい。
家から近い。
香寺中の方が、学級数が増えて、部活動等も活発になる。
9年生で統合が難しいと思います。
生徒数の多い地域と統合する方が何度も統合の検討をしなくて良いから。外部の部活動が増えてきている中で、播但線に近いという交通の便が良いから。
人数が多いと思う。
豊富だと今までに交流がない。店もない。豊富小からいた子だけですでに輪ができていてのではないか。
通学その他を含め、利便性が良い。
すでに小中一貫校で運営され、かつ元1小1中の豊富中より香寺中の方が良いと考える。(小中一貫施策が単なる3小1中になってしまう。)
通学の距離、相手校の生徒数。
香寺中学校の方が通学しやすい為。部活動の種類が多い。
統合しても、将来又統合しなければならないことが起こるので、人数の多い学校と統合した方が良い。
小学校の間は各々の小学校で学び、中学校で統合される方が良いかと思います。現在の神南中学校が中学校で船津小と山田小が統合されたのと同じ考え方です。そして、香寺中学校の方が距離的に近いんじゃないかと思われま。
義務教育学校、豊富小中学校の場合、先々また同じ問題にあたってしまうので、余裕がある香寺中学校が妥当だと思います。
近い。
香寺中学校と統合するとスタートが同じだと思うから。
近い。
豊富よりまだ登校時間が短い。
豊富小中学校は資料によると先々では人数減少が著しく、また同じ問題が出てくると思う。
小学校までは、地域の慣れた学校が良い。香寺中学校の方が、通学もまだしやすいのではないかと思う。香寺中学校の方が、人数も多く経験できることも多くなると思う。
豊富と統合しても再度同じ問題が起こる為。豊富中への通学とのイメージが香寺中に比べて車が多いところを通るように感じる為、豊富までの距離が香寺より長い気がする。
利便性。
通学距離。
まわりの環境が近いから。
香寺中も船津中も小学1年で出発点が同じなので。
豊富小中学校より、香寺中学の方が近いから。
通学の距離及び安全性、下校時、習いごと、文具の購入等でも利便性が高い。

子どもたちの登下校の安全面を考えると、絶対に通学バスは必要になると思う。通学だけで重い教科書とかをもっていき疲れてしまうと思うので少しでも近い方が良いのかと思い②にした。
豊富と統合すると、小中学校でコミュニティが形成されており、そこに入って行くにはアレルギーがある。一方、香寺中学校なら各校区の小中学校から集まってくるのでアレルギーは少ないと思われる。
香寺中学校の方が近い。
香寺中学校も少数になってくると知り合いの親御さんより聞いている。
通学がしやすい。
距離が近いので。
豊富はすでに義務教育学校のため、人数が多くなりすぎるのでは？2の回答の香寺中学校も考えられませんが。地域とのつながりが無くなることになると思います。
豊富小中学校は通学路が危険、(歩道なし、登校時間帯に通勤のためとばす車が多い) 香寺へ向かう道の方がまだ整備されているところが多い。
どちらも遠方すぎて小学生はかなりの負担だが、香寺の方が道が整備されているから。
後期課程に入学するより、どの小学校からも進学してきて、その中学校に入学するという方法が良いのでは？と思いました。
豊富小中学校が将来的に神南より人数が減少する予測であれば、答えは香寺としか選べないのではないかと思います。ただ、香寺中の老朽化は気になります。統合と同じに新しい校舎になる。リニューアルするなどがあれば統合したメリットや新スタート感が出ると思いますが。
学生数が多い。社会人、学生らの通勤、通学の人の波があり、それと合致しており好ましいのでは。
豊富校区も児童・生徒数が減少しているため、統合を一気に進める方が良いと思う。
学校周辺の交通量が少なく安全。
通学路がわかりやすいかも？
通学路が安心。
香寺の方が行きやすいと思いますが、中野の信号から橋までの(東西)道が危ないと思われます。もし、香寺の方になるのであれば、何か対策をお願いしたいと思います。
小中一貫でカリキュラムを組まれた中に後期から入学するとスムーズに進まないのではないかと危惧する。香寺中学校なら全て条件が同じスタートになる。
通学に便利。
通学路が豊富より安全だから。普段の生活から香寺の方が生活圏内だから。
豊富なら前期課程から後期課程への交流に差があるように思う。香寺の方が通学路がスムーズに感じる。
人数。
イメージ、ただ、312号線が交通量が多いので心配。
近くに香寺高校もあり、通学時間もかからないかなと思ったので。
距離的に豊富より香寺に近い上、通学道中の道の舗装や安全面(明るさ等)において香寺の方が良いと思う。また、数年後に豊富側は人口が減るのであれば同じような協議が行われかねないので、メリットが少ないと思う。
船津、山田校区共に香寺中学校の方が近いから。
通学路の幅が広く安全な様に思える。
利便性のため。
通学手段としては自転車か？豊富までの細道が大丈夫？香寺にしても橋や交通量の多い国道を超える。
近いし人数が多い。
豊富小中学校より生徒数が多くある程度の規模が当面維持できる。また、距離的に近い。
行きやすい。
町から近い。
なれた道でいいと思う。
将来、より遠方の学校への統合の可能性が少ない。
豊富小中学校は絶対だめ、通学路がない。豊富へどうして行けと言われるのですか。
豊富は距離が遠く、球場前、墓地周辺は通学に不安(外灯も少ない)。香寺の方が通いやすい。
豊富も減少傾向のため、消滅する可能性がある。
我が家から香寺まで2.7km、豊富小中学校まで4km、誰が見ても明白の理である。
香寺中の方が近いから。
登校距離が短いから(近いから)。
近い
町内北部(上野～八幡・宮脇・御立・大澤)は、いずれ子どもたちが(現)に大人が香呂駅か溝口駅を利用している現状から。香寺中の校舎が古いということを知ったことがあるが、香寺中も建て替えの時期だから、船津・山田・香寺が合併の条件として強く要望すべきと思う。
将来人数が逆転する点と小中学校システムは受け入れ難い。
現在いる所からすると香寺中学校の方が豊富中学校より近い。但し、香寺中学校へは交通量が多い為、安全面に不安がある。

将来（高校生）、J R利用をする生徒が多いので、一つ先を考えたら、香寺の方が良いと思う。
豊富だと将来的に同じ問題に直面すると思う。
豊富小中学校は、現在生徒数が多いが、数年後には生徒数の減少がおり、また統合の話が出てくる可能性があり、香寺中学校は安定して生徒数がおり、安心して通学させることができると思う。
香寺中の方が行きやすい。
人数が多い方がよい。
生徒数が多い為、専門性の高い教員が配属されると思う。
生活圏を考える。
市役所（行政）図書館、医療機関etc、の利用、活用に便利。
香寺に行くまでの道が広く、もし送って行かないといけなくても車で行きやすい。
豊富小中学校だと通学が遠くなり、生徒数も逆転するため。
豊富小中学校も今後生徒が減少していくと思われるため。
まだ、香寺中の方が近いからです。
香寺がまだ近い。
距離が近い。
豊富より近く感じるから。
船津校区からまだ近い。
香寺中の方がまだ人通りが多いし、歩道があり通学するには、安全だと思う。
香寺も人数が減ってきており、小中一貫の豊富よりは合併しやすいんじゃないかと思ったので。
学習面での差が少なくなると思う。
高校へ通うときに播但線に乗るから、顔見知りが多い方がよい。
困りが広いと思う。
長い将来を考えた時、豊富中とでは不安定である。
自宅からの距離が近い。
豊富は小中一貫だから。
香寺中学校の方が生徒が多いと思うので。
豊富に合流していくのは疎外感のようなものもありやや不公平でしょう。高校になると、多くの生徒が播但線を使うでしょうし、香寺町に早くからなじんでおくのも悪くはないと思います。香寺はまだ過疎化を踏みとどまるのではないのでしょうか。豊富は厳しい気がします。
通学距離が長くなると子どもの負担が大きくなるので近くの方がよい。
香寺の方が豊富と比べると地元の方が多いうように思ったので。
豊富より香寺の方が道が良い。
少し近いから。
どちらが近いか！選択する理由はあまりない。豊富もサブービアの世代がおわれれば減少することは避けられないので、人口増の可能性のある香寺の方が良いのではと考えます。
全員同じスタート（入学）のほうがなじみやすく感じる。

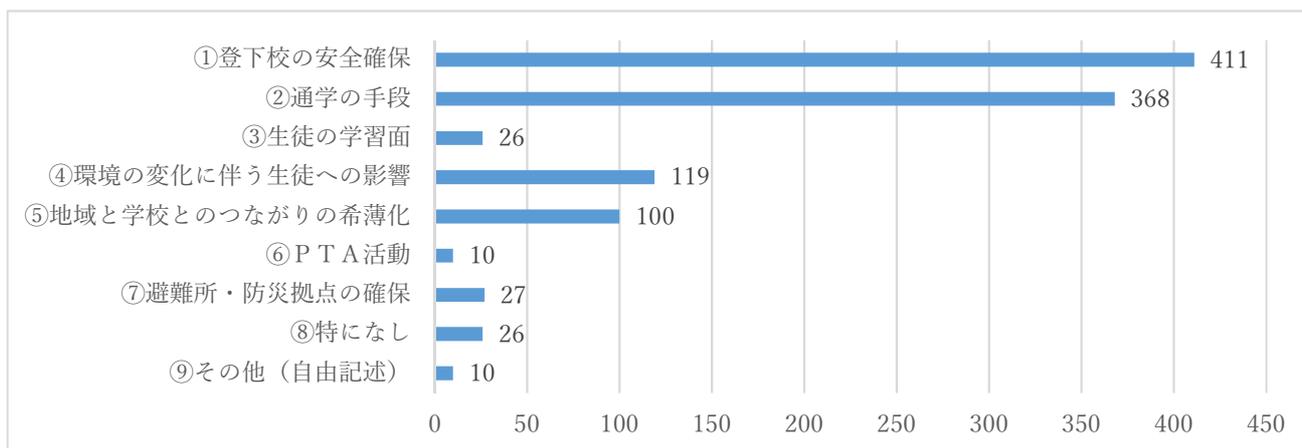
#### 無記入の方の意見

統合には反対、無回答。（強いて表すなら義務教育学校）
どちらも、距離、交通状況として通学できる範囲ではないと思います。高校生が自転車で船津インター下を通り 81 号線を走行中、危険だと感じる場面に出くわします。事故が起きてからでは遅いので、通学面での不安からどちらが良いかを選ぶことは出来ません。
どちらも良いと思わない。
統合は希望しない。
仮にと言って返事をしてしまうとこの協議会設置の際みたいに拡大解釈で話を進められる可能性があるため答えたくない。現在の神南中を残していく方法のみ考えてほしい。浜手地域の大規模校が生まれる原因が土地開発、市の政策。持続可能な姫路市全体の発展を考えて頂きたいし住民が考えていかなければいけないと思う。
統合に反対です。豊富中や香寺中だと遠くなるため、登下校の安心、安全の確保のリスクが高まってしまいうため。交通事故が何よりも心配です。
最初は生徒数が多いかと思うかもしれないが近い将来また生徒数が減って考えなければ行けなくなるのが目に見えている。
どちらでもよい。但し、安全な登下校の手段が確保される方が望ましい。
問 1 で統合しないを選んでいたので問 3 は回答できない、仮にであっても統合ありきで進んでいるのか？
仮にはありません。従って豊富も香寺も考えられません。
どちらでもない。隣接中学校との統合は考えられない
今後は義務教育学校の方がメリットが大きい。
時期尚早の為問 3 は回答できない。

豊富や香寺に統合だと広範囲になり通学の際の安全面が確保できなくなるなど地域の治安も不安視されているなどがあるため、いずれは人口減少にともない統合も考えないといけないと思う。
登下校の安全が心配。
豊富中学校の方が若干近いし学生の数も少ないように思うから。
上記、学校のことをよく知らないので回答？控えさせていただきます。
そもそも考えられない。特に豊富においては、人数が逆転することなのに、豊富が移転してくるという考えが「時間的余裕がない」？とは意味が分からない。やはり市の都合が優先されているように感じる。
隣接中学校との統合は望みません。
考えられない。統合ありきでの検討はしないで欲しい。もっと考えて欲しい。
心構えとして「神南」の名がなくなるのが残念、他校との統合した場合の通学手段と安全面。
どちらも選べない。両方とも人数が多すぎて神南校区生徒の良さが吸収されてしまいそうだから。
1人でも多い方が、友として心強いのではないかと考える。
小・中学校の校舎がよいこと、そして地域の環境がよいこと、地域の特徴として、自然を取り入れた教育ができる。北の地域にも手厚い教育環境を作って欲しいから。
統合のことはどちらも良い所と悪い所があると思うので、今の段階では選べないのが正直な気持ちです。
調整区域を外し、住宅を建てられるように。人口が増えない限り統合しても一緒。
山田、船津のことは何かと知っていることが沢山ありますから。
私は以前豊富小中学校で勤務していました。前期課程から後期課程へ進級して成長していく姿を見えています。体育大会でも9年生が1年生を手助けして大変良かったです。
どちらも良いと思いません。交通の便、中学校からの統合等、いろいろ不安がある。
神南中学校の隣接中学校との統合はない。もともと広い校区である船津と山田の地区にある唯一の中学校であるのに、隣接校区へ神南中学校の生徒が通わなくてはならなくなるのは、通学時間が増し、交通事故のリスクを増し、通学の負担が大きくなり学業への負担が増す。生徒数減少のデメリットとしてあげられる理由の1つに部活動の項目もあるが、今現在の豊富、香寺中学校においても運動部は合同チームを編成しており、神南中学校が学年1クラスになる令和17年では、他校においても同様に生徒数は右肩下がりになるので、統合しても合同チームとなっていることに変わりない。統合の理由として挙げられることが、統合しても解消されることはなく、何ら統合を進める理由にならない。
通学が大変。(安全面)
他の校区まで通学するのは危ないと思う。
遠い所に通学させることは可哀そう。船山地区で9年間、近くですごして欲しい、小中9年間だと絆が生まれやすいので良い。

問5 仮に統合や義務教育学校とする場合、心配に思うことや不安に思うことは何ですか。

項目 (2つまで選択可能)	船津地区 (445人)	山田地区 (309人)	無記入 (18人)	全体 (772人)
① 登下校の安全確保	248	163	0	411
② 通学の手段	208	160	0	368
③ 生徒の学習面	16	10	0	26
④ 環境の変化に伴う生徒への影響	76	43	0	119
⑤ 地域と学校とのつながりの希薄化	56	44	0	100
⑥ P T A活動	8	2	0	10
⑦ 避難所・防災拠点の確保	15	12	0	27
⑧ 特になし	14	12	0	26
⑨ その他(自由記述)	8	2	0	10



### ⑨ その他(自由記述) を選択した方の記述内容

子ども同士のつながりを持つことで、将来へつながっていく。この関係性が希薄になるのではないか。
廃校になった地域の衰退、過疎の進行。学校から遠い地域に住みつく人はまれ。
距離が遠くなることで、通学時間がかかり、部活動等により朝が早かったり、帰宅時間が遅くなり心配。
現在の小学校、クラスでおだやかに学校生活を行っているが、他地域の風習にのまれ生活が荒れる恐れ。姫路市の方針・考え方に不安と不信をもつようになった。
子ども達と、地域の関係性はもちろんのこと、学校がなくなってしまう地域のことをもっと真剣に考えて欲しい。学校の無い地域に、将来の子どもや孫世代が船津に住もうと思わなくなる。ますます人口減少が進む一因を作ってしまうことになる。この問題は、学校に通う子どもがいる家庭だけの問題ではなく、船津、山田全体の問題であると思う。両連合自治会はそういったビジョンを持って結論を出して欲しい。また、このような平地で、かつ生活圏に便利な交通も整った地域の学校がなくなりそうなど、市の政策の間違いが浮き出ているようなもの。片一方では学校が足りない。クラスが足りないなどのような地域もあり、非常に偏り過ぎる市政を行っていると感じる。教育委員会ではなく、都市計画課などが説明に出てくるべき。とにかく「統合せず、現状のまま」人口が増える、子どもが増えるという取組を各自治会が行うことを望みます。
温暖化に伴い、異常気象の影響で突発的な警報が出た時の対処方法。
船津の地域の住民が地域の子どものための教育のため、土地や村のお金、寄付などで設立した船津小学校を地域からうばう義務教育学校は、地区の意向をふみにじり、核である小学校を現在の場所からうばい、子どもたちの通学距離や負担を増やし最悪である。
中学校の統合は問題ないが小学校が山田町になくなるのが問題で人口減が加速し、若い夫婦が子どものために山田町に戻って来なくなる。統合後数年で小学校が無くなりますが一番の心配。
校区の児童生徒数がいくら減少していくとはいえ、「船津小」「山田小」「神南中」が統合した場合、校舎(教室数)が不足しないのか疑問。実験室や実習室が重なって使用できない時が出てくるのではないか。

### ①～⑧を選択した方のうち自由記述にも記入した方の記述内容

歩道がない所がほとんどであり大いに危険。
1) ～9) の理由は小さな事項。もっと大局的に。
登下校が不安。共働きなので付添いが出来ない。他校区と統合するならスクールバスが必要だと思う
1) 安全確保については、登下校時の溝口信号(312号線)と広瀬(312号線)のボランティア立ち番や山田の東の方や船津の大澤方面のスクールバスの運行。
一方に合併ではなく新しいものを作るという方向性があれば。
PTAは古い体制で持ち回りで保護者負担で共働き家庭では無理である。教師がもっと働くべきである。
いじめや大人の犯罪に巻き込まれないか。
過疎対策に力をいれろ!
義務教育学校を希望するが小学低学年の通学手段を体力と安全面で考慮して欲しい。
こちらも前提が「仮に」ということなので。統合は中学校がなくなり、義務教育学校は小学校がなくなることからの懸念である。廃校になった後の利用計画も示してもらいたい。
自動車の交通量の多い道路が通学路に含まれるのではないかと心配です。
新入学生だけでなく、在校生もまとめて統合という話でしたが、その場合制服等の費用は助成されるのだろうか。
水害にともない、川の氾濫によって帰れなくなるのも不安に。
スクールバスの運行をし、保護者の負担を少なくする。
スクールバスを運行してほしい。神崎郡(神河町)のように小学校の間だけでも・・・中学校になれば自転車通学でもよいと思う。
全ての項目について不安と思う。

生徒が異動するのでなく、教員が異動する方が心配ない。必要都度、他校に出向く。
その時が来たら考えます。色々心配ごとは多くあるが仮の話であっても答えたくない。
地域から学校が消えると地域の衰退が加速しさらなる人口減少に向かうことが心配です。神南校区は市から見捨てられているのではないかと不安です。
通学手段はバス通学とする。過疎地域では一般になっているため。
通学するのに距離が遠くなるのでスクールバスなどが必要になるのではないかと思います。
通学に関しては姫路市としてコミュニティバスなどを充実させてほしいです。
通学路の安全面確保が確実に実施していただきたい。
登下校において、地域のボランティアの方が助けてくださっていることを考えると、校区が今の範囲なのがよいのではないかと。
登下校の安全確保、以前は姫路市ではなかったもので、学校同士のつながり、行政面のつながりが薄い。
統合となった場合、少人数出身の生徒がイジメ等の辛い目に合わないよう、教育者はより注意していただきたい。
統合となれば子どもにとって上記の選択肢は全て心配に思う。また将来的な各町の存続（人がいなくなる）にも関わってくると思う。義務教育学校であれば何も心配はない。
統合にあたっては、当面の間、生徒へのケアを行うため、教員などの加配が必要である。通学路（自転車）につき安全設備の整備が必要である。
遠いので心配。
豊富小中学校に統合は考えられない。船津小→香寺中の方がまだ良い。
豊富中が義務教育学校なので神南中も義務教育学校後、統合を考えないと思う。
バス送迎、事故の心配。
ハラスメントに対して、いじめにあうとどうするのか心配。
日暮れが早い季節は特に心配です。民家が途切れていたり、外灯がない所もあるので、何か対策が必要だと思います。山田からは遠いのでスクールバスのようなものも考えなくてはならないのかも。
不安はたくさんあります。
保護者同士のトラブルも不安に思います。
隣接中学校への統合よりは小中一貫の義務教育学校の方がいいと思います。
現在、神南中学校では登下校の危険防止の観点から、自転車通学を一定の基準をもって厳格に制限している。これまで、自転車通学の要望も多数あったが、安全性を理由に頑なに拒否してきた。しかし、他の学校と統合することになると大多数の生徒が自転車通学となる。これは、神南中学校の危険防止の観点からは逆行する行為となる。大多数の生徒が自転車通学となり、中学校側も危険を高めることを明白に認識しながら、統合する判断をするのか疑問である。豊富、香寺のいずれにしても、自転車通学の距離が6kmを超える場所が多数存在し、小学校6年生卒業後すぐの児童にとっては過大な負担となる。Googlemapで距離と所要時間を算出しているが、現実を無視した算出であり、全く参考にならない。現に中学1年生の児童に毎日自転車で通学できるものか実際に体感させ、その感想を聞くべきである。実際に体感していない教育委員会や協議会委員が、その大変さを理解し議論できるはずはない。結局、親が毎日車で送り迎えするのが現実である。もっと想像力を働かせて議論すべきである。
山田、船津、豊富の中間点(中心点)はどこか?豊富中学では問題ありすぎ。
統合になると、小学1年生からの登下校の安全が気になります。学校が遠くなるというのは、心配のたねです。

**【その他、何かご意見があれば自由にご記入ください。(自由記述)】**

もう数年現状とし、数年後にもう一度協議会で検討して下さい。
学校が山田町からなくなると、町が衰退していくので、香寺に行くにしても、豊富に行くにしても不安に思う。交通面でバスが出るなどして安心できるようになれば、山田町に住むと不便だという考えは減るようになると思う。今後も統合が続くようであれば、それまでは、個人がどちらかの学校を選べるようにしても良いのではないかと。(バス必要)
スクールバスを導入していただき、地域住民も利用できるようなものにしてもらいたい。(例)ふくひめ号のようなものを巡回させて子どもも老人も乗り合わせ出来るものを希望したい。
行政にとって教育は重大である。(将来のために)
少子化になっていく根本原因にもご配慮ください。地域の活性化、住みやすい街づくりに(農業の後継者不足など)長い目で見て20年50年先の姫路市を考えていただきたい。
統合となると新設中学校をどこかに建設するのか?
安全防災面をしっかりと考えて判断して欲しい。人数だけで判断するのではなく、子どもの地域の安全確保が大切です。最悪でも義務教育学校がいい。災害発生時学校は避難所になる。市の職員だけでは人手が足りず学校の職員の力を借りて運営されている。市の職員だけで運営が可能なのかが疑問。通学距離が遠くなると子どもの課外活動が希薄になってしまう。

<p>今後の方向性というのは具体的に何年以内を指しているのでしょうか。山田・船津両生徒数は分かりましたが、統合先の生徒数も減少しており、単独での存続が厳しいと見込まれるので、この話が浮上したのでしょうか。山田・船津地区に学校を設けないということは、今後、山田地区船津地区に人の流入が見込めず益々流出の一途につながるのではないのでしょうか。住居を考えるにあたり学校から近いかどうかは重要であり、子ども世代もいずれこの地を離れることになると思う。人数だけの視点で見ると今、どんどん創られてる9年一貫校が良いとされるのはわかります。ただ、人数のことだけを前面に出し利点、欠点もわからぬまま人の数を1つに集めましょうというのは納得できません。大切な子どもの未来なので慎重に通学面、学習環境を考えて頂きたい。</p>
<p>今、本当にここまで統合を急ぐ必要があるのか、なぜこんなに短期間で決まってしまうのか疑問に思う。統合するというのに通学に関しては特に配慮などがあるようには感じられず。統合が決まったとして、統合する時の中学3年生の受験への影響が一番心配。出来るだけ生徒たちへの負担が無いようにしてあげて欲しい。生徒数が少ないことはデメリットばかりではない。先生の確保など問題はあると思うが非常勤や他校との掛け持ちなど、大人が変わるところから始めてほしい。</p>
<p>隣接する中学校と統合とありますが山田小学校が40名くらいで成り立つのでしょうか？</p>
<p>統合する、しないの問題だけでなく神南校区に対する今後の方針はないのか。少なくなったら統合するのではなく増やす考えや案はないのか、教育委員会だけの問題ではない。</p>
<p>船津町は姫路市ですが姫路駅近隣のエリアに比べてすべてにおいてそのエリアの方々と同じサービスを受けることができないと感じています。田舎だからこそ学校も残しそのエリアできちんと学習できる環境を整えて頂きたいです。こちらのアンケートのすべての回答の開示を求めます。</p>
<p>義務教育の小中学校は地域の重要なインフラの1つ。インフラが欠如すると人は住まなくなる。現在の船津小、山田小、神南中というインフラの維持はゆずれない。</p>
<p>質疑応答であったように調整区域なのだから人口（生徒数）が減るのは当然。そこをどのようにして増やしていくか行政で検討することも必要だと思います。将来的に神南と豊富な生徒数が逆転するのであれば神南が豊富を吸収する案の検討も必要ではないかと思ます。</p>
<p>移住者支援制度の対象からはずれている船津から学校をなくさないで。</p>
<p>自分の子が環境に左右されやすいので、私は慣れた環境で学べる義務教育学校を希望しています。他校と統合するのは子どもたちの心への影響が心配です。神南校区特有の素直さ、礼儀正しさを大切にしてもらいたいです。</p>
<p>仮に統合するとしても、在學生はそのまま神南中学校に通える方が良いのではないかと思います。受験や進路のことを新しい先生と相談等が上手くできるか心配。</p>
<p>今の時点で神南校区の人口の過疎化なのが別の中学校と統合すると今よりも地元の神南校区に住もうと思う人が少なくなり、将来の自治会など次の世代に引き継げる人が少ないと何歳になってもひとりひとりの負担が大きい。また、若い世代の人が結婚して子どもがいて地元で家族で住んでくれている、同世代の人数が少ないとその負担が大きい。また田んぼの多い地域でするので人が少ないと休耕田が多くなるのも心配です。もし自分の子どもたち世代が地元に残って生活してくれた時にしんどい思いをしてほしくないです。</p>
<p>人のいる所の学校を大きくし人が少ない所は統合する。ではなく、どこでも生活ができ学校があり、姫路全体が豊かになっていけたらと考えます。</p>
<p>義務教育学校になった場合八幡方面の小学校1年生の子にとっては通学距離が長い。</p>
<p>人口（生徒）減少をくい止める為には、市街化調整区域等H28年度より始まった「特別指定区域制度」などを周知し、制度を最大限利用し町民の少しでも多くの方が人口減少について話し合う機会を設けるべきです。現状においては、地域への出戻りの人口確保は難しく、シンプルに地域全体の質向上に重きを置くべきではないのでしょうか。どうすれば船津校区に人が戻ってくるか、また新しい住民を受け入れられる体制が整っているか。私たち住民がまずすべきことは船津地域の活性化です。その問題を放置しては、人口減少の根本的な解決はあり得ません。</p>
<p>神南中学校で義務教育学校にするのも賛成です。中学生が小学生の面倒をみてあげて小学生が中学生を慕い敬うことも大切だと思います。人間関係を学ぶという意味においても勉強になると思います。最後になりますが、関係者の皆様のご苦勞もさぞかし大変だと思われそうですが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>同じことを豊富でも実施したらどうですか（説明会等）豊富が動いてくれるのであれば市教委としても問題ないと思いますが子どもの人生にかかわることです。出来る限りのことは全てやってください。船津、山田に全てを押し付けないでください。</p>
<p>まずは、人口の減少（過疎化）の防止対策を行うことが第一では？市街化調整区域、農業振興地域制度を撤廃することで、人口の流出防止、転入者の増加も考えられるのではと思います。</p>
<p>学校が統合されることにより、卒業した学校がなくなる人もいるかもしれない。それが嫌だと思いう人もいられるでしょう。しかし今、考えているのは、未来の子どもたちのことです。過去の人間の考えで明るい未来などが閉ざされるような考え方だけはやめた方が良いと思います。卒業した学校がなくなるより、これからの子どもたちに何が一番いいかを考えるべき。そこを間違えると良い方向に向かわない。将来大きな社会に出て行ってもやっていけるスキルは大きな団体で養われる面も多くあると思う。そのチャンスを奪ってはいけない。</p>

隣接中学と統合した場合の通学手段が自転車と聞いています。本当に子どもたちのことを考えるならその距離やルートを確認してもらったらわかると思います。統合するならスクールバスは不可欠だと思います。
子どもの減少が原因ではありますが、やっぱり船津に住みたい、山田に住みたいと思う町作りを考えてもらいたい。病院もスーパーもない状態であれば若者が出ていくのは当たり前。
義務教育学校の方が子どもにとって地域一体化で安心感がある。
やはり長い距離を通うのは勉強に対して集中心が失われるかもしれない。少なくとも船津、山田地区に学校を残してほしい。最悪統合する時は船津小学校を義務教育学校として活用してほしいと思います。どの地域からも距離が近いと思います。それと船津、山田の人口を増やす組織を作って何とか減少をくい止める活動をしなければ。空き家の調査とか調整区域の返上とか何もしないで町が消滅するのは耐えられない。子どもたちに故郷を残してあげたい。
結局、教員の人数面、財政面の問題のような気がしてならない。人数面は ICT の活用やクラス担任制の再検討により、財政面は古い校舎の方をなくすべきで、他に支出を見直すべきである。市はもっと教育にお金をかけるべき。施設分離型の義務教育をした場合、四郷学院は徒歩3分と説明有ったが現状の船津 OR 山田小学校を利用した施設分離型をとった場合徒歩15分くらいかかるがこの10分程度の差に大きな意味は無いと思われるのでこの形をとるにあたり支障はないのではないかと。今までの協議会で話し合った具体的な発言・意見内容が一切見えてこない。本当に真剣に議論しているのかわからない。本当に子ども達・保護者のことを具体的に第一に考えているのかわからない。多人数教育と少人数教育の抽象的なメリット・デメリットを議論しても表裏の議論であり無意味である。もっと具体的に、このままでは神南校区の子ども達が具体的に不利益になることが確実な要因を明らかにした上で、その不利益をあらゆる手段を検討してもなお回避することが極めて困難であり、現在のメリットよりもデメリットが上回るため、そのデメリットを回避するために統合を検討する、という議論の筋道を具体的に検討し、開示して欲しい。また、協議会は、教育委員会の提案や意見に受け身になっていないのか。協議会自ら、議論を推進し、既存の校舎を本当に存続させることができないのかを種々検討し、教育委員会に積極的に提案・要望するべきである。また、そのためには今後10年程度をかけて、どの様な方策が取れるかを勉強し、随時検討していくべきである。自治会の積極的な役割に期待する。
統合するなら小学校までで良いのではと思います。子どもの数も減る傾向ですが神南中学校で少ないなりの教育を工夫してはと思います。
登下校としては、シルバー人材の活用としてスクールバスの運行も考えると良いと思う。
吸収ありきではなく、人口を増やす施策を行うべき→明石市など子育てに重点を置いたら。教育環境は児童生徒の移動でなく、教員がつど移動するなど、どうすれば生徒が移動しなくても良い方法を考えるべき。
地域間バランスが変動する（地域に中学校がなくなれば過疎化にもつながる）。予算の面はどうなるのか（中学校）。船津・山田地区の統合によるメリットはなにか理解できない。（豊富小中学校・香寺中学校）
1. アンケート結果は公表して欲しい。このアンケートの質問の内容と量では回答者の理想と現実的解決に対する考え方が導き出せない。アリバイ作りで終わる。2. 神南中学校区学校地域協議会とは・条例で決定しているのか？・構成委員はどのように決められ誰の承認を得たのか？（これから中学校で学ぶ人の意見が一番大切だと考える）3. アンケートの取り方は・1家1枚でいいのか、なぜそう決めたか？（これから中学校で学ぶ人の意見が一番大切では。子どもにも当事者となり考える議論することが成長になる。）
1. 放置すれば①どの時期に②子・学校・地域に対し③どんな問題が生じるのかを明示して欲しい。課題の明確化無しに（タイムライン含め）判断できない2. 小学校を放置しておいても良い理由が不明。こちらの方が急ぐのでは？対策が出来ているのか？3. ノスタルジーは無視して良い。具体的な課題に対してアクション案を決めて提示して欲しい。
人数によって先生の人数がどうなるのか具体的な説明が欲しい。
地域・父兄・学校現場が納得できる論議にしてほしい。
もっと話し合う機会を増やして頂いてより良い方向を見出してもらいたい。
吸収でなく統合の場合は新しい名前や学校が望ましい。吸収される側の気持ちを考えて欲しい。
3地区の統合も視野に入れてもいいと思う。
神南校区だけが減少していない。他の校区でも減少している、谷内とか。なぜ神南校区なのか、神南校区で船津、山田が良い。
R17から1クラスになり、教員数（9教科）の先生を確保できるのか？市の取組みとして人口を増やす努力は出来ないのか？周りの学校と交えて協議会の設置は出来ないのか？
統合に反対します。
小学低学年が統合及び義務教育学校に通学する場合、必ず付添いが必要と考えますが、いつまでも高齢者に頼ることも出来ないと思います。学習面よりも通学の問題があると考えます。以上を考えて結果的に思うのは少数になっても山田、船津（神南）で残るのが良いのではと思います。
前述したように「児童生徒にとってより望ましい教育環境」とは何か分からない。今後の児童生徒数の減少を前面に押し出して、統合や義務教育学校の話が進んでいるが、委員会が進めようとする本当の理由は、別（例えば予算削減）にあるのではと勘ぐってしまう。10年先に豊富中学校と神南中学校の生徒数が逆転するというのに、何故「今」に拘るのか。児童生徒数だけが基準なら、10年先は豊富から神南に通うことになるが。学校が無くなれば益々人口減少が進み、同時に生徒数が減少することは明らかである。説明会でまちづくりの話が出たときの回答が、農振農用地が多い神南校区では説明としては逆効果の「特別指定区

<p>域」であったが市としてこの神南校区をどのようなまちにしようとしているのか。学校をなくしてさらに人口を減らしたいのか、あるいは何も考えていないのか。学校の統廃合にしる、まちづくりにしる、まずは建設的な協議の場を持つことはできないのか。その協議の場で決まれば住民も受け入れ易くなるが例えば「行先校の校名、校歌、校章は変えない」前提での今の協議会（＝委員会主導か）では、住民の理解を得ることは困難と思われる。決して存続のみに拘るつもりはないが、1つの学校がなくなることは、住民にとって非常に大変なことである。それだけに幅広く丁寧な説明を事務局に求める。</p>
<p>統合や義務教育学校にするのは姫路市の方針なのか？地域に学校がなくなることは人口減少に拍車をかけ、限界集落になってしまうことになる。生徒数が減少しても現状のままが良いと思う。なぜ統合が必要なのか？回答して欲しい。</p>
<p>今、保育園や小学校に通わせている保護者の意見を一番に重視してもらえると嬉しいです。</p>
<p>神南中学校が続出来れば一番ですが生徒数、学校での活動、色々な面である程度的人数が公立学校としても必要なのでしかたないと思います。神南校区内のこれからの為にも子どものためになる統合になるようにお願いします。</p>
<p>市教育委員会や大人の考えばかりでなく当人（学生）の意見を聞くことも大切ではないか。</p>
<p>仮に神南中学校がなくなった後、次は山田小学校が無くなり、新たに人が来なくなり戻ってくる人もなくなり、将来が無くなってしまう。</p>
<p>説明会には参加したが姫路市教育委員会の考え方、方向性がわからない。</p>
<p>説明会における教育委員会の説明が不十分に感じた。神南中学校の廃止はありきでその先は地域で責任を持つというスタンスがはっきり見て取れるし、もう少し丁寧な説明が必要だと思う。近い将来神南の生徒と豊富な生徒が数で逆転するのに豊富小中学校は関係ないと言えるのか非常に疑問。小学校の問題も今は棚上げになっているようだがいずれは検討されていくのではないかと考えると、小学校の将来も含めて教育環境をどう整えていくかを考えていくべきだと思う。その意味でも市の考え方を含めてもっと丁寧に説明すべきと思う。</p>
<p>本当に「義務教育学校」という選択肢があるのであればまずは取り組んでいただきたい。</p>
<p>出来れば船津、山田の統合で済めばと思っています。</p>
<p>中学校の統合もだが小学校の統合も考える必要はないのか？少人数だから得られる経験もたくさんあることも考慮の上でどのようなことがベストなのかを協議していただきたい。よろしく願いいたします。</p>
<p>神南の子たちは人数のわりに姫路西や東に通う子が多いと思います。落ち着いて勉強できる環境にあるのにこのアンケートは統合ありきで答えたくないなど感じました。市の都合で田舎が不利になるだけです。多人数の教育が良いとはそれほど思えません。少人数で目の届きやすい教育が必要だと思います。</p>
<p>特色ある山田小教育を今後とも充実させていただきたい。</p>
<p>地域と学校とのつながり希薄化は避けなければならないと思う。</p>
<p>もっと地元に住みやすくする。例えば田んぼや土地があるのに宅地にするのが難しい、だから若い者が地元の家を建てられないので子どもや人口そのものが減っている。</p>
<p>船津、山田→神南中学一貫教育が望ましい。</p>
<p>おそらく経済的なことで統廃合されるのであれば正直にその理由を述べてください、オブラートに包んでの計画案は絶対反対します。</p>
<p>統合しない方が良いが統合するなら義務教育学校が良い</p>
<p>統合することによってデメリットしかない。少ないからこそいいことの方が多い。山田の地域の方々との行事などが無くなるのはどうなのかと。</p>
<p>小さな学校運営を検討いただき地域性を確保いただけたらと考えます。</p>
<p>子どもに愛情、お金をかけるのが当然。方法と無駄考えるべし。</p>
<p>自転車通学はやむをえない。山田から豊富中学へは県道を通るのでつかい霊園が有って夜間など問題がある。</p>
<p>小規模なら学習面では有利だと思うが対人面で触れる人の数の少なさに今後（将来的な）の不安がある。部活動等は、外部委託が増えてきているのでそういったものも考慮してみてもよいと思う。</p>
<p>早く統合して学校のトップ、準トップを削減して姫路市の経費削減、よろしく願いします。</p>
<p>結婚して地元へ帰って住んだら何か特典があるとか、土地があってもすぐに家を建てられないと聞いたことがありますその決まりをなくすとか。地元から離れてしまっている若い世帯に戻って来られるよう働きかけて欲しいです。</p>
<p>私たちは実際これから学校に通う子どものいない世帯ですので意見を記入しましたが今から子どもさんを学校に通わず世帯、現在学校に行っている世帯の方を中心に決定されるのが良いかと思います。市街化調整区域の為に家を建てたくても建てるのが難しい人がいると聞きました。山田、船津地区の人口増やすためにもそのあたりはなんとかならないのでしょうか。</p>
<p>1.出来るだけ早く方向を出して地域住民、生徒に安心感を与えること 2.何事も決断が必要。（状況は迫っている）</p>
<p>豊富と統合するならばスクールバスなど検討して欲しい。1校無くなるのであればその分の費用は出せるはず。船津、山田からはかなり遠く朝・晩など交通量の多い所を通学させるのはかなり不安がある。</p>
<p>「神南中学校の今後について」はどこから出てきた話なのかよくわからない。神南中学校を廃止して先生を減らす等が明確ならそれを主として説明する等明確でない。</p>

<p>引き続き早め早めの対応願います。やはりこの地域には（市街地より北東にあり他市町と接している）核となる小・中学校があることにより地域の過疎化の歯止めが大いに貢献しているものと考えます。淋しい話ですが今後船山出張所、JA 船山支店 etc…是非とも地元以小・中学校を残す…&lt;最後に場所としては現在の神南中学校に神南小中学校の建設！&gt;多くは既存の建物では？</p>
<p>明石市のように子どもが増えることがあった場合に、取り返しのつかない選択をしないようにしてもらいたい。</p>
<p>教育委員の人は中学校をなくすのが目的で他のことはどうでもいいように思える。費用を減らすためにしかたがないがはっきりと経費を減らすためと言った方がいい。みんなそう思っている。</p>
<p>神南中学校が残って欲しい。</p>
<p>市の全額負担による通学バスの運行が前提での統合で有れば検討の余地はある。（市側の条件提示は一切無いと聞いている）</p>
<p>将来的に統合となる場合は各家庭（それぞれ）の都合により豊富小中学校・香寺中学校のどちらでも（どちらか各家庭の都合で）選べたら通学（送迎など、個々の事情）にかかる負担も（不安）少なくなるのでは???とも。</p>
<p>アンケートを取った以上、その結果は公開されるものと考えています。人口減の予想を覆すため、空き家バンクや、移住、転入者へのリフォームや住宅購入の補助など市の政策としてやって欲しい。地域の活性化のために住民が頑張らないといけないのは当然だが、それが本来の仕事である政治家、（市議や市長）が1人も説明会に姿を見せないのはおかしい。政治家が先頭に立って地域の活性化を目指すべきだ。</p>
<p>地域の独自性を活かし、学校を存続する必要が有り。絶対に統合しない。統合が地域の経済低下、人口減に拍車を掛ける。国策として真逆。</p>
<p>通学面で遠距離になるので、登下校に時間を要する為自分の時間が少なくなる。生徒の心理的・体力的な負担が大きい（なぜ神南中が無くならないといけないのかと思いますよね！！旧中学校校舎を見ながら他の中学校へ行かせるんですか？）教育に、もっと予算を投入すべきです。未来への投資です。</p>
<p>今回の説明会参加者から内容を聞いたが統合ありきで進めないこと。統合決定までには、シッカリとした地域との意見交換や説明会を行ってください。仮に統合となった場合でも通学の安全性の対策や整備も行ってください。</p>
<p>船津山田地区の人口増の政策を考えてほしい。</p>
<p>自然豊かな人間が人間らしく生活できるところでの学びは貴重なものであると考えます。アスファルトに囲まれたところでは学べないことも多くあると、また地域で高齢者から受け継ぐ学びもたくさんあります。学校は効率を考えるとところではないと思います。親が学び、子が学び、孫が学べる学校が存在するということが、地域の発展、姫路、播州の文化継承、発展につながると信じています。</p>
<p>統合して学校を減らすことよりも、船津校区へ人が移住できる。子育て世代が住みやすいように、行政にもお手伝いをして頂きたい。農業のための土地で、住居が建てづらいうのも理解している。農業もできる。空き家も借りやすい。もちろん家が建てられるようになることも含め、人が増え、地域が活性する方向に進んでほしい。各課の仕事で、大変だとは思いますが、姫路市の人口が少ない地域の元気になるモデルとして始めて頂きたい。他の地域にも希望がある。この地域の自然もたくさんある。緑の中で大人もゆっくり呼吸ができる。豊かさを残して頂きたい。十数年後、ここで育った子どもたちが戻ってきたいと思える未来を作って頂きたいです。</p>
<p>船津、山田在住の指導者により、部活の1つに力を入れ、他地域から人を呼び込む。例：陸上（駅伝）が強いとなったら留学してくるだろう。</p>
<p>船津の八幡在住です。下の子は女の子で、あまり体力もありません。神南中に通うのでも片道3キロ以上あります。豊富小中学校、香寺中学校どちらに統合になっても、毎日の長距離の自転車通学は難しいです。共働きの為、親が車で送迎も難しいです。説明会でも質問がありましたが、市街化調整区域なので急に子どもが増えないことはお分かりだと思います。統廃合を考える前にもっと根本的な改善策を考えて欲しいです。</p>
<p>安全確保のため、バスを無償で出していきたいです。</p>
<p>市としても、我が校以外にも該当する学校がある中、どのように進めるべきか市議会や都市計画課などとも連携取ってほしい。</p>
<p>通学距離及び通学時間が多くなるのは各家庭への負担が多くなり又リスクもあると思います。</p>
<p>スクールバス等の確保や自転車通学の緩和など、通学しやすくしてほしい。そして、保護者等の車を止められる場所も作って欲しい。誰でも住んでも良いというのは少し抵抗があるが、身内や親族が校区内や親の土地にすもうとしたり、家を建てようとしたりするのをもっとしやすくして、人口が増えるように考えてほしい。26年度に間に合わなくてもいいので。</p>
<p>神南中学校までは遠く、小学校低学年の体力では難しいと思います。スクールバスなど使えば、歩くという体力（足腰を使う）ということができず、体力低下が進む。例えば、各々の小学校までは歩いてそこからバスという手段も考えられるが、通学時間が今より早くなる可能性もあると思います。費用のこともありますし一番は子ども、保護者の方を優先でお願いしたいです。</p>
<p>各自、いろんな考えが有りまとまらないと思います。5年後に再度、協議会を再開するというのは反対です。この際、教育委員会の方で決めてもらいたいと思っています。</p>

<p>子どもは、大人が思っているより新しい環境に早く馴染めると思います。一番の問題は、通学の負担だと思います。既存の考えや目先の意見にとらわれず、大局をみて、存分に予算をとって、他地域から神南中学校へ行きたいと思われる様に役所の縦割り関係ではなく、姫路市として神南地区にどうすれば子どもを増やすことができるのか時間を大いに使い期限を設けることなく真摯に向き合っていただきたいと思います。</p>
<p>説明会でもでた話ですが、根本的に人口が減ることに対しての市政の政策はどうなっているのだろうか？今回は教育委員会からのアプローチとして話を聞いたが、それ以外の方向からの人口減に対する政策も説明すべき。小学校低学年以下の子どもを育てる世代へスポットを当ててアナウンスすべきでは？当然地域住民として当事者世代へ声掛けを行ったが、この1年間の統合会議自体を知らない。今回の説明会のアナウンスで初めて知ったという認識なので現実感がない。今回の説明会で早々に意見をまとめるのは早すぎる。調整区域に対する方針など市政全体の意見を言える人を交えてください。</p>
<p>通学の負担軽減を十分に考慮していただきたい。（シャトルバス等の検討を願います。）</p>
<p>子どもへのアンケートの実施予定または意見等もう聞いていたりしますか。仮に義務教育学校にする場合、先生の確保は必ず充実しますか。調整区域特有の問題についての規制緩和等を実施する予定はありますか。（生徒を増やす努力の方はどうでしょうか。）</p>
<p>問5について、1)と2)は2つで1つの問題だと思う。仮に統合となる場合、なお手段と安全確保の点において明確にしていきたい。大人の都合で大切な子どもの未来を左右しないでほしい。</p>
<p>どうしても統合しなければならないのであれば、船津小学校区に新校舎を建設してほしい。</p>
<p>姫路市立幼稚園12園と保育所4園の閉園方針が発表されていた。入園希望者の減少が理由となっている。小学校では、プールの老朽化や維持の経費削減のため、近くのスイミングスクールでの水泳の授業が始まった。どれも避けられない問題で、（そうするしかなくて）改善策として考え取り組んでいるのだろうと思うが、どれも「突然」知ってそうになっていっている印象があり、神南校区の問題もある日「突然」「決定」通知が来るのでは？とってしまう。今小さい子どもさん～中学生までがいらっしゃる方々には特に丁寧に詳細を「経過」を知らせてあげてください。未来の「大人」である小・中・高・大学生たちの声もぜひ聞いてほしいと思います。他市町村（近隣だと市川町とか）が統合してどうだったのか？（よかった点、悪かった点）という話も聞けたらいいなと思います。年配の方が多く「新しいこと」へもとても慎重になるのが船津の地域性と感じます。未来の子ども達にとって良い策がとれますように。</p>
<p>①説明会に参加しましたが、どうして中学校の校長先生とか教頭先生でもおられなかったのか？②小・中学校の先生の立場でどう考えられているのか聞きたい気がします。子どもの意見もきいて欲しいです。③少子化なのはすぐに改善はないと思いますが、学校がなくなると、ますます少子化、過疎化が進んでしまう。少子化だから統廃合という経済効率優先の考え方は絶対反対。教育的視点で、今の多様化した子どもを本当に一人一人大事にする教育内容を実践するのに、統合の必要はないのでは。小規模校のデメリットの説明が、私には、そんなこともないと思いました。オンライン化が進んだり、部活もやりたい子はクラブチームも選べるし・・・。</p>
<p>今回のアンケート結果によって、反映することを考えておられるのか。最初から統合することで結論が出ているのではないのでしょうか。統合せず、学校間はリモートで授業をする等で今までどおり存続させることは出来ないのでしょうか。</p>
<p>市街化地域に比べて人口減、高齢化の進行が著しい船山地区にとって、この中学校の統合は、より若者の定着を阻害することになる。今後の地域活性化のためにも子どもたちが歩いて通学できる環境を維持すべきで、田舎を守る政策として市街化区域とは別の基準を作ることが必要だと思います。</p>
<p>どの案も一長一短であるが、人口減はまちがいない。選択と集約をせざるを得ないことは今後間違いないので、早いうちから始めることを望みます。</p>
<p>船津小、山田小、神南中は、姫路市で屋根のある校舎として自慢できると思うので、そこで子どもたちを学ばせてほしい。</p>
<p>第一に子ども達の安全・お金を掛けてでも確実に確保すること、人間関係は大人よりも子ども達の方が早く築けると思う。</p>
<p>国会の少子化議論と同じく、結果に対するパチ当ての議論である。市まで同じ手法で対応するのか？学校は地域のシンボルであるから、教育委員会の協議会では同じくパチ当て議論となる。少子化と同じ結果となるのは自明である。追加的な優遇措置はごまかしで真に地力をつけないとダメ。何のための市会か！！連合自治会か？</p>
<p>協議会で検討されている③が一番現実的だと思います。</p>
<p>神南小中一貫で中学校が空いてる。こども園は別、小学生が山田・船津とも遠くなると思うが、慣れてくると思います。 香寺・豊富と統合すれば通学にかかる時間があり、スクールバス、通学路の整備等、防犯、見守り等が必要になってくる。</p>
<p>先日の説明会でも意見が出ていましたが、①調整区域の廃止を行うことで、流入人口を確保することは可能だと感じます。高速道路もあり、商業施設、病院など、他の兵庫県内の郊外地域に比べて、中学校をなくすほどの位置取りだとは思いません。姫路市南部に集中している投資の是正を希望します。とはいえ、全国的に子どもが減る中で、統廃合のことを考えるのであれば、②もう少し説明の中で具体的な実施例の共有をお願いしたいです。実際夢前町や北の市川町では吸収合併と対等合併の実施例があると聞いています。姫路市に限らず、実際に統合した場合のメリットやデメリットを実例として知りたいです。選択肢が多くないの</p>

<p>は分かっていますが、具体的なイメージができることより比較しやすい気がします。説明会ではご年配の方々がさびしいからなくさないでほしいと強く言われていましたが、そういった感情論で語らないようにしてほしい。実際の子育て世代の意見で決定してほしいです。ああいった感情のために子どもの教育の機会を失わせたくはないです、そうなると校区外への進学など違う候補が出てきてしまうので・・。</p>
<p>今回の説明会において、協議会・教育企画室は何名の参加者を見越しておられたのでしょうか。（会を開くことの既成事実が目的で、住民に周知すること等が目的になっていないのではないのでしょうか？また、協議会・自治会として、地域住民に対し、可能な限りの参加を求めてもよったのではないのでしょうか。）説明会は今回だけでしょうか？（質疑応答の時間を設けておきながら、時間で切り上げる姿勢は、住民の声を聞こうとする態度ではないと感じられます。）</p> <p>今後、山田と船津の合同説明会はないのでしょうか？（なぜ山田と船津の合同説明会でなかったのか？過去小学校の統廃合に関しての説明会では、神南中学校の体育館での開催例があるのに対し、分けてすることの意味や理由について説明がなかった）</p> <p>教育企画だけでなく、都市計画も含めた話し合いの場が必要では？（説明会の質疑応答で話されていた方もおられたように、姫路市として、人口減少が顕著になってくる周辺地域をどのようにしていきたいと考えているのか？この問題は教育だけの切り口のみで進める問題ではなく、地域全体の未来・姫路市の未来の問題であることは周知されていると思います。教育企画室は計画の見直しを！</p> <p>協議会（＝自治会）は地域の未来に向けた、住民や市・県・国に向けた働きかけを！求めたいと思います。）</p>
<p>年齢別人口について、豊富、香寺地域の状況を示してもらおうとより判断しやすいと思うので、次回資料に提示をお願いします。</p>
<p>将来を担う子どもたちの意見もアンケート調査してほしい。統合することにより、過疎化が進むことが懸念される。</p>
<p>子どものいる人が決めたらいい。</p>
<p>学区内にしばられることなく、自由に飛躍できる人材を育てるには、統合について前向きであるべき。</p>
<p>神南地区のそもそもの人口増加を計る協議を行ってはどうか。調整区域について等、色んな側面から世帯数増加が期待できる案を考えるのも必要かと思う。</p>
<p>規制緩和で、船津・山田地区に新しくマンションが2～3件出来るだけでもこの状況（生徒数減少）は一変するかもしれない。それよりも船津地区にスーパーマーケット、医院がないことの方が問題。「20歳過ぎればただの人」どのような教育環境で育っても成人になればみんな立派に成長しています。</p>
<p>根本の原因で少子化対策を実施してほしい。南に人口が集中していることから、北側にも居住しやすい様に、市全体で考えてほしい。</p>
<p>子ども達にとって、選択肢が多い環境が整うことを願っています。</p>
<p>少子化問題は今に始まったことではないため、政策を打ち出し、市レベルで指針を出すべきです。</p>
<p>船津、山田地区は、この車社会において道路の拡幅、歩道の整備等が部分的にしか行われていなくて、道路行政の無策といっても過言ではありません。統合するなら先ず通学の環境整備を図られたい。</p>
<p>スクールバスの運用を検討してほしい。自転車通学の安全面、子どもの荷物が多く、かなり重い。天候不良時の自転車運転は危険すぎる、登下校中、自転車がパンクなどのトラブル対応。</p> <p>学校に入ってしまうと、子ども達は勉強、部活と安心して生活できると思う。ともかく登下校の安全、通学手段。これは別のことですが、ランドセル重たすぎる問題！中学生のカバンも！どうしてこんなに重くなるのですか？背中がまがってしまうほどです。大人のみなさん知っていますか？</p>
<p>子どもの人数の減少だけを考えるのではなく、船津校区の交通の便のよさ、環境のよさを生かした行政を考えてほしい。例えば、調整区域を一部外し、商業や住宅化をすることによって、北の地域が活性化するのではないか。そのことをお願いしたい。</p>
<p>村おこしとして体育館とか教室でつどい、色々みなさんで考えて。体力作りとか。</p>
<p>アンケートを理由に統合を進める気ですか。アンケートを利用して進めようとしている気がします。教育委員会は、今まで地域のことを何も考えてきませんでした。将来が心配です。学校がないとさらに人口減が進みます。</p>
<p>遠距離通学となるのでスクールバス等の手配が必要となる場合がある。こういった状況も踏まえて議論して頂きたい。</p>
<p>神南中学校区の学校をなくさないで！学校は地域の光、できるだけ存続を、神南小中学校を（小中一貫）住民の意見を反映するために住民投票を。</p>
<p>現状のままで良いと思うが、どうしても、豊富小中 OR 香寺中に選択しなければならぬなら、船津小は香寺中が近いのでそちらにすべきである。また、小学校単位で決定しなければならないということもないので、個人の選択制もありかなと思ったりもする。</p>
<p>市はスクールバスの運行を計画に入れていないようだが、異常な天候や防犯上の安全確保上、計画に入れるよう住民や市議会、連合自治会から今から強く要望すべき。だまって「はいはい」「ごもっとも」ではだめ声を上げるべし。</p>
<p>説明会での質問にもあったように、人を増やすための取り組みについて「検討する」だけの言葉で終わらず、行動で示してほしい。例え担当が違っても連携をとるなどしてほしい。</p>

<p>近隣市から戻ってきた場合でも、市の建築補助を、山田はIターンか何かで補助がでるのに船津は対象になっていない。ますます人口がへる一方。子どもたちが結婚しても家を建てられないから、戻ってこない。子どもも増えない。神南中学校の発展、姫路市の発展に期待しています。！！お願いします。</p>
<p>登下校・通学面で送迎バスでの手段があればまだ検討の余地があると思われる。</p>
<p>統合に反対します。</p>
<p>近年、私立中学校の設立がある。香寺町に日ノ本高校がある。仮に中学部が設立された場合、中高6年の教育が可能となる。そのような情報が欲しかった。</p>
<p>豊富や香寺との統合は反対する。地域の子どもたちに対する意識が希薄となり、さらに少子化に拍車がかかる。地域が維持できなくなる。</p>
<p>子ども、その親の意見を聞いて欲しい。「母校がなくなる」といった意味不明な反対意見はカウントしないで欲しい。よく運動会や音楽会で「車で来ないで下さい」とあるが遠くなるとその点は配慮してもらえるのか。十分なスペース（駐車スペース）はあるのか。スクールヘルパー、PTAどれも毎年あたって本当にしんどいです。早く統合してください。意見交換の場も、現在の子ども、親のみで良いと思います。もう学校とかかわりのない人は意見しないで欲しいです。</p>
<p>豊富にせよ、香寺にせよ、統合に、船津・山田の小学生が通学するのは遠すぎるし、交通上の問題もある。バス等の手段をとることは可能か。地域から小学校がなくなると、その地域は確実に衰退していく。将来の為に学校は残したい。</p>
<p>神南中学校に神南小中一貫校を作るのが一番いいと思います。新しい場所に学校を建てるとなると、予算的にも厳しいと思います。</p>
<p>子ども達の為に良い環境になることを願っています。</p>
<p>統合を考えるより、校区人口を増やす方法を考えた方が、地域にとっても良い。市街化調整区域を外すとかしないと若い世代が船津に住めない。</p>
<p>統廃合という話が出てきたこと自体に、現在の姫路市政に対し大きな失望を感じています。なぜなら、生徒・児童の問題ではなく、船津・山田地区の消滅につながる危機的な課題だと考えているからです。このまま神南中学校区の学校統廃合を強行されるのであれば、船津・山田の住民は、清元秀泰市長の再選を阻むべく、あらゆる政治活動にまい進したいと考えています。</p>
<p>中学校の学年が1クラスになると教頭も入れて8人の教員として9教科の教員確保が困難という理由も、デメリットの項目に挙げられている。教員の配置は法律で決められているとされるので、配置できる人数に限りがあることは分かる。ただし、だからといって、8人で9教科を全て教えたり、専門外の先生が教科を受け持ち、教育の質がさがるという対応には絶対耐えられないはずであるのに、そのことの説明は何らされていないので誤解を与える。中学校に配置できる人数は8人であっても、専門の教科を教える先生は必要であるが、その確保は運用により対応が可能である。例えば大学の様な高等教育においても、大学外から先生や講師を受け入れて授業を持ってもらい、すべてを大学所属の先生だけでまかなっているのではないが、専門の先生に担当してもらえば教育の質が落ちると言うことではない。高校においても、授業時間のみを持ってもらおう先生、講師に受け持ってもらい、数学や社会等の先生を呼び、テストも作られる。姫路市の小学校においても、現に英語の先生は船津小のみに常時いるのではなく、複数校を担当して回っている。外国の小中学校の現場も実際に見て知っているが、その専門の教科の先生は3校を担当していた。他の全ての教育機関で行われていることが、姫路市の中学校でのみ行えないわけではないのである。学校への配置8人でも、家庭、技術、美術、音楽等の1学年に週2時間しか受け持たない専門教科の先生は、他校の隣接校など近くの中学校に配置されていても、授業は複数の学校を回って担当することが可能であり、先生を配置する教育委員会の運用次第であり、今現在行っていないとしても、小学校の英語の先生にされている様に運用を変えれば対応できることである。運用で解決できることを何ら伝えず、神南中学校の生徒を遠くの中学校へ通わせて通学の負担を負わせる大問題の統合という話にまで持っていかれていく。そのような情報は、一般の我々には一切伝えられず、アンケート用の資料作成においても、統合を推進したい教育委員会において作成されるので、都合のよいデメリットは伝え、都合の悪い情報は伝えない。出たくない意図で作られている。情報操作されているものである。住民にアンケートをとり、住民の意見を問うにあたって、資料は公平・公正な立場の者が作成されるべきである。全て正しく正確な情報を伝える必要があるので、改善し、上記の対応策はある旨の記載を行って、正確な情報を伝えるよう正して下さい。他方、義務教育学校に関する案は突然出てきたが、最悪である。船津小・山田小の校舎をうばい、狭い1校に3校をまとめるのは、ただ教育など関係なしに合理化。効率化したい市側の都合のみしか理由がない。クラス替えできない1クラスという理由の中学校のデメリットが3年間から9年間になり、より長い間固定化するので最悪である。部活動の理由も、小学生と大会に出る訳ではなく、何ら解決しない。先生の数も9教科8人という中学校の部分の配置は、人数は変わらないので同じであり、小学校の先生は、クラスの担任があるので、中学校の授業の方に受け持てる人はほとんどいない。何も中学校の1クラスのデメリットとして挙げられている理由の根拠が解決することはないのに、ただ統合の形であればなんでも良いから合理化したい思惑だけである。児童生徒の今のすばらしい教育環境をうばいとることだけにしかならない。児童生徒のことなど全く考えていない削れるところから1校でも削減したい所でしかない。人口減、生徒減、は姫路市全体の問題であり、街中の1～2km範囲の中学校の統合など通学に負担の少ない統合など、姫路市全体の将来の学校数を考える問題であり、田舎のみ進めてゆく不公平あるやり方ではない、断固統合へは反対します。</p>
<p>児童数が年々減っていくのは食い止められないがそれを子どもにしわ寄せするのはいかなものか。自分の地域で育つことが一番であるし特に低学年の間は大事だと思う。</p>

<p>少子化で子どもが少なくなり、学園も大変かと思いますが、私も遠くに孫が3人おり、人ごとではありません。説明会には参加できませんが、皆様の知恵を出して頂き、子ども達がのびのびと過ごせる学園であってほしいと願います。</p>
<p>神南中学校に船津小学校と山田小学校を統合して義務教育学校にするのが、船津、山田にとって一番良いと思います。これからの若い人たちが子どもをもつ数も増えると思います。</p>
<p>船津・山田地区は、特に過疎化が深刻化しているの、根本的な問題をもう少し考えないといけないと思います。若者が帰ってくるような魅力的な街づくり、空き家の活用、農地を宅地にしやすい様に（新興住宅地を開拓する）など・・・学校を合併して一時的に凌いだとしても出ていく若者が多いとまた将来的にこのような問題が出てくると思います。</p>
<p>1. 過疎化（少子化）に対して行政側の支援について説明があっても良い。2. 市街中心部は発展するが、過疎化地区はさびれる。学校が無くなると地域に元気がなくなる学校が1つになっても残してもらいたい。</p>
<p>船津校区は他校区からの受け入れが難しい（市街地調整区域の為）。山田校区に転入してくる世帯を増やす取り組みとしてほしい。船津で育った子が、戻ってきて子育てをしたくなるような環境を整えて欲しい。私は実際に船津へ戻り、2歳、0歳の子を育てているが、校区内で安心して遊ばせる場所がない。こども園の園庭開放へ行きたいが、自転車はご遠慮くださいと言われると子どもを連れて気軽に行けない。あきらめて香寺公民館へ遊びに行っている。高齢者が多いので仕方ない部分はあるが、若い世代が暮らしやすいようにして欲しい。</p>
<p>神南中で義務教育学校にするなら船津小、山田小空き校舎になり運動場や体育館どうなるのかなと気になります。</p>
<p>姫路市全体をどうするのかという大きなプランを示してほしい。個別に1つ1つを解消しようとしても無理がある。学校が無くなるという変化は大きく不安であるが先を見据えた大きなプランを示せば理解は得られるのではないか。香寺、豊富と3校を1つにした新しい学校、新しい校舎を作ることも1つの方向かと思う。</p>
<p>調整区域を外し、商業施設及び家が建てられるようにして欲しい。船山地区及び豊富地区の人口減少が今に始まったことではないと考える。魅力ある地域づくりをお願いします。・仕事をして賃金が上がらないと子どもも作れないことをなんで分からないのか？誰に言えばいいのか？</p>
<p>もう少し分譲地、商業地化してほしい。新しい方々、街へでたけれど帰ってきて住もうという方々が増える様な変化がほしい。</p>
<p>もしも他校と合併するようなことになれば、子どもの安全確保の為、スクールバスの運行は必須と考えます。</p>
<p>人をこの地域に呼び込むような方策があれば良いと思います。</p>
<p>船津・山田地区の小中一貫校が望ましい。地元で子どもの声が聞こえなくなるのは淋しいかぎりです。低学年は通学が大変ですが・・・ 船津・山田校区で学校が無くなるのは過疎化がよけいすすむ気がします。姫路市に船津・山田地区が活性化するような政策を望みます。</p>
<p>船津地区、山田地区には、色々なよい伝統が残っており、それをこわすことは、子ども達に与える影響がこのまじくない。そもそも教育基本法4条にうたわれているようにいくら小さい学校に通う子どもでも等しく教育を受ける権利は保障されるはず。10年後でも人数は減るが2クラスを確保できるため統合する意味が感じられない。</p>
<p>少人数になっても、小中学校は残しておいた方が良い。多人数で学ぶばかりが教育でない。</p>
<p>農業への規制が強い中で、子どもの人数が減るのは当然である。農業への規制をゆるめる方向と美しいなかの地にすみたい人々をうまく調整の必要が大切！ 家の建築にある程度緩和が必要と思われる。教育施設にも学びへの意欲がふくらむ方向へ魅力ある施設を期待したい。</p>
<p>姫路の市街化ばかりに力をいれるよりも同じ税金をはらっているのであるから農村部が活性化するように考えてほしい。</p>

お問い合わせ先

姫路市役所 教育委員会事務局 教育企画室

住所 〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地

電話番号 079-221-1557

ファクス番号 079-221-2749

メール [kyo-kikaku@city.himeji.lg.jp](mailto:kyo-kikaku@city.himeji.lg.jp)

## 神南中学校区保護者アンケート調査結果について（回覧用）

以下のとおり、保護者を対象として実施したアンケート調査の結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

アンケートにご回答いただきました皆様には、ご協力ありがとうございました。

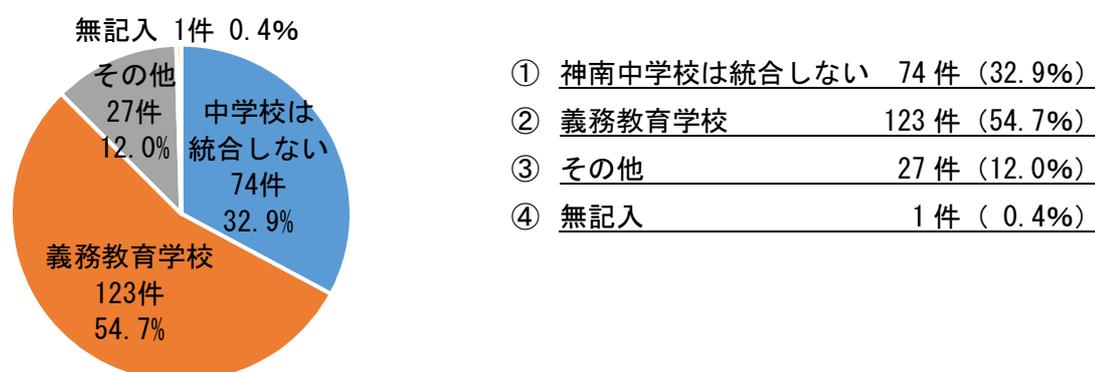
### 【アンケート調査の概要】

- （期間） アンケート回答用紙配布（1月下旬） から 令和7年2月14日（金）まで  
 （対象） 神南中学校区の小学校・こども園にお子様が行われている保護者  
 ※回答は各世帯1枚として依頼

### 【アンケート調査の結果】

- ・調査対象と回答数 対象 232件（小学校、こども園の長子の人数）※対象件数は学校園に確認  
回答 225件（船津地区 154件、山田地区 71件）  
回答率 97.0%

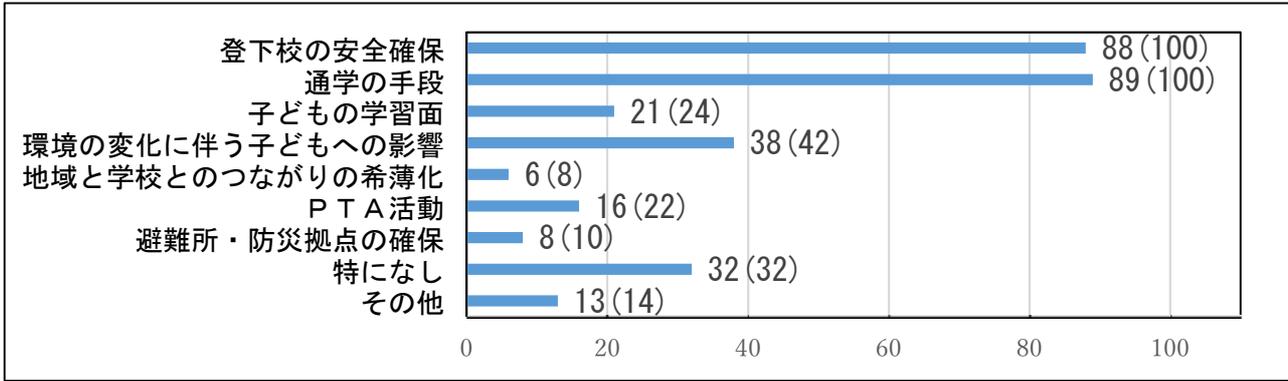
問 神南校区の児童・生徒数が減少してきていることを踏まえ、あなたは、神南中学校についてどの取組方針が最も良いと考えますか。



上記の回答を選択した理由

- ① 「神南中学校は統合しない」を選択した方の意見（全 43 件）
- ・統合した場合の通学における距離や安全面に対する不安について。（11 件）
  - ・義務教育学校になっても生徒数や学級数が増えない。問題解決にならない。（7 件）
  - ・小規模校であることのメリットや魅力について。（6 件）
  - ・改修されたばかりの船津小学校の校舎がもったいない。（2 件）
  - ・地元の小中学校を残したい。（2 件）
- ② 「義務教育学校」を選択した方の意見（全 79 件）
- ・隣接中学校と統合するより義務教育学校の方が良い。現実的。（27 件）
  - ・児童生徒が減少している状況ではしかたない。（19 件）
  - ・義務教育学校となることにメリットを感じている。（13 件）
- ③ 「その他」を選択した方の意見（全 25 件）
- ・義務教育学校では生徒数が増えないので、隣接中学校との統合を望む。（10 件）
  - ・義務教育学校になっても数年後には再度検討が必要になるのではないかと。（6 件）
  - ・どちらでもよい。協議会に委ねる。市に現実的な方法を提示してもらいたい。（6 件）

問 義務教育学校となった場合に心配や不安に思うことは何ですか。(最大2つまで選択)



※表中の ( ) 内の数字は、3つ以上選択した方の回答を足した件数

【その他ご意見 (自由記述)】の意見 (全 61 件)

義務教育学校に肯定的な意見

- ・生徒数は増えないが、小学生と学校生活を送ることで、学校全体の活力が増すのではないかな。
- ・小学校と中学校を分けなくて環境変化がなく良いのではないかな。
- ・義務教育学校が増えているということは、少子化だけが原因ではなく、子どもの学習の場としてのメリットも多いのではないかな。
- ・今の1クラスの数くらいが楽しそうであり、良い関係が築けていると思う。
- ・中学校まで地域の学校に通えるよう、義務教育学校となることを望んでいる。

義務教育学校に否定的な意見

- ・中学生の生徒数が増えるわけではなく、児童生徒数は減っていくので意味がない。
- ・今回の問題は神南中学校をどうするかであり、問題解決とならない義務教育学校にすることはない。
- ・中学校の生徒数減少の課題解決にならない義務教育学校に多額の設備投資は無駄ではないかな。
- ・クラス替えができないということは、逃げ場がないということで、子どもにも先生にもしんどい。

隣接中学校との統合を求める意見

- ・いずれ統合しなければならぬ生徒数になるのであれば、他の中学校と統合した方が良い。
- ・生徒数の減少が問題なら、他の中学校と統合する以外問題解決にならない。
- ・船津小学校と山田小学校が統合し、神南中学校は他の中学校と統合した方が良い。
- ・義務教育学校になっても、児童生徒数は減っていくので、中学校が統合する方が良い。

隣接中学校との統合に否定的な意見

- ・隣接中学校との統合は、距離や環境の変化が大きく不安がある。
- ・数年後に生徒数が逆転するため、豊富小中学校との統合は考えられないし、香寺中学校との統合は、人数差や距離など不安が多い。
- ・香寺や豊富と統合になると通学 (安全面) や環境の変化に不安がある。

その他意見

- ・統合した場合に学校跡地はどのように活用するのか。
- ・市街化調整区域を見直し、家を建てやすくすることで若い方の定住を促進すべきではないかな。
- ・統合への動きはやむを得ないが、教育の質が平等に保たれることが前提である。
- ・もっと広域での新たな小中一貫校に向けて検討できないかな。
- ・地域のつながりは重要だが、子どもたちの教育環境や成長を最優先に考えることが必要。
- ・統合の話も大事であるが、少子化が進む原因を聞きたい。

※ 自由記述等の詳細をご覧になりたい方は、神南中学校のホームページ並びに、船津公民館、山田公民館及び船山出張所にてご覧いただけます。

神南中学校 : <https://www.city.himeji.lg.jp/school/0000022862.html>



○神南中学校区学校地域協議会事務局  
 (姫路市教育委員会事務局教育企画室)  
 姫路市安田四丁目1番地  
 TEL 079-221-1557 FAX 079-221-2749

## 神南中学校区保護者アンケート調査結果（閲覧用）

### 1 アンケート調査の概要

神南中学校区では、令和5年6月に神南中学校区学校地域協議会（以下、「協議会」という。）を設置し、校区の児童生徒にとってより良い教育環境にしていくため、児童生徒数が減少する中、これまでどおり神南中学校に通い続ける方が良いのか、隣接する中学校（豊富、香寺）のいずれかと統合する方が良いのか、あるいは神南中学校、船津小学校、山田小学校を統合して義務教育学校とする方が良いのかを比較して、どうすることが望ましいかについて検討している。

令和6年7月に神南中学校区の全世帯を対象に実施したアンケート調査では、「統合しない」「隣接中学校との統合」「義務教育学校」の3つの選択肢のうち、「統合しない」と「義務教育学校」に多くの回答が集まる結果となったが、協議会として取組方策を決定するには至っていない。

また、アンケートの自由記述では、保護者の考えが大切であるという意見が多かったことから、改めて神南中学校区の小学校とこども園にお子様が通われている保護者を対象としたアンケートを実施することとした。

### 2 調査期間

アンケート回答用紙配付日から令和7年2月14日（金）まで  
※ 令和7年1月21日に学校園にアンケート回答用紙の配付を依頼

### 3 調査対象

船津小学校、山田小学校、船津こども園、山田こども園の保護者 232世帯

※ 調査対象数は、対象となる小学校とこども園の長子の人数から重複する世帯を除いた数。

### 4 調査方法

- ① アンケート実施に際して保護者に事前に説明資料を配付
- ② 説明資料について質問を受け付け、質問に対する回答をスクリーン及びキッズビューで配信
- ③ アンケート回答用紙を保護者に配付
- ④ 追加で質問がある方や、資料説明が必要な方を対象に説明会を開催
- ⑤ 提出期限までにアンケート回答用紙を回収

### 5 回答数

	船津小学校	山田小学校	船津こども園	山田こども園	合計
回答数	136件	61件	18件	10件	225件
対象数	136件	67件	19件	10件	232件
回答率	100.0%	91.0%	94.7%	100.0%	97.0%

※ 対象数は、神南校区の小学校とこども園の長子の人数から重複する世帯を除いた数。

### （参考）説明会

開催日・場所

令和7年2月5日（水） 山田小学校ランチルーム（体育館から変更）（参加者：0名）

〃 2月8日（土） 船津公園ふれあいの館会議室（体育館から変更）（参加者：9名）

<注意> 各回答項目の割合（%）は、端数処理の関係上、合計が100%にならない場合がある。

◆質問

問1 神南校区の児童・生徒数が減少してきていることを踏まえ、あなたは、神南中学校についてどの取組方策が最も良いと考えますか。(回答は1つ)

項目	船津地区	山田地区	全体(%)
① 神南中学校は統合しない。	46(29.9%)	28(39.4%)	74(32.9%)
② 神南中、船津小、山田小を統合して義務教育学校にする。	84(54.5%)	39(54.9%)	123(54.7%)
③ その他	23(14.9%)	4(5.6%)	27(12.0%)
④ 無記入	1(0.6%)	0(0.0%)	1(0.4%)
合計	154	71	225

問2 問1の回答を選んだ理由をご記入ください(自由記述)

① 「統合しない」を選択した方

小規模(少人数)であることに魅力を感じているから。
統合することにこだわらず、小規模校として取り組みを進めてほしい。
区切りがつきにくい。(卒業式、入学式など)
いろいろな面で不安があるため。
より手厚く、よりチャレンジできるといったポジティブに考えることができる。
いずれ維持できる人数がいなくなるから。
義務教育学校にするメリットが感じられない。
通学手段、学習面に対してアンケートの内容に納得いかない。小学を卒業後、一緒になるので前倒しする必要はない。
通学の距離、安全面が確保できなければ不安です。
小学生が毎日登校する距離と思えないため。
少ないからこそその魅力がある。仲も良い。歩いて友達と帰る楽しみや経験がなくなる。
複式学級になり他学年と同じ教室で交流することも、良い経験になると思う。
小学校と中学校が統合した場合、小1と中3の子たちの年齢の差があり過ぎて、行事等が難しくなりそうだから。
スクールバスがないため。
小学校の改築工事が行われ、今の環境に慣れているのに、統合をする事によって環境の変化は子どもにとって心の負担が大きいと思います。
義務教育学校としたところで神南中学校の問題は何も解決はしない。小学校の問題解決にしかになっていない。
小学生がランドセルを背負って登校するには遠かったりする。
統合した場合、大人数になり、生徒たちに細かく目が行き届か不安。
母校がなくなり、統合するのは嫌です。さみしいです、子どもたちも親が通った学校へ通わせてあげたいです。神南中学校だと家から近いので、部活で遅くなくても安心ですが、別の中学校になると、交通の面などで心配です。
子どもたちも小学校の校舎で学べなくなるのはさみしい。(なくなるのも)と言っている。可能な限り存続してほしい。
低学年に中学校までの通学手段が徒歩では負担が大きい。又、自転車も不安がある。
山田・船津小学校の統合は仕方ないと思う。(どちらの学校も少数1クラスなので)
取組方策決定後に検討する事案が多く感じるため。統合を前提とした案を明示してほしい。
登下校の距離、時間が大幅に増えてしまうので、徒歩以外での通学方法についてどのようになるのか具体案を聞きたい。
現状維持で良いと思う。
少人数制でも良いと思う。
今まで通りが良い。
神南中学校を統合しても、生徒の数が変わるわけではないため打開策ではないと思うため。
現時点での意見ですが、神南中学校と豊富が合併しても、またどこかと合併しないといけないなど、次々に問題が出てくるようであれば、統合する必要はないと思います。

<p>中学生の3年間は、小学校とも高校とも違う、大事な時期（気持ち的にも、勉強面でも）だと思うが、行事や日常生活でどこまで小学生と関わるのが気になる（あまり小学生と関わらないのであれば、統合もありだと思う）中学生が小学生の世話をすることが無いようにしてほしい。</p>
<p>児童・生徒数の減少は、姫路市全体の問題であり、同様に学校規模が縮小してゆくことも全地域の問題である。学校の統廃合を考えるのであれば、姫路市全体での中学校の将来の配置数の計画を立て、ビジョンを示し、将来像の見通しを立てて姫路市内全体の中学校で削減してゆく必要があるはずだが、計画性が全くない。神南中学校1校だけを標的にしてやっ払いということでは、全く納得できない。</p>
<p>いずれ子どもの数もどんどん減り衰退していく。学校の統合よりもっと考えないといけないことがあるのではないかと。学校が地域からなくなると過疎化がもっと進み、活気がなくなる。他地域からの転校等もなくなる。</p>
<p>義務教育学校にしても生徒数は増えず、教員数確保にもあまりつながらないと思う。学校の統合の前に、神南校区の人口を増やす政策、法律改正をするべきだと思う。義務教育学校は通学の子どもの負担が大きい。</p>
<p>少人数なりに勉強や部活、文化面で児童がそれぞれ活躍できる環境を作れるのではないかと。船津小学校の工事が終わってきれいになったので校舎を使用したい。</p>
<p>学校が遠くなるので通学が心配なため。</p>
<p>学校が遠くなった際の安全性（登下校時）に不安がある。</p>
<p>地元の小中学校を残したい。</p>
<p>今は、上記の回答になりますが、根本が解決していないと思います。人が増えれば・・・と思います。子どもの環境をあまり変えたくないです。</p>
<p>1クラスの人数が減ったので、間違いなく2クラスなので、今のところはいいです。</p>
<p>なるべく環境の変化が少ない方が安心です。義務教育学校も良いと思うが、中学校が遠いので心配です。</p>
<p>それぞれ立派な校舎がある（船津小は昨年工事してきれいになったばかり）ので、統合してしまうと使わない学校の校舎ができてしまうからもったいない。ただ、今後の児童数の減少を考えると校舎の問題だけでは決められないと思う。</p>
<p>統合するメリットがあまりないと思う。</p>
<p>登下校の安全確保面に不安がある。</p>
<p>通学が困る。</p>

## ② 「義務教育学校」を選択した方

<p>香寺や豊富との統合の話は通学が危険で反対だが、神南での義務教育学校であれば問題ないと思う。</p>
<p>現実的に校舎や教職員のことを考えると、統合かなと思います。子どもの人数で考えても統合しないのは難しいと思います。1～9年生が縦のつながりの中で生活していけるなら良いのでは。</p>
<p>10人以下の学年がこれから増えてくる。</p>
<p>今後、益々少子化が進むのであれば仕方ないと思います。小規模のメリットもありますが、人間関係が固定化してしまうデメリットもあり2クラスでクラス替えができる程度の人数が子どもにとって良いのではないかと。又、神南中学へ進学後になじめなくなるより小学校の時期から統合していた方が中学での不安が少ないと考えます。</p>
<p>複式学級などよりは統合の方がまだ良いと思うので。</p>
<p>船津小学校と山田小学校を統合するのだったら中学校も持ち上がりでその人数だし小中一貫にしても良いのかなと。</p>
<p>一か所に子どもを集めることにより少しでも人数を増やし集団生活をし、学んだり遊んだりできる環境が良いと思います。友達の数も増えることも良いことだと思います。</p>
<p>隣の豊富小中も数年前から義務教育学校になっていて特に不満の声など聞かないので。</p>
<p>今までの校区で地域の良さを活かしつつ児童、生徒数が減少しており2つの小学校を統合するのが現実的だと考える。</p>
<p>小中一貫校も少子化によって増えてきていることと、中学になれば船津小と山田小は一緒になるので。</p>
<p>全く別の校区と一緒にするよりは、同じ校区内の小中一貫とした方が親子共々メリットがあるように思う。</p>
<p>豊富、香寺と統合するなら船津、山田で義務教育の方が良い。</p>
<p>友達関係等、考えると人数の少ない方が良い。</p>
<p>少子化のため色んな人との出会いを大事にしたいから。</p>
<p>香寺、豊富と統合より、義務教育学校にする方が登校時の安全面などを考えると安心です。山田小の子どもは遠くなってしまいますので、スクールバスなどできると良いと思います。</p>
<p>生徒数や教諭数を考えると3つを統合するのが良いと思います。山田の方は少し遠いですが、豊富や香寺と統合するよりは現実的ではないのかと考えます。</p>
<p>人数減少のため、豊富や香寺と統合した時の登下校の不安の方が大きいから。</p>
<p>一番現実的だから。</p>
<p>スクールバスが出るならば良いと思う。路線はきちんと考えてほしい。</p>

1つにまとめた方が経済的に良いと思うから。
人数が減っているため。
人数（生徒数）が減少しているから。運動会、音楽会は人数が少ないと楽しくない。中学で一緒になるなら小学校から一緒に良いと思う。
子どもがどんどん減っていく中で、地域にしっかり根付いたうえで活気ある学校生活を送ってほしい。通学の距離を考えると校区が良い。
子ども数の減少に対して、9年制にすることによって少しは学校内が活気づくだろうし、神南校区内での取り組みのため環境変化が抑えられ不安が減ると思うので。
中学で一緒になる小学どうしが一緒になる方がその後の教育には一貫性があると思うので。統合しても小規模の小学校なのであまり変わらないと思う。
今のままであってほしいのが本心ですが、生徒数が減少していくので、今の神南校区の良い所を隣接中学校との統合で失ってほしくない。するとしたら、神南中学校、船津小学校、山田小学校を統合の義務教育学校。
異学年交流ができる。
小中一貫の方が不登校の問題も減ると思う。教師の人数の問題も少しは緩和されるかと思います。
児童減少のため。中学校の校地を使用の場合、給食室の確保をお願いします。
現状と未来（可能性）を鑑みて落とし所であるので。
生徒数が減少すると活動範囲が狭くなってしまい、大きな行事等も運営できない可能性がある。子どもたちの人間関係が固定されてしまう。教員が十分に配置されず、子どもたちに対する評価も固定されてしまう不安がある。
豊富中と神南中を統合して、豊富に通っても数年で神南校区の人数が多くなるのでわざわざ遠くまで行くのがかわいそうなので。
いずれ、神南中学校で一緒になるのでそんなに変わらないと思う。
色々な学年と触れ合う機会が多くなるため、中学校入学時に不安を抱えないで済む点。
小学から中学へ進級するときのギャップが少し解消されるのではないかと考えます。
子どもの数が少な過ぎて、子ども同士のかかわりや学びが十分に行うことが難しいため。
クラブ活動等の人数も減って活動の選択が減る。中学校になれば結局一緒になるので小学校、中学校統合で良いのでは。
山田地区の子どもたちや船津地区の子どもたちを豊富小中学校や香寺方面の小学校や中学校へ行かせるのは大いに反対します。
近い将来において、神南中学校を使用して山田地区の子どもたちと船津地区の子どもたちの義務教育学校にしていくことに賛成します。
なぜ神南中学校があるのに、豊富地区や香寺地区への統廃合の話が出てくるのかが分かりません。今ある神南中学校を活用していけば山田や船津はもっと活性化していくと考えています。
少子高齢化の波は止まらないのであれば、義務教育課程を進めていくべきではないでしょうか。
モデルケースとして近くに豊富小中学校があるのを参考にしながら山田地区と船山地区の良さを活かした統合を目指していけば良いと考えます。
授業や学校での生活は少人数でも行えると思いますが、行事（運動会、音楽会）ではできる事が限られてしまうと思うので選びました。
統合せずにこのままやっているとベストだが、このままでは、山田小学校が維持できない。船津小と統合するのであれば、義務教育学校として小中一貫にした方が子どものためには良いと考える。
少人数だからできることもあるが、ある程度の人数がいる方が学べることも多いと思う。
各小学校の1年生が1ケタ人数になってしまうくらいなら、義務教育学校にした方が良いと思う。豊富や香寺と統合するのは、通学の距離、安全面、保護者の負担を考えると現実的ではない。
学校側の人員不足も深刻だと思うので、教育環境をある程度の質に保つためには、規模最適化もやむを得ないと思う。
本音では、従来の校区で安心して教育を受け続けられるのであれば、それが理想です。
子どものコミュニケーション能力向上に、多様で多くの人と接する機会を与えたい。
生徒数が減り、静かな状況で学校生活を送るより、多人数の中で刺激や影響を受けながら学校生活を送ってもらいたい。
統合するとなると、どこで統合するのか、通学手段はどうするのか不安なため。
子どもの数が少なくなっているのでは仕方ないと思う。
人数が増えるから。
現状1クラスの学年が多いため、毎年クラス替えもでき、交友関係も広くなると思われるため。
神南校区を残したい。子どもが減少し、統合せざるを得ないので、船津と山田のみの統合でとりあえず・・・。
統合しない理由→豊富校区は、今後の児童・生徒数が神南校区より減少する。香寺校区は、現実的でない。（登下校の安全、通学手段、地域のつながりなど）
義務教育学校→違う地域に行くより、地元で教育を受ける方が子どもの成長に良いと思う。
少子化が浮き彫り。

少人数制の良い所もあると思います。ある程度の生徒数がいないと、学校というコミュニティ内での社会性や協働を学んだり、経験することが減ってしまうのではないかと思います。
児童減少により1クラスだけとなるよりも、クラス替えがある方が進学していくうえで良いと思うから。人数が少なすぎるので、役員がずっと回ってくる。
昨年の中で、他校との統合は現時点で難しそうだと感じました。となると消去法で義務教育学校しかないような…。(次の段階として豊富との統合をしやすくなる?)
生徒数の現状を考えると仕方ない。
せっかくある神南中の校舎をムダにせずに済むし、遠くの学校へ行かなくて済むと思います。
幅広い年齢での交流ができる。イベント、行事なども一緒にできると、子どもたちだけではなく、小・中に子どもがいる親も助かると思います。
地域ごとに文化等があるので他地域と合同になると意見が分かれてくることあるのではないかと。答えを出さないといけないなら、神南校区のまま義務教育学校が良い。
現段階では最も子どもたちや保護者、地域の方への負担が少なく移行できると考えるため。
中学校区が同じところと統合した方が良いと考えるため。
統合することなく、船津小学校・山田小学校を守り、子どもたちに通ってほしいが、その他の案よりは子どもたちの不安や負担も少なく良いのかな。と思いました。
他の中学校と統合するより、義務教育学校の方が登校などのことを考えると良いと思うが、義務教育学校のメリット・デメリットが知りたい。
豊富、香寺と統合するよりは、中学校の校地を使用して義務教育学校にする方が良いと感じたので。
もともと中学校で、山田小学校と船津小学校が統合するので、それが小学校からと早まるだけなので問題ないかと思ったので…。
2小1中の場合、小学校の児童数が少ない(特に山田小)ので、統合した方が良いと思ったため。
小学校の1学年の人数確保のため。
人数が少ない中、同じメンバーで過ごすよりも、少しでも沢山の人の中で過ごし接する方が良いと思う。最も現実的だから。
中学校へ入学する感じではなく、同じ校舎で同じ教師、友達がいるのは、子どもの心の安定につながると思う。
通学の距離が変わらないので。
コスト削減のため。
どこかと統合しないといけないなら、義務教育学校になる方が良いです。いろんな面で安心です。
子どもの通学時間が短くてすむ。
生徒の少ない環境で、色々な行事が小さくなるなら時代に合わせて変えた方が良いと感じる。
兄弟の行事ごとが1回で終わる。人数の確保。でも、小学→中学へのステップ感がないのかな…。
中学生からしたら小学生を煩わしく思うのかもしれない。
人数が減る中で、校舎等の維持費がかかるなら、統合していくことも仕方ないと思う。他校区と統合するのなら近い山田校区となら中学校で一緒になるので統合しても良いと思った。

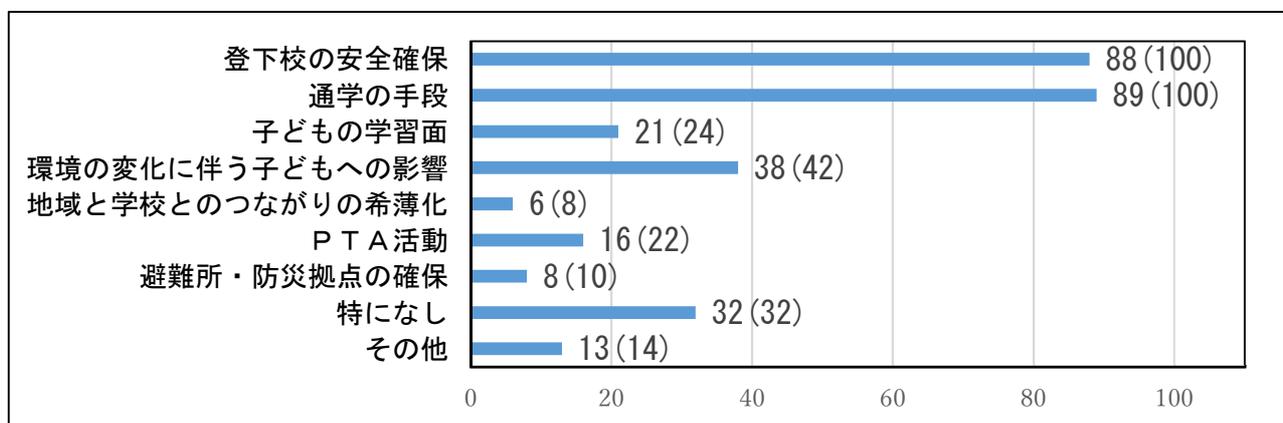
### ③ 「その他」を選択した方

5年後に義務教育学校になっても、その数年後は更に子どもの人数が減っていてすぐに次の段階を考えないといけなくなるのではないかと?
今の状況が良い。
十分な学級数に至らない。
どちらでも良い。子どもたちの安全面、環境の変化に対して一番良い方法を決めればどちらでも良い。
香寺もしくは豊富と統合が良いと思います。統合しない場合、先生の負担が多くなる。義務教育学校にした場合でも児童、生徒数が増えるわけではない。
少人数の義務教育学校にしても意味がない。
協議会に委ねます。
近隣の中学校(香寺)と統合希望。船津小・山田小の義務教育学校を作ってもいずれ少人数の問題が出てくるため。義務教育学校は6年生から中学1年生の区切りがないので(卒業式や中学生になるという子ども自身の意識)メリハリを付けたい。
そもそもこの問題は「神南校区の生徒数が減って今のような学校を維持していくのは難しくなるからどうしたら良いか?」ということだったと思うが、それを解決するには近隣との統合しかないと思う。統合しないや義務教育学校にするのは何の解決にもならない。論点がだんだんとずれてきているから。
どちらでもかまいません。
神南校区のみの合併では、あまり年月の経たないうちに再度他地区との統合・合併の必要性に迫られるのではないかと考えられるため。(合併後に目指す児童・生徒数を定め、その人数が何年充足できるかから逆算して統合・合併を検討するのも一案ではないかと)
子どもたちが学びやすい環境ならどちらでも良い。
みなさんのご意見に合わそうと思っています。

香寺・豊富小中との合併。
子どもの人数が減少し、近い将来何らかの形で統合しないといけないのは分かりますが、通学する子どもたちの安全面などを先に考えてほしい。統合してから決めるのはおかしいと思います。
香寺中学校との統合を希望する。理由、統合の場合、豊富、香寺とのいずれかとの統合となるがどちらでも自転車通学になるが、豊富は通学路の安全性が極めて低い（香寺が高い訳ではない）校外クラブ、学習塾等文具の購入等、香寺との統合の方がメリットは多い。
義務教育学校にしても、いずれは統合することになるのではないかと？小中を少ない人数で過ごして、高校に入って急に大人数の中に入っていきことになるので不安に感じる。
近くの学校と統合すべき。
香寺との中学校の統合を希望します。小中学校を統合する事も考えましたが、生徒数が増えるわけではないので、今までと何が違うのか、メリットがないように思えます。小学校同士が統合するのは良い事かもしれませんが、中学校は別の方が良いのではないかと思います。
香寺中と合併を望んでいます。義務教育学校になっても、1クラスの人数は増えませんが意味のないように思います。やはりクラス替えができることが子どもにとって良いと思いますので香寺中との統合が良いと思います。
統合しても、各学年の人数が変わる（増える）わけではないので、子どもたちにとっても意味があるか正直分かりません。他校と統合した方が、先々考えると良いと考えます。子どもも、人数が多い方が良いと思っています。香寺と統合してほしいと言っています。
住民の感情的な意見より、市として最も現実的に最良な方法を提示していただければ、ころころ方策が変わってついていけない。
できれば香寺中と統合したい。次の案としては、神南中、船津小、山田小の統合はありだと思う。PTAも1つで済むのなら良いと思う。
沢山の友達と学んでほしいと思うから。

問3 義務教育学校となった場合に心配や不安に思うことは何ですか。(回答は2つまで)

項目	船津地区	山田地区	全体
① 登下校の安全確保	49 (56)	39 (44)	88 (100)
② 通学の手段	50 (57)	39 (43)	89 (100)
③ 子どもの学習面	19 (22)	2 (2)	21 (24)
④ 環境の変化に伴う子どもへの影響	20 (22)	18 (20)	38 (42)
⑤ 地域と学校とのつながりの希薄化	3 (5)	3 (3)	6 (8)
⑥ P T A活動	14 (18)	2 (4)	16 (22)
⑦ 避難所・防災拠点の確保	6 (7)	2 (3)	8 (10)
⑧ 特になし	28 (28)	4 (4)	32 (32)
⑨ その他(自由記述)	12 (12)	1 (2)	13 (14)



※ ( ) 内の数字は、3つ以上選択した方の回答を含む

問4 問3の回答を選んだ理由をご記入ください（自由記述）

問3での回答		回答（自由記述）
登下校の安全確保	通学の手段	大きい道を通学に使うことになる地区では、安全面での不安がある。
登下校の安全確保	通学の手段	徒歩や自転車で通学となると、小学生の年齢だと心配です。
登下校の安全確保	通学の手段	なるべくなら一人で学校へ行って帰ってきてほしい。義務教育学校になると車の送り迎えが今より目立ち 17 時まで仕事の私たちは迎えは無理な話。いろいろなトラブルがありそう。ルールがちゃんとあって決めて守るにしてほしい。
登下校の安全確保	通学の手段	自転車、徒歩の混合になり小学生は徒歩であれば自転車との衝突等の危険もあり、安全面がとても心配です。又、小学生で長距離の（スクールバス外）の子どもたちへの対応を検討していただきたい。
登下校の安全確保	通学の手段	距離が遠くなるため。
登下校の安全確保	通学の手段	小学校の低学年の子どもにとって登下校の通学の手段や安全確保が一番心配だと思う。
登下校の安全確保	通学の手段	低学年の子どもを神南中まで歩かせるには厳しい。親の送迎が必須になる。共働き、母子家庭、勤務時間がバラバラ（夜勤等）の家庭の負担が大きすぎる。
登下校の安全確保	通学の手段	低学年の自転車通学は危険でしかない。スクールバスがつかえるなら…。
登下校の安全確保	通学の手段	夕方になると暗い。街灯は少ない。直線距離で説明するが、実際の距離ははるかに長く、小学生が登校する距離とは思えない。又、坂道も多い。中学生でも片道40～50分かかる。
登下校の安全確保	通学の手段	山田小学校まで今が通学距離が短いので、その点だけです。
登下校の安全確保	通学の手段	スクールバスの利用があるなら良いと思います。
登下校の安全確保	通学の手段	小学校低学年には通学距離、安全面で心配。
登下校の安全確保	通学の手段	家から距離があるため。
登下校の安全確保	通学の手段	遠いから。
登下校の安全確保	通学の手段	遠方に通うことになると、部活などで下校が遅くなり、下校時の交通量など安全面で心配になります。
登下校の安全確保	通学の手段	神南中へは自転車で通う必要がある距離に住んでいる生徒もいるため集団登校ができるのか？その際の歩く距離の懸念や安全面の不安が残ります。
登下校の安全確保	通学の手段	低学年の児童が体力的に通学できる距離の範囲なのかが心配。
登下校の安全確保	通学の手段	登下校の保障が最優先と考えたため。
登下校の安全確保	通学の手段	児童数が大幅に増える事には良い点も悪い点もあると思うが、児童一人当たりの教育の行き届きが現状の少人数体制から比較して、質が保てるのであれば、統合するメリットもあると思う。現段階においては具体例がないので統合に対する利点が見だせないのが本音です。
登下校の安全確保	通学の手段	家からの距離が遠い。
登下校の安全確保	通学の手段	小学校がなくなり、神南中までの登校を余儀なくされた場合、今よりも学校までの距離がのびる子どもたちがたくさんいます。単純に歩く時間、距離が増えるだけと思ってほしくないです。子どもたちの負担、安全面を考えてほしいです。
登下校の安全確保	通学の手段	子どもが多いため。
登下校の安全確保	通学の手段	通学が約2キロの徒歩となるが、通学路に歩道がない。夏の異常気象で熱中症リスクが高い。通学時間が2倍になり、時間ロス、交通事故の危険性が増えるのみである。義務教育学校にするのであれば、今より通学路距離がのびる子どもはバス通学にしてもらいたい。
登下校の安全確保	通学の手段	中学生は、距離によって徒歩と自転車の子がいる。義務教育学校になった場合はどう対応していくのか？登校班はなくなるのか？
登下校の安全確保	通学の手段	距離が遠くなり、安全面・治安の悪化。
登下校の安全確保	通学の手段	低学年の子どもが中学校まで歩いていくのに時間がかかるため。
登下校の安全確保	通学の手段	直線距離で半径2.5km未満の地域はスクールバスの対象にならないのですが、中学生の足で片道40分かかる距離を、重いランドセルを背負った小学1年生に歩かせるのは虐待に近いと思います。普通の親なら統合に賛成できないと思います。
登下校の安全確保	通学の手段	距離が長くなると子どもたちの登校の時間が早くなったり、登下校の時間や移動の距離が長くなるため、子どもに負担にならないのか？
登下校の安全確保	通学の手段	小学生に徒歩での通学は難しい距離であるため。

登下校の安全確保	通学的手段	<p>小学生低学年の子どもたちが、山田地区や船津地区から神南中学校へ向かわせるのは遠いと思われる親御さんが多いと思いますが、豊富地区の子どもたちもそれなりに遠い距離を歩いて学校まで行っているのを知っておりますので行けないことはないと思います。</p> <p>ただ、歩く距離が遠くなった分、安全性を重視していかなければならないので中学校と地域との関わりが重要になっていくと思います。</p> <p>現在も地域の方々に助けて頂いておりますが、親御さんたちだけではなく高齢者の方々に今以上に見守り隊の増員をお願いして行き帰りの道に立っていてほしいと思います。</p> <p>それと、神南中学校まで行くのが遠いというのが分かっているのであれば、外灯を増やすと防犯カメラを増やすとかを考えていく必要があると思います。</p>
登下校の安全確保	通学的手段	距離と安全面
登下校の安全確保	通学的手段	立地が校区内最南端となるため、北部からでは遠い。
登下校の安全確保	通学的手段	今でも中学校周辺に送迎の車が多く、マナーの悪い車もあり中学校周辺住民へ迷惑になっていることもあるが、その台数が増えることが予想される。スクールバスもバスへの置き去りなどの事故がないか、小学校低学年は不安。
登下校の安全確保	通学的手段	住んでいる地域によっては、神南中までの距離がとても遠いため、通学面で色々と不安がある。 小学生で学童に行っている子は放課後どうするのかも気になります。
登下校の安全確保	通学的手段	やはり、低学年の間は特に登下校が心配です。
登下校の安全確保	通学的手段	(現状) 小学校よりも遠くなるので、徒歩であるのならば心配。トラックやバス通りであるため。
登下校の安全確保	通学的手段	通学にかかる時間や距離が増え、特に低学年のうちは負担が大きい。
登下校の安全確保	通学的手段	中学校を使用する場合、通学距離があるので親が常に見れる訳でないので、安心できる状況を作ってほしい。
登下校の安全確保	子どもの学習面	統合した場合通学距離が長くなり、安全が確保されるか心配。
登下校の安全確保	子どもの学習面	先生が減ると子どもの学習への対応が手不足になりそうで不安。
登下校の安全確保	子どもの学習面	山田小学校校区の子どもたちの登下校の安全な道の確保がちゃんとできるか。スクールバスができるのか。
登下校の安全確保	子どもの学習面	学校が統合することで、教師等人材が不足、マンパワー不足による学習面のサポートが手薄にならないか心配。登下校も近くなる人、遠くなる人色々あると思うので、子どもの安全確保、学力低下にならないかが心配。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	低学年の児童が長く交通量の多い道を通ることは、少し不安がある。しかし大きくなり、慣れてくれば登校班などで何とでもなると思うが、山田の児童数が少ないため、新しい環境、人間関係の変化に対応できるか、子どもは大人が思っているよりもサッと順応しそうですが。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	少し遠いので、小学生の子どもたちの安全、通学手段が心配。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	距離が長く、交通量の多い道もありリスクが増える。子どもだけでなく、地域の方々にも影響があると思う。一度廃校となれば再開はない。地域がすたれていく一方である。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	小学校1年生～中学3年生という年齢の幅もあるし、行事1つとっても従来どおりには行かないと思うし、低学年の子たちは登下校も距離もあるし、時間もかかるので色々な面での変化が心配だと思ったため。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	自宅から遠いので、小学生の間は、まず歩いて行くことができるのか、途中でしんどくなってしまった時に頼る事ができる場所があるのかが心配です。義務教育学校に切りかわった時に、今までの学校生活との違いにゆっくり慣れる時間があればいいなと思います。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	通学距離が長くなり、小学校への通学路と比べて車通りが多くなるにもかかわらず、歩道整備がされていないため。 時期、年齢にもよりますが、日常の環境が大きく変わることは、子どもにとって大きな負担になると思うため。
登下校の安全確保	環境の変化に伴う子どもへの影響	生徒数が増えるので上下関係が心配になる。
登下校の安全確保	地域と学校とのつながりの希薄化	学校が地域活動の場の1つになっているので、なくなると町の活気もなくなってさみしい感じがする。 小学生の年齢で遠くへ登下校するのに不安です。

登下校の安全確保	避難所・防災拠点の確保	通学距離に差がありすぎる。避難所のキャパが少なすぎる。
登下校の安全確保	避難所・防災拠点の確保	低学年での登下校時の通学が安全確保できないと思う。地域でのサポートも現代の生活背景を考えると不十分になりそう。
登下校の安全確保		交通量の多いところを歩くため。
登下校の安全確保		・播但道周辺の交通量が気になる。 ・出張所前の横断歩道に信号がないので危険。毎日誰かが立ち当番をしてくれるのか？信号機を設置してくれるのか？
登下校の安全確保	その他	小学生は通学距離が多くは倍以上になるので。安全面、体力面に不安がある。また、山田地区からは学校がなくなってしまうので、地域の活力の低下が心配、山田・船津とも小学校校舎施設を今後どのように有効活用し、地域の活性化につなげられるか考えないといけないと思う。
登下校の安全確保		小学1年生でバスの範囲に入っていない子が徒歩で行けるのか心配です。
通学の手段	子どもの学習面	小学生の体力では通学距離が遠すぎる地区がある。中学生みたいに自転車通学させるのは難しい。運動場がせますぎる。
通学の手段	子どもの学習面	通学の距離が長いので、自転車通学になるかとは思いますがまだ自転車に乗れないのと、一人で通わせるのが不安です。
通学の手段	環境の変化に伴う子どもへの影響	小学生のうちからかなり距離のある学校へ通わせるのは、安全面でも心配があるし、通学にどうしても親が行かなくてはいけなくなったり、共働き世帯も増えている中、親負担も多くなる。
通学の手段	環境の変化に伴う子どもへの影響	通学の手段は特に低学年が心配。小学6年生と中学1年生は卒業式や入学式といった節目の式がなくなる。修了式など代わりの行事があっても、気持ちの節目にはならないように思う。
通学の手段	環境の変化に伴う子どもへの影響	高校1年生になった時のギャップがすごそう。ある程度人にもまれてほしいと思う。9年間新しい出会いがないのは大きいデメリットだと思う。
通学の手段	環境の変化に伴う子どもへの影響	通学で距離の差が出てくると思うから。
通学の手段	環境の変化に伴う子どもへの影響	環境も変わり、登下校にかかる時間・安全面が気になる。子ども第一に考えて配慮していただきたい。
通学の手段	P T A活動	小学生の通学手段が気になる。バスになるとしたら使用料は誰が負担するのかなど。P T A活動は一貫になることで役員人数や活動負担が増えてしまうのではないかと。
通学の手段	P T A活動	通学距離が遠くなる。
通学の手段	P T A活動	小学校の期間は通学方法を決めることを親に委ねられると、子どもも活動（登下校の見守り etc）の足並みをそろえるのが難しくなるのではないかと思う。
通学の手段	P T A活動	通学距離が遠いと登下校に時間を要する。距離によって登校手段を決めるのではなく、全員がどの選択肢も選択できるようにしてほしい。生徒数が減っているのにP T A活動の数は同じで継続されると親の負担が多くなるため活動の見直しが必要。
通学の手段	P T A活動	歩いて学校まで通える小学生が少なくなるが、スクールバス運用対象外の地区でも通学に時間がかかり、特に低学年は夏場の熱中症対策等課題が多くあるように思う。また、それぞれの学校で内容が異なるP T A活動を1つにまとめるのはとても大変だと思う。
通学の手段	避難所・防災拠点の確保	どんな形になるのか分からず不安。（歩くことも大切だが、安全確保も大切）今の山田小学校の校舎はどうなるのか。今の神南中のみが避難所となると遠い。（地域のお年寄りに行くことが困難）
通学の手段		義務教育学校になった場合の校舎の場所にもよるが通学距離が長くなるのが考えられる。山田・船津の間を運行する路線バスもないため、新たに通学バス等の運用などを考えないといけなくなるがガソリン代の高騰などもあり難しいのではないかと。
通学の手段		小学生、中学生の子どもがバスで通学できるのかが心配。
通学の手段		歩きでの通学になると、低学年の子どもたちですと、行くだけで疲れてしまうと思います。
子どもの学習面	環境の変化に伴う子どもへの影響	入学当初から義務教育学校であれば、心配ないが、途中で統合となると子どもの心境や人間関係が心配。
子どもの学習面	環境の変化に伴う子どもへの影響	年齢の大きく違う生徒達が適応できるか。いじめの問題がおこらないかという不安。

子どもの学習面	P T A活動	生徒数が減り教師の数も減れば、十分な授業ができないのではないかと不安があります。また、P T Aの役員なども大変になるのではないかと思います。
子どもの学習面	P T A活動	小学校の教師が中学生の勉強面での助けになるのか、受験生と同じ空間に小学生が居ることが良いことなのか、心配です。小中学校、どちらにも子どもが居た場合P T A活動はどちらで参加するのか、P T Aの中身がどうなるのか不安や疑問もあります。
子どもの学習面	その他	専任の先生が小学生から中学生を幅広く対応して授業ができるのか心配。
子どもの学習面		中学校での1学年複数学級が維持できなければ統合、義務教育学校化する意味がない、問題は小学校ではない、中学校が少人数になることが問題、複数クラスでない中学校に通わせるつもりはない。
環境の変化に伴う子どもへの影響	P T A活動	義務教育学校となることで学校の場所が変わるので子どもが戸惑う。学校舎がなくなる。 義務教育学校になったとしても、ゆくゆくは1クラスになる学年が増えるのであまり意味がないと思う。
環境の変化に伴う子どもへの影響	避難所・防災拠点の確保	人数が少ないため、知らない校舎、知らない空間、先生方など、急な変化は不登校につながるように思います。
地域と学校とのつながりの希薄化	環境の変化に伴う子どもへの影響	地域の住民が少ないため、近隣と統合するより希薄化する。児童の減少でクラブ活動等の選択肢が少なければ少ないほど、可能性も広げることができない。
地域と学校とのつながりの希薄化		校区が広くなり関りが薄れる。
P T A活動		4月から中学校に進学するが、中学生の保護者の負担が大きくなりそうで心配です。
P T A活動		過去の役員履歴は反映されるのかどうか。
P T A活動		活動が増える事は嫌。今の時代の流れ（共働き、核家族）にあった活動にしてほしい。
P T A活動		P T Aなどもなくせば良い。今時あまりない。嫌な人もたくさんいる、ストレスがたまる。人間関係が難しい。
避難所・防災拠点の確保	その他	友達と何かあった時、クラスが少ないと何かと問題が出てくるのでは??と思います。 市川が氾濫したとき、どこへ避難するのか??心配です。
避難所・防災拠点の確保		小学校の施設等の跡地の活用がうまくできれば良いが、学校が1つとなると、万が一の時に人が集中する可能性がある。
特になし	その他	人数が増えて良いと思う。
特になし	その他	結局根本的な解決にはなっていないような・・・9年間、1クラスで過ごすことが本当に良いことなのか。(船津・山田足しても1クラスになるような状況で)通学面より、学習面より、コミュニケーションというか精神面での影響が不安です。
特になし		人数が増えすぎると人間関係など、心配なことも増えますが、船津・山田・神南の統合程度であれば大丈夫かと思っています。さほど変化を感じないです。
特になし		もともと子どもはR7から中学生なので心配ない。
特になし		問題が予想されることには対策があると思うため。
特になし		香寺や豊富と統合すると登下校の安全面が心配であるが、神南校区のみであれば、遅かれ早かれ必ず行く場所なので特に心配事はありません。
その他		義務教育学校は、いつのまにか立ち消えになった、船津小、山田小の児童数、クラス数の減少の解決にはなると思うが、中学校の生徒数減少を解決することにはならないから。
その他		運動会などの行事において、小学校と中学校それぞれどのように行うのが気になる。
その他		学校行事の簡素化
その他		デメリットにもあげられていましたが、人間関係が固定化してしまうことになると思うのが不安です。そのまま高校生になり、大きなギャップが生まれるのではないかと思います。
その他		この地域での小中一貫校では、中学校の在校生が他校に比べ少ないので、活動や考えの幅が狭くなるように思う。生徒の数が多い方が幅が広まると思う。

その他		接する同級生が9年間一緒のため。
無記入		香寺中と合併となった場合、(登下校の安全確保) 少し距離が遠くなるので、重い通学鞆を背負っての通学に心配はあります。
3つ選択(登下校、通学、PTA)		船津地区だと何も変わらないのかもですが、山田地区だと小学生の子どもたちは通学するのにスクールバス等があるのか、その負担は親がするの、市からの補助等はあるのか。
3つ選択(登下校、通学、環境変化)		小学校低学年などの通学の手段が心配。学校が1つ(一貫校)になれば学校舎の維持費など、教職員他経費の大幅な削減となると思うのでスクールバス必須。
3つ選択(登下校、通学、PTA)		小学生の負担を減らしてあげたい。今でも登下校に関して、遠いと思う村があるのに、さらに遠くなり、その場合どういった登下校をするのか不安なため。
3つ選択(登下校、通学、PTA)		香寺中学校まで、国道があり交通量が多い。事故の心配。
3つ選択(登下校、通学、学習面)		グラウンドや体育館が狭い、校舎も狭い。JAと船山出張所間の道路が危険。
3つ選択(登下校、通学、避難所)		校区が広がるので今までのように歩いて登校が難しくなり安全面での心配。
3つ選択(登下校、通学、環境変化)		中学校まで遠いため。
3つ選択(登下校、PTA、その他)		車通りが多い所も通るので小学生は心配。もし、小学生にも制服が必要になった場合に、成長とともに買い替えも必要となり、費用が掛かるようになると大変だと思う。
3つ選択(登下校、通学、環境の変化)		学校が遠くなる。
3つ選択(登下校、通学、地域と学校)		中学生は良いが、小学低学年は通学が心配。
4つ選択(登下校、通学、学習面、PTA)		どの道、校区が広がるので、安全な登下校手段をしっかりと確保してくれば良い。学習面はさほど変わらないと思うが、質を上げるための変化で、悪くなるようなことがあってはならないと思う。
7つ選択(登下校、通学、学習面、環境の変化、地域とのつながり、PTA、避難所)		問3の回答内容と問2の回答がすべて。そもそも地域の人の希望することなのか。子の意見は聞かなくて良いのかと思います。

**【その他、ご意見があれば自由にご記入ください。(自由記述)】**

もう、香寺や豊富との統合の話はなくなったのですか？ちょっと安全面の不安が大きすぎます。神南だけなら、良いと思う。
いつぐらいを考えているのですか？(時期)
小学校に歴史があり、地域とのつながりがあるのは大いに理解していますが、そこにこだわりすぎると、子どもたちにとって、良い判断にならないと思います。変わっていく時代の変化についていくためにも、何を大事にしていくのかをはっきりと基準として持っておくことが必要だと思いました。「これからの神南校区の子ども」を大事に考えていき、大人や地域が最大限の支援をしていけば、より良い校区ができるのではないかと思います。すてきな「神南校区」になればと願っています。よろしくお祈りします。
通学の際、今も人気がなく不審者から狙われないか不安です。 母親も仕事をする時代になり、当番制も無理があるようで、子どもだけで長い道のりが不安です。老人会などから見守りをしていただけないのでしょうか。 保護者の数が少ないのでどこかへうったえることもできません。どうかよろしくお祈り致します。
50年後も100年後も生徒数が減り続けると確実に言い切れますか？ 先生の数も減り続けると言い切れますか？ この世代で伝統ある小学校をなくしてしまっても良いのでしょうか。
どっちが良いのか本当にわかりません。今、現に登下校中地域の方々に声をかけてもらって話をしたり、子どもながらに顔見知りになって仲良くしていただいているおじいさん、おばあさんがいて私よりも山田の人の顔を知っている子どもたちにビックリと嬉しさがあります。
小学校から中学校へ進学したときにギャップを感じ不登校となるケースもあると聞くのでわざわざ中学を分けるより小中一貫になっていた方が、環境の変化がなく良いのではないかと思います。周りを見ても小中一貫が増えているということは子どもの少子化だけでなく子どもの学習の場としてのメリットも多いのだと感じています。ただ、校舎、校庭が人数増加により自由に走り回れなくなるのではないかと懸念もあり、又、小学校中学校の1クラスの人数の基準を下げ、30人以上40人以下の学年は2クラスに分けてもらえないでしょうか。人数、先生への相談のしやすさ、クラスの雰囲気を見ると、今の学校の1クラスの人数が子どもにとってとても楽しそうであり、良い関係を築けていると思うからです。
地域の活性化には住民の力は欠かせないが、行政が新たな視点や取り組みで大胆に改革すべきではないか。

<p>教育委員会に委ねます。今年中に決定していただき具体的な案を出していただきたいです。</p>
<p>中学生になったとき、距離にかかわらず自転車通学を許可してほしい。少しの距離の違いで徒歩通学になると1人での帰宅が増え防犯上危険度が増すように思う。</p>
<p>支援学級に関する内容が1つもなかったですが、その点どのようになるのかも対策案があるのであれば提示してください。小中一貫になれば人数も増え、精神的サポートを受ける必要も出てくる。人数も。現に中学は支援学級がなく、保健室登校、または支援学校への入学を進められることがあります。その点一貫になった場合どうなされますか？また学童についての記載もなく、本当に一貫にしたいのかどうかわかりません。ご提案して下さるのは良いかと思いますが、今の子どもたちの意見、今の親たちの意見を尊重してください。昭和や平成とは全く違いますので。お話の分かる方に届けば幸いです。</p>
<p>急いで、何度も話し合う必要はあるのか？と思う。</p>
<p>生徒の数が減ったからという理由で学校を減らすのはどうかと思います。職員の給料とかの金銭面で減らすのであれば、はっきりとそう言ってほしい。それを隠して子どもの数を原因にするのはナンセンスである。そもそも少子化となった原因、過疎化になった原因は少なくとも行政にあると思います。それを田舎やからとこちらに押し付けるのはおこがましいと考えますが、いかがでしょうか？</p>
<p>6年～中学にあたって、山田、船津からの神南中で一緒になるだけでも不安に思う子どもや保護者もいるのに小学1年生からもっと不安になる（人、バスなど）かもしれない。バス代や乗り遅れ、運転などなど。</p>
<p>できることなら「統合しない」を選択したいが、長期的に考えてもいずれ統合しないといけない生徒数になるのであれば、義務教育学校にせず他の中学と統合した方が良いと思います。小学校には放課後児童クラブもあるので今のままが良いです。生徒数の減少が問題点となっているのであれば、他の中学と統合する以外、問題解決にはならないと思います。</p>
<p>船津小学校（山田小）は単独で維持し、神南中学校を香寺中学校と統合する。又は、豊富小中学校と統合し、義務教育学校とする。（船津小学校も豊富に統合する）のいずれかしかかないと思う。なぜ短期間で方針が変わるのか（そのように見える）以前は義務教育学校化の流れではなかった。</p>
<p>決定したことに対して不満であれば他校に行けば良いと思う。これだけ少子化が進んでいるなら仕方がないこと。割り切って考えられないのであればこの地区に住むのは間違い。</p>
<p>神南中学校は統合しない。義務教育学校を設立する。が決定しても、各家庭の選択する権利を作っていただけだと思います。</p>
<p>中学校になると授業が難しくなり、今の人数で先生に教育、勉強を教えていただく方が理解しやすく、先生方もどの生徒が勉強を理解しているのかしていないか把握しやすいと思います。</p>
<p>委員会の方や市の担当の方は何度か会を設定して丁寧に対応していただきご苦労様です。全員の意見が合うわけもないし、我が家も決まったことには従います。私達も母校がなくなるのは嫌だし、我が子が遠い所へ通うのも嫌だが感情論で意見せず、現実的に考えてほしい。クラス替えができない（できなくなる）ことは、逃げ場がなくなるということで、子どもも先生もしんどいですよ。少々痛みがあっても毅然とした態度で判断決定してほしい。</p>
<p>子どもたちにも意見を聞いてみてはいかがですか。</p>
<p>香寺や豊富地区との統合は距離や環境の変化がおおきいことについて不安が大きいので避けていただきたいです。</p>
<p>人口が増加しにくい環境の見直しはやる予定なのか知りたい。（市街化調整区域やその他）</p>
<p>調整区域でも簡単に家を建てられるように働きかけをしてください。</p>
<p>子どもたちにとって、学びやすく、育ちやすい環境であれば良いと思っています。それと、だれもが心安く、あいさつをし合える、この辺り特有の風習が失われなければ良いと思っています。</p>
<p>子どものために、何が一番良いのか、判断が難しい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫の次は、統合しないを希望します。</li> <li>・数年後に児童数が逆転する豊富小中との統合はありえないと思います。</li> <li>・又、香寺中学校との統合なども人数の差や距離などの面から沢山の不安があります。</li> </ul>
<p>もし、義務教育学校となった場合、船津小と山田小の跡地の運用が気になっています。そのあたりの計画進捗も合わせて開示（共有）をお願いします。</p>
<p>児童数の減少に伴う統合への動きは一定程度やむを得ないが、自治体の予算削減を理由とすることに重きを置いた決定などが無いことを切に願います。親の思いとしては、子どもたちの教育の質が平等に保たれることが大前提でありますので、あくまで児童側からの目線で判断をしていただくことを望んでおります。</p>
<p>今までの資料を拝見して、デメリットにばかり目がいてしまいます。まず、デメリットの個を1つずつつぶしていかなければ、賛同は得られないように思います。</p>
<p>義務教育学校になった場合、運動会や音楽会などのイベントや日常生活がどのように運営されるのか全く分からない。他の義務教育学校のモデルケースを掲示したりしてほしい。中学生だけが作るコミュニティも、人としての成長にとって大事だと思う。</p>
<p>中学校は香寺と統合。小学校は船津・山田で統合し、山田小の校舎を使用し、船津小児童はバス通学とすることを希望します。</p>
<p>スクールバスを導入した場合、ほとんど歩くということがなくなってしまうので、体力面での低下の心配が出てくる。</p>
<p>行動が遅い、もっと早く手を打つべき。</p>

<p>すでに義務教育学校となっている学校の様子をもっと知りたい。</p> <p>今回このような記述式のアンケートの回答をしておりますが、今現在水面下ではどのような話し合いがなされているのですか。</p> <p>秘密裏に話が行われているというか少人数で話を進めている感が否めていないです。</p> <p>もっと公開して話が今どんな感じで進んでいるかを知っていくことも姫路市としては執り行って頂きたいです。</p> <p>色々な意見が出てきていると思いますが、当事者である小学校に通わせている親には年2回程度の会議というかミーティングを開いてその話の結果を知らせてもらっているが、あまり内容が伝わってきておりません。</p> <p>少人数でミーティングを行うのではなく、もっと開かれたミーティングをうべきではないのでしょうか。</p> <p>大人数でミーティングをしたら決まる話も決まらないとは思いますが、密室で限られた人達によって学校方針が決まっていくのはおかしいと思います。</p> <p>一度ミーティングに参加したい人を募って大人数での会議を行ってみても良いのではないですか。</p> <p>大前提として、この神南地区に若い方に住んでもらわないと人口増加が望めないのですよね。</p> <p>山田地区も船津地区も若い方が家を建てられるようにしないとどんどん過疎が進んでいくと思っています。</p> <p>ですので、調整区域の見直しも姫路市として検討していくべきではないのでしょうか。</p> <p>全て市街化区域に変えていけば若い方も家を建てやすく永住していけるのではないのでしょうか。</p> <p>加西市では都市計画区域の線引きを廃止すると聞いています。姫路市ももっと過疎対策を考えていただきたい。</p>
<p>義務教育学校としても、後期課程（中学生）の人数が増えるわけではない。ただ、同じ校舎で、前期課程（小学生）と一緒に学校生活を送ることで、学校全体の活力は増すだろうし、それが地域へつながってほしいと思う。この統合は特にこれからの山田小の児童にとって避けられないかもしれない。決して統合を望む訳ではなく、今のまま存続できるのが一番だが、統合してもこの先10年、20年後にはどうなるか分からない。移住の促進、空き家バンクや農地の活用など、山田船津地区に外から人が入ってきやすくなるような施策を考えないといけない。環境はとても良いところなので。</p>
<p>1学年に1クラスでは、中学校、高等学校通学時にコミュニケーション面で悩むのでは？と心配です。</p>
<p>義務教育学校にしても、小学6年生から中学1年生にあがる時にひと区切りできるように、修了証書の発行とかあれば良いと思う。</p>
<p>今回の問題は神南中学校をどうするか？なので、現状義務教育学校にすることはないと考える。それよりも、加西市のように統合し1つの学校を建設し、そこに集約させる。これは姫路市北部の問題として市で取り組む問題である。今ある予算でどうにかするのではなく、10年とかの期間を見込み、香寺・豊富・神南地区の小中学校一貫校建設にむけて予算の確保なり地域説明会を行うべきであると考えます。</p>
<p>義務教育学校は、中学校の生徒数減少の問題を考える中では、何の解決策にもならない。小学校の児童を寄せ集めただけで、中学校の生徒数が増える訳ではなく、専門分野を教える9教科の先生確保の課題解決もできないにもかかわらず、小学校設備の何もない中学校に多額の設備投資を必要とする。給食室、低学年用プール、放課後児童センターや教室の増築等には億ほどの資金が必要と思われる。将来に向けて解決すべき方向性とは全く違うことに無駄なお金を使うだけで、本当の課題解決には何もならない。</p> <p>神南中学校の今後について考えていくということであったが、夏アンケートの前に、義務教育学校にすることが選択肢につけ加えられたことについては、全く意味が分からない。今後の取組方策としての選択肢に並べられていれば、他中学と統合するよりは、とそれを選べば最終的な結論になり得るのかとの誤解を与える。義務教育学校にすることにより、神南中学校の統合問題が今後解決するかのように選択に挙げられていて、今後他校との話が一切なくなるのであれば、結論になり得るが、将来的には問題解決ではないとして再び話が出てくるのであれば、解決策ではない選択肢をなぜ挙げるのか。小学校と混ぜても、専門教科を教える10人の先生の確保の問題を残し、姫路市の今後抱える教員不足の課題解決にもならず、給食室、プール、放課後児童センター教室の増築等全ての小学校の機能移転のために億ほどの設備投資を必要とし、結局は中学校については他校との統合の話はなくならないということであれば、ただ姫路市の予算の無駄使いで意味がない。統廃合は姫路市全体の問題であり、市は将来の全体像、数、統廃合の規模、ビジョンをまず作成し、姫路市全ての中学校で考えていくことが必要である。生徒数が減る時代、市全体での見直しをせまられることは仕方ないことだが、神南中1校にだけ押しつけないで、全中学校で考えていかなければならない課題である。</p>
<p>教師の数が減少していると聞きますが、実際のところは学校の数が減り統合する方が良いのでしょうか。</p> <p>神南中学校に統合した場合、船津小学校、山田小学校の校舎はどうなるのか。どのように活用されるのか。</p> <p>またいずれはどこかと統合するようになるのではないか。</p>
<p>統合の話も大事かもしれませんが、少子化が進む原因を聞きたいです。若年家族が住みたいと思う街になるための努力、改善策を取り入れてから考えていただきたいです。</p>
<p>「母校を残したい。」と言う意見があるそうですが、それは親世代の思いであり、今現在学生である子どもたちには、関係のない意見ではないのでしょうか？教師の人数不足や部活を満足にできないようならば、小学校ではなく近隣の中学校との統合を視野に入れるべきではないのでしょうか？義務教育学校になったとしても、その数年後にはまた同じ問題が出てくると思います。通学の手段や時間に不安を持っている方もいらっ</p>

<p>しゃいますが、中学生は自転車通学ができます。小学生も低学年の間は不安もありますが、豊富や加西の方は1時間かけて登校している子どもたちもいます。なので、この山田・船津校区では範囲はバスを出す程でもないように感じます。結局は親の受け取め方、考え方の問題でもあるのではないのでしょうか。</p>
<p>義務教育学校にした場合、学校行事の時の親の車はどこに停めるのかなどしっかり考えなければ周辺住民は迷惑することになる。義務教育学校にメリットがあるように思えない。船津や山田に新しく住んでもらえるよう、人口が増えるようにすることが最優先だと思う。</p>
<p>義務教育学校になるのであれば、これを機に行事、PTA、子ども会、地域の行事などを見直し、スリム化してほしいです。子どもが倍以上いた時代から今では生活環境も変わり、親の仕事スタイルも変わり地域内ですべてを担い完結するのは無理があるのではないかと。スリム化し、不足分を行政で補ってくれるように要望してほしいです。</p> <p>子どもが減っているから学校を減らすのは良いですが、姫路市北部にもう少し行政として取り組みせんのかいと、南部の状況を見ていると思います。ただ自然豊かというだけでは(ほったらかされている印象です。)</p>
<p>義務教育学校になっても子どもの数は減っていくし意味がないように思います。少人数のメリットもあるかもしれませんが、デメリットの方が多いと思います。</p> <p>自治会の方達は「母校がなくなるのが寂しい」とおっしゃいますが、大切なことは、これから中学生になる子どもたちであり、過去の思い出ではないと思います。子どものことをまず一番に考えてほしいと思います。</p>
<p>スクールバスがあれば統合しても良いのではと思う。</p>
<p>前回のアンケートや説明会でも多く声が挙がっているが、まずは人口増加対策に取り組んでからすべき。空き家対策や市が所有している空き地(ただの更地にして何年も放置)など無駄が多すぎる。</p> <p>また、統合や義務教育学校が市の都合感が払拭されない。生徒数の減少によるメリットは言わず、デメリットばかり強調されている。子どものためなのか、市のためなのかわからない。もう白紙にしてもらって結構。</p>
<p>部活動に属さず外部チームに入ると、登下校に時間がかかると間に合わなくなる。</p>
<p>入学者(予定者)がいる間は、小学校を失くすべきではない。義務教育学校にもすべきではない。</p>
<p>子どもたちの意見、その保護者の意見をしっかりと聞いて頂きたいです。この件に関わる方々の意見を中心に考えていただきたいと心から思っています。</p>
<p>元、船津の人でも、家建てるのに大変な思いをしました。</p> <p>ここに住みたくても、難しいと思い、諦めた人も多いと思います。</p> <p>正直、いろんな思いがあります。今のまま、義務教育学校、近隣の中学校への統合、どれも、メリット、デメリットがありますよね、本当に難しいです。</p> <p>小さいお子さんのいらっしゃるご家庭の方が、決められたのであれば、それが一番良いと思います。ご自身のお子さんの事を考えてご回答をされていると思うので。宜しく願い致します。</p>
<p>デメリットへの不安をなるべく解決できるような対策をとってほしいなと思います。</p>
<p>統合し各学校がなくなるのは寂しいですが、違う形で使えるようになったら良いなと思います。</p> <p>他地域でもしている「まちの学校」のような〇〇教室やイベントなど。</p>
<p>中学校で、船津と山田が合併しても、それが早まって小中一貫の義務教育学校になったとしても、年々子どもの数が減っているの、ゆくゆくは1クラスになる学年が増えてくると思うので、義務教育学校にするのは、正直あまり良く思わない。それなら今のまま、船津小・山田小→神南中学校でいか、中学校のタイミングで香寺中学校と統合する方が良いと思う。香寺中は3つの小学校が合わさるため、みんな環境が変わるのは一緒だと思うから、ただそうすると神南中の校舎はどうするのかや、通学手段など課題が出てくるのでそこも考えないといけないと思う。</p>
<p>統合するのも、義務教育学校にするのも良いが、子どもを増やすことを考えてほしい。</p>
<p>現状維持とした結果、将来的に隣接中学校と合併ということがないように、協議会ではしっかりとした議論を出してほしい。</p> <p>中学校卒業まで地域の学校に通えるよう、小中一貫校となることを強く望みます。</p>
<p>船津小学校が使われなくなった後の使い方、それが子どもの使える施設だったら、地域の魅力となり、この地区に移住したいと思う理由になると思う。</p> <p>全国、他の地域でも廃校が水族館になったり、宿泊施設など楽しいものがあつた。姫路市には、室内で遊べる所が子どもの館、CCパークは思い浮かぶが少ないと感じる。小学生、中学生でも遊べるエリアがあるなど、他にない強みの施設にして頂きたいです。キャンプ場、室内から屋外にもつながるアスレチック、謎解き迷路、色々と面白い意見がたくさんあれば柔軟にご検討をお願いします。</p> <p>船津、山田の少子化が止まり、活気ある地域になれることを求めています。</p>
<p>香寺や豊富と統合になると通学(安全面)や環境の変化に不安があります。</p>
<p>色々な意見があると思うが、いつまでにするにしても、しないにしても、結論を出す期日を明確に出してから。議論が進んでいるのかの確認をできると嬉しく思う。</p>

お問い合わせ先

姫路市役所 教育委員会事務局 教育企画室

住所 〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地

電話番号 079-221-1557

ファクス番号 079-221-2749

メール [kyo-kikaku@city.himeji.lg.jp](mailto:kyo-kikaku@city.himeji.lg.jp)